

双葉町 住民意向調査 報告書

令和3年3月

復興庁
福島県
双葉町

双葉町 住民意向調査

報告書

目 次

I 調査の概要	1
1-1 調査目的	3
1-2 調査内容	3
1-3 調査設計	3
1-4 回収結果	3
1-5 報告書の見方	3
II 調査結果（主要項目）	5
2-1 震災発生時の状況	7
2-1-1 震災発生当時の住居形態（問3）	7
2-2 現在の状況	8
2-2-1 現在の職業（就業形態）（問6（1））	8
2-2-2 世帯人数（問5（1）・問5（2））	8
2-2-3 現在の避難先自治体（問4）	9
2-2-4 現在の住居形態（問7）	9
2-2-5 双葉町からの情報の入手経路（問8）	10
2-2-6 特に知りたい、関心のある情報（問9）	11
2-3 将来の意向	12
2-3-1 双葉町への帰還意向（問10）	12
2-3-2 避難指示解除後の双葉町への帰還時期（問11-1）	13
2-3-3 双葉町へ帰還する場合の家族（問11-2）	14
2-3-4 双葉町へ帰還した場合の世帯構成（問11-3）	14
2-3-5 準備宿泊の意向（問12-1）	15
2-3-6 準備宿泊を希望しない・わからない人の理由（問12-3）	16
2-3-7 双葉町への帰還を判断するために必要なこと（問12-4）	17
2-3-8 双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態 〔戻りたいと考えている方〕（問12-5）	18
2-3-9 双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態 〔まだ判断がつかない方〕（問12-5）	18

2-3-10	「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への 居留意向（問 12-6）	19
2-3-11	JR双葉駅の西側に住宅地が整備された場合に希望する 住居形態（問 12-7）	20
2-3-12	「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な 生活関連施設（問 12-8）	21
2-3-13	「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な 生活関連サービス（問 12-9）	22
2-3-14	双葉町に戻らないと決めている理由（問 14-1）	23
2-3-15	双葉町に帰還しない場合に今後の生活において必要な支援 （問 14-2）	24
2-3-16	双葉町に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する 住居形態（問 14-3）	24
2-3-17	双葉町との「つながり」を保ちたいか（問 13-1）	25
2-3-18	双葉町を訪れたい頻度（問 13-2）	26
2-3-19	双葉町を訪れたい頻度・行事・イベント （問 13-3）	27
2-4	双葉町内での事業の実施	28
2-4-1	震災発生当時の双葉町内での事業（問 15-1）	28
2-4-2	避難指示解除後の事業再開や新事業へのチャレンジの意向 （問 15-3）	28
2-4-3	双葉町内での事業再開の希望時期（問 15-4）	29
2-4-4	双葉町内での新事業へのチャレンジの意向（問 15-5）	29
2-4-5	事業再開や新事業へのチャレンジを実施する場所 （問 15-6）	30
2-5	双葉町内での就業意向	31
2-5-1	双葉町内での就業意向（問 16-1）	31
2-6	不動産の取り扱い	32
2-6-1	双葉町内に保有する家屋の利用意向（問 17）	32
2-6-2	双葉町内に保有する宅地の利用意向（問 18）	33
2-6-3	双葉町内に保有する農地の利用意向（問 20-1）	33
2-7	双葉町産業交流センター	34
2-7-1	双葉町産業交流センターへの訪問意向（問 22-1）	34
2-7-2	双葉町産業交流センターを訪問したい頻度（問 22-2）	34
III	調査結果（全項目）	35
3-1	回答者の属性	37
3-1-1	年齢	37

3-2	東日本大震災発生時の状況	38
3-2-1	震災発生当時の住まいの行政区	38
3-2-2	震災発生当時の住まいの区域	38
3-2-3	震災発生当時の住居形態	39
3-3	現在の状況	40
3-3-1	現在の避難先自治体	40
3-3-2	震災発生当時の世帯構成・人数	41
3-3-3	現在の世帯構成・人数	42
3-3-4	現在の職業（就業形態）	43
3-3-5	現在の業種	44
3-3-6	現在の住居形態	45
3-3-7	双葉町からの情報の入手経路	45
3-3-8	特に知りたい、関心のある情報	46
3-4	将来の意向	47
3-4-1	双葉町への帰還意向	47
3-4-2	避難指示解除後の双葉町への帰還時期	50
3-4-3	双葉町へ帰還する場合の家族	51
3-4-4	双葉町へ家族一部で帰還した場合の世帯構成・人数	52
3-4-5	準備宿泊の意向	52
3-4-6	準備宿泊を希望する場所	53
3-4-7	準備宿泊をしない理由	53
3-4-8	双葉町への帰還を判断するために必要なこと	54
3-4-9	双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態	56
3-4-10	「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居住意向	57
3-4-11	JR双葉駅の西側に住宅地が整備された場合に希望する住居形態	58
3-4-12	「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連施設	58
3-4-13	「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連サービス	59
3-4-14	双葉町との「つながり」を保ちたいか	60
3-4-15	双葉町を訪れたい頻度	61
3-4-16	双葉町を訪れたいくなる取り組み・行事・イベント	62
3-4-17	双葉町に帰還しない理由	63
3-4-18	双葉町に帰還しない場合に今後の生活において必要な支援	64
3-4-19	双葉町に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態	64

3-5	双葉町内での事業の実施	65
3-5-1	震災発生当時の双葉町内での事業	65
3-5-2	営んでいた事業の業種	65
3-5-3	避難指示解除後の事業再開や新事業へのチャレンジの意向	66
3-5-4	双葉町内での事業再開の希望時期	66
3-5-5	双葉町内での新事業へのチャレンジの意向	67
3-5-6	事業再開や新事業へのチャレンジを実施する場所	67
3-5-7	事業再開や新事業へのチャレンジにおいて必要な支援	68
3-5-8	事業再開にあたっての町への要望	68
3-6	双葉町内での就業意向	69
3-6-1	双葉町内での就業意向	69
3-6-2	就業を希望する業種	69
3-7	不動産の取り扱い	70
3-7-1	双葉町内に保有する家屋の利用意向	70
3-7-2	双葉町内に保有する宅地の利用意向	70
3-7-3	「空地・空き家バンク」の登録意向	71
3-7-4	双葉町内に保有する農地の利用意向	71
3-7-5	農地保全を目的とする組合への加入意向	72
3-8	町の交通アクセスの向上・立入規制の緩和	73
3-8-1	令和2年3月以降の双葉町内への訪問	73
3-8-2	双葉町内を訪問して必要だと思ったもの	73
3-8-3	双葉町内を訪問していない理由	74
3-9	双葉町産業交流センター	75
3-9-1	双葉町産業交流センターへの訪問意向	75
3-9-2	双葉町産業交流センターへ訪問したい頻度	75
3-10	復興公営住宅	76
3-10-1	福島県営の復興公営住宅への入居意向	76
3-10-2	福島県営の復興公営住宅への入居を希望する市町村	76
3-11	意見・要望	77
3-11-1	双葉町の復興を進めていくにあたっての意見・要望	77
3-11-2	避難期間中の生活で困っていること・改善を求めること	80
IV	参考資料	83
4-1	使用調査票	85

I 調査の概要

1-1 調査目的

本調査は、双葉町住民の生活環境の整備や、帰還に向けた諸施策を適切に実施するための基礎資料とすることを目的とする。

1-2 調査内容

※4-1 使用調査票を参照のこと

1-3 調査設計

(1) 調査地域	双葉町
(2) 調査対象と標本数	世帯の代表者 3,018世帯
(3) 調査手法	郵送にて配布・回収（自記式）
(4) 調査期間	令和2年8月19日（水）～令和2年9月2日（水）
(5) 調査主体	復興庁、福島県、双葉町
(6) 調査機関	株式会社サーベイリサーチセンター

1-4 回収結果

有効回収数 1,486世帯（有効回収率49.2%）

1-5 報告書の見方

- ・調査数（ $n = \text{Number of cases}$ ）とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- ・回答の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出している。従って、回答比率の合計が100%にならない場合がある。
- ・回答者が2つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、全ての選択肢の比率を合計すると100%を超える。
- ・「その他」に内訳を記載している項目に関しては、個別の項目を合算して構成比を改めて算出している。従って、内訳の回答比率の合計が、グラフ記載の「その他」の回答比率と合致しない場合がある。
- ・図表および文章中で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- ・調査数（ n 値）が少数（概ね30を下回る）のものは、回答構成比の信頼性が低いため、文章中の分析では言及していない。
- ・Ⅱ調査結果（主要項目）の設問ごとのコメントについては、令和2年度年について述べている。
（令和元年度の結果は、参考値として掲載）

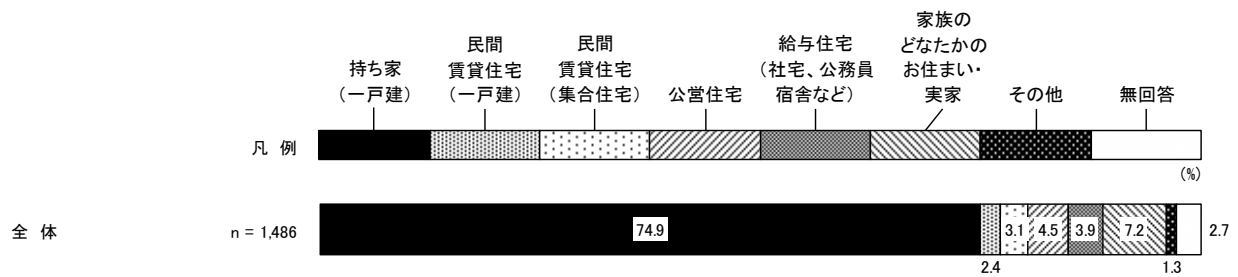
II 調査結果（主要項目）

2-1 震災発生時の状況

2-1-1 震災発生当時の住居形態（問3）

震災発生当時の住居形態については、「持ち家（一戸建）」が74.9%と最も高く、次いで「家族のどなたかのお住まい・実家」が7.2%、「公営住宅」が4.5%となっている。

<図表2-1-1 震災発生当時の住居形態>

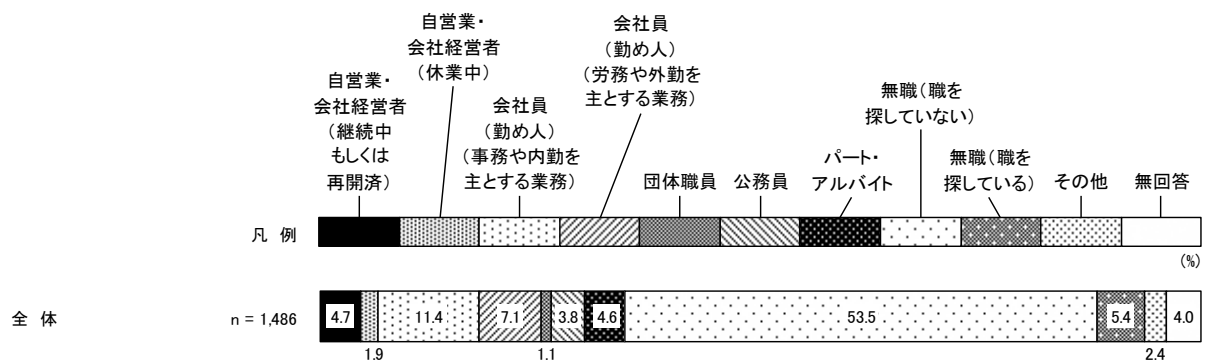


2-2 現在の状況

2-2-1 現在の職業（就業形態）（問6（1））

現在の職業（就業形態）については、「無職（職を探していない）」（53.5%）以外では、「会社員（勤め人）（事務や内勤を主とする業務）」が11.4%と最も高く、次いで「会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）」が7.1%となっている。

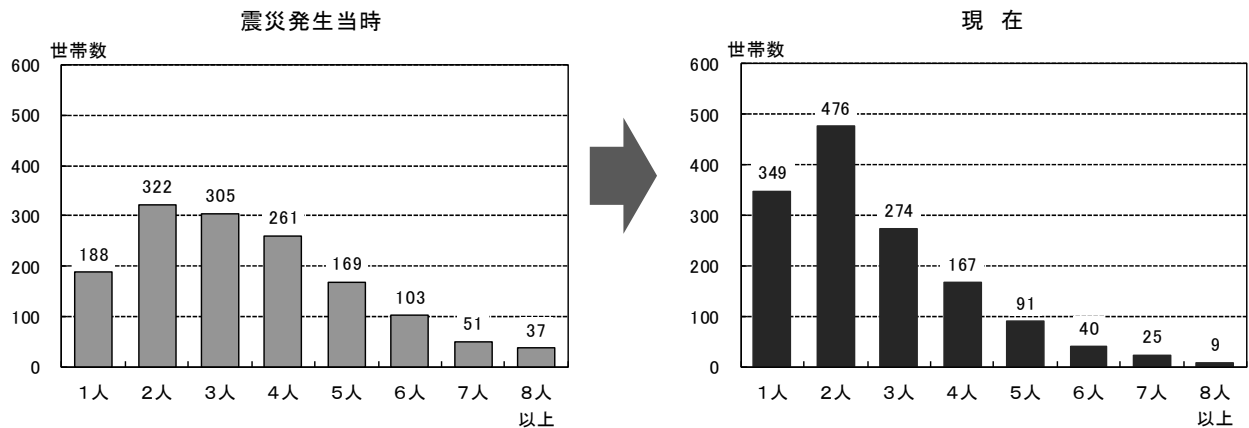
<図表2-2-1 現在の職業（就業形態）>



2-2-2 世帯人数（問5（1）・問5（2））

震災発生当時の世帯人数は、「2人」が322世帯と最も多く、次いで「3人」が305世帯、「4人」が261世帯となっている。
現在の世帯人数は、「2人」が476世帯と最も多く、次いで「1人」が349世帯、「3人」が274世帯となっている。

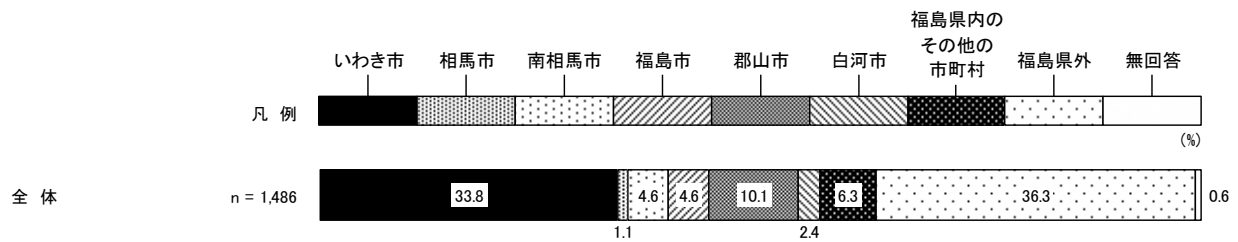
<図表2-2-2 世帯人数>



2-2-3 現在の避難先自治体（問4）

現在の避難先自治体については、「福島県外」が36.3%と最も高く、次いで「いわき市」が33.8%、「郡山市」が10.1%となっている。

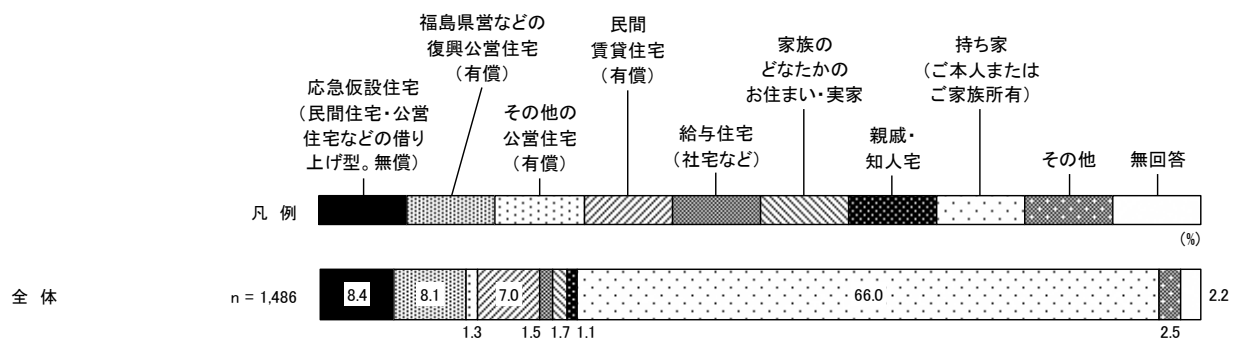
<図表2-2-3 現在の避難先自治体>



2-2-4 現在の住居形態（問7）

現在の住居形態については、「持ち家（ご本人またはご家族所有）」が66.0%と最も高く、次いで「応急仮設住宅（民間住宅・公営住宅などの借り上げ型。無償）」が8.4%、「福島県営などの復興公営住宅（有償）」が8.1%となっている。

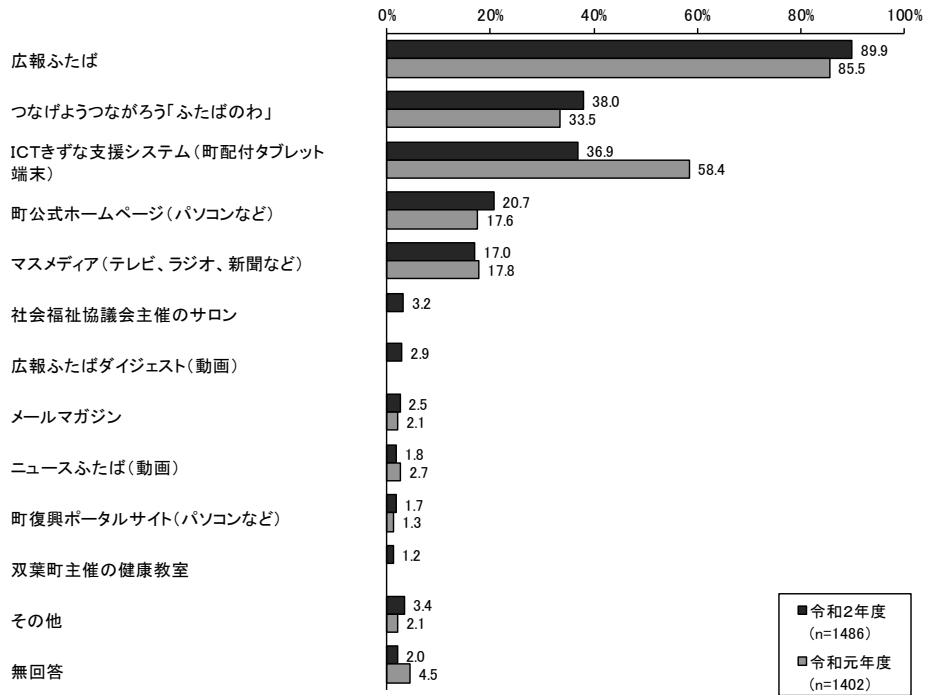
<図表2-2-4 現在の住居形態>



2-2-5 双葉町からの情報の入手経路（問8）

双葉町からの情報の入手経路については、「広報ふたば」が89.9%と最も高く、次いで「つなげよう つながろう「ふたばのわ」」が38.0%、「ICTきずな支援システム（町配付タブレット端末）」が36.9%となっている。

<図表2-2-5 双葉町からの情報の入手経路>



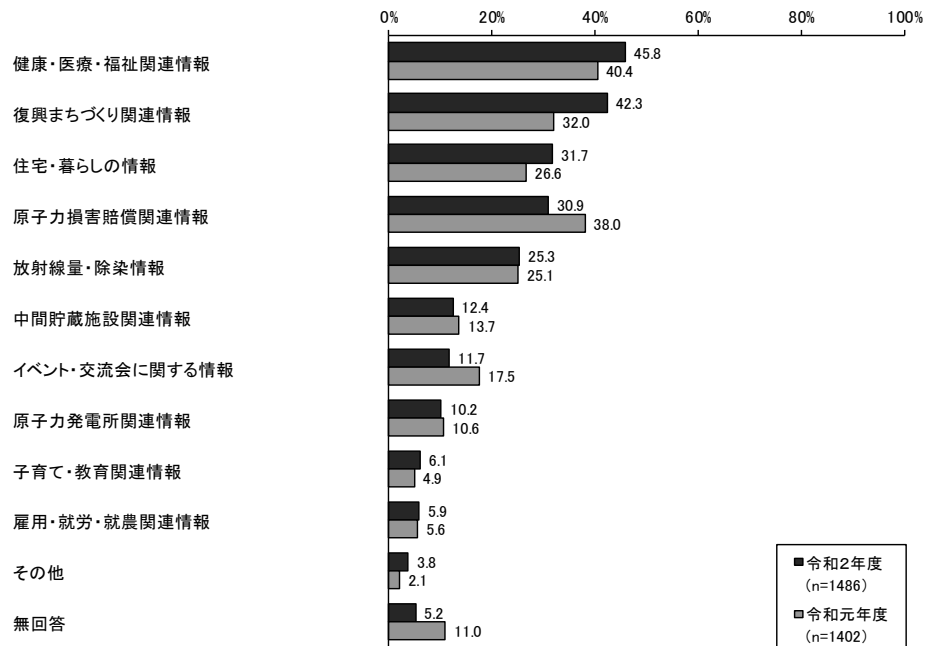
※回答は3つまで

※「社会福祉協議会主催のサロン」「広報ふたばダイジェスト（動画）」「双葉町主催の健康教室」については、令和元年度は聴取していない

2-2-6 特に知りたい、関心のある情報（問9）

特に知りたい、関心のある情報については、「健康・医療・福祉関連情報」が45.8%と最も高く、次いで「復興まちづくり関連情報」が42.3%、「住宅・暮らしの情報」が31.7%となっている。

<図表2-2-6 特に知りたい、関心のある情報>



※回答は3つまで

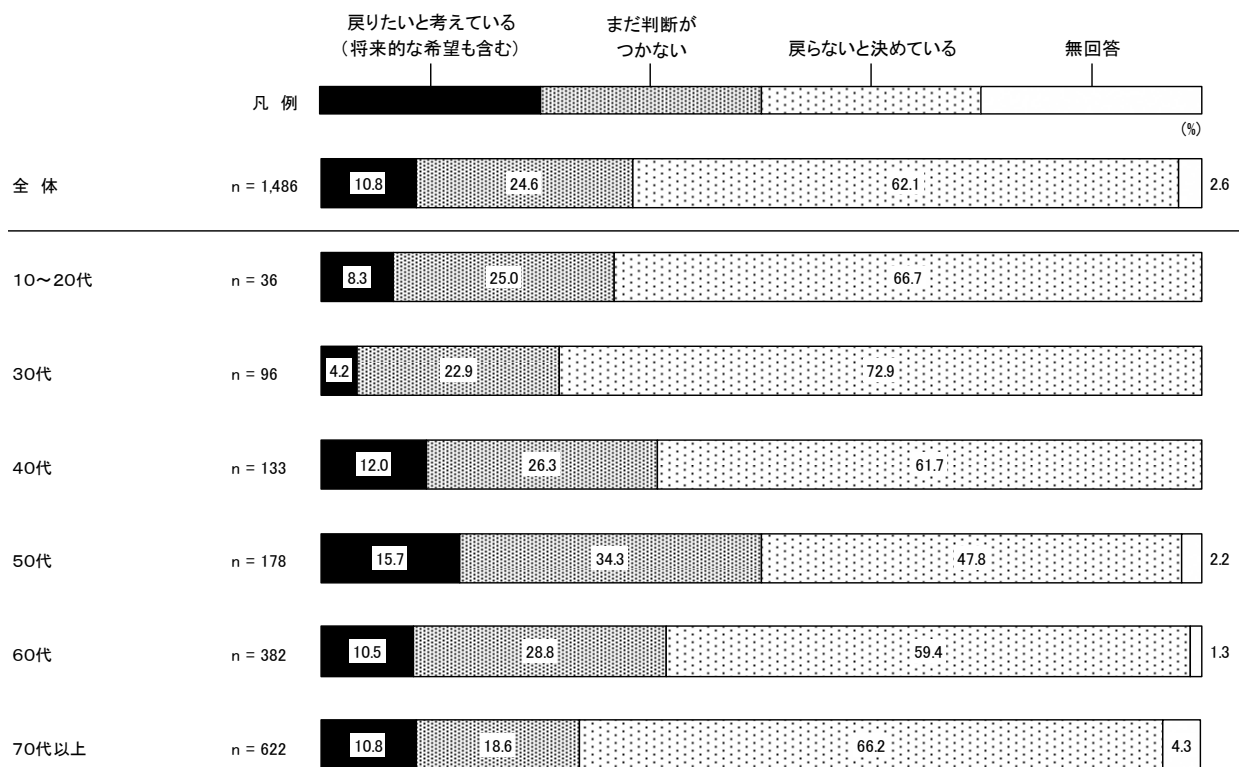
2-3 将来の意向

2-3-1 双葉町への帰還意向（問 10）

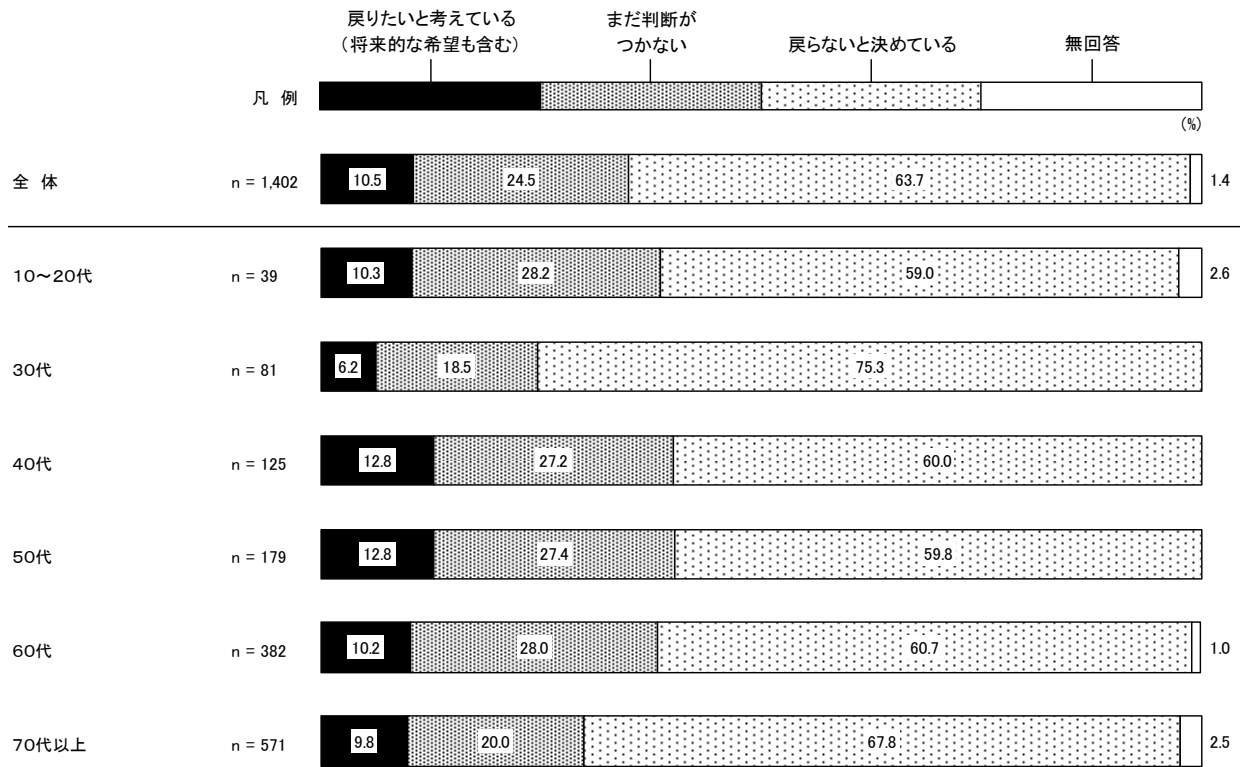
双葉町への帰還意向については、全体では「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」が10.8%、「まだ判断がつかない」が24.6%、「戻らないと決めている」が62.1%となっている。

回答者の年齢別にみると、「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」は50代で15.7%と最も高くなっている。

<図表2-3-1-1 双葉町への帰還意向：令和2年度（年齢別）>



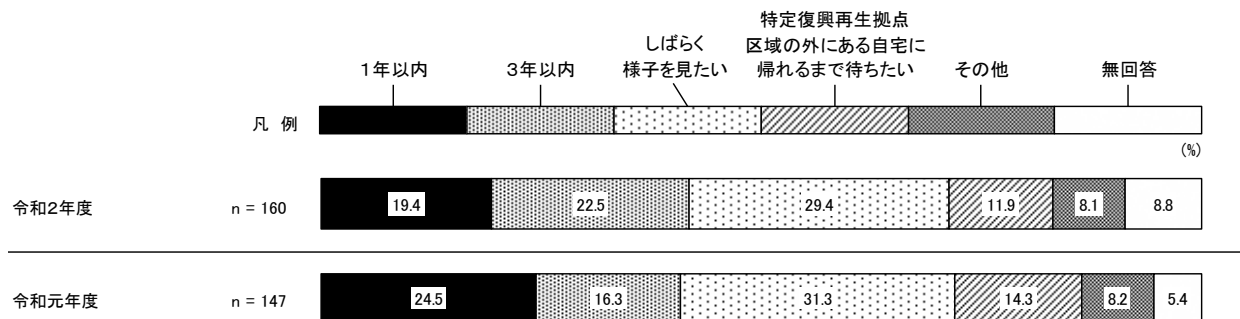
<図表 2-3-1-2 双葉町への帰還意向：令和元年度（年齢別）>



2-3-2 避難指示解除後の双葉町への帰還時期（問 11-1）

避難指示解除後の双葉町への帰還時期については、「しばらく様子を見たい」が29.4%と最も高く、次いで「3年以内」が22.5%、「1年以内」が19.4%となっている。

<図表 2-3-2 避難指示解除後の双葉町への帰還時期>

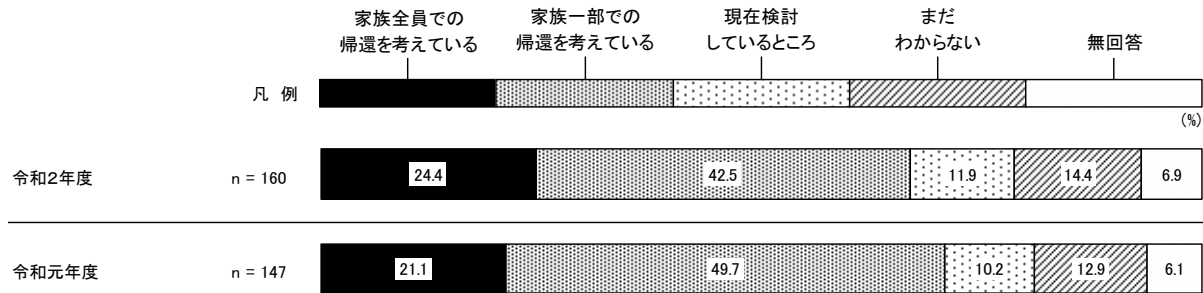


※問 10 で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ

2-3-3 双葉町へ帰還する場合の家族（問 11-2）

双葉町へ帰還する場合の家族については、「家族一部での帰還を考えている」が42.5%と最も高く、次いで「家族全員での帰還を考えている」が24.4%、「まだわからない」が14.4%となっている。

<図表2-3-3 双葉町へ帰還する場合の家族>

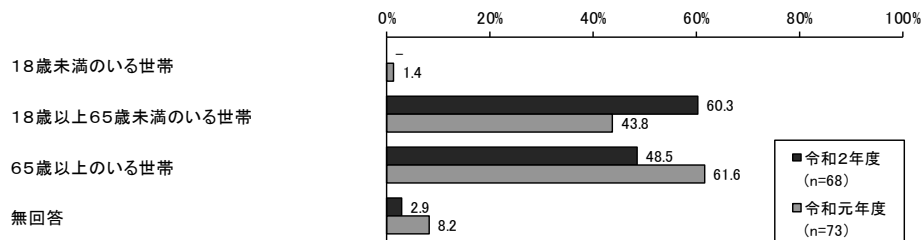


※問 10 で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ

2-3-4 双葉町へ帰還した場合の世帯構成（問 11-3）

双葉町へ帰還した場合の世帯構成については、「18歳以上65歳未満のいる世帯」が60.3%、「65歳以上のいる世帯」が48.5%となっている。

<図表2-3-4 双葉町へ帰還した場合の世帯構成>



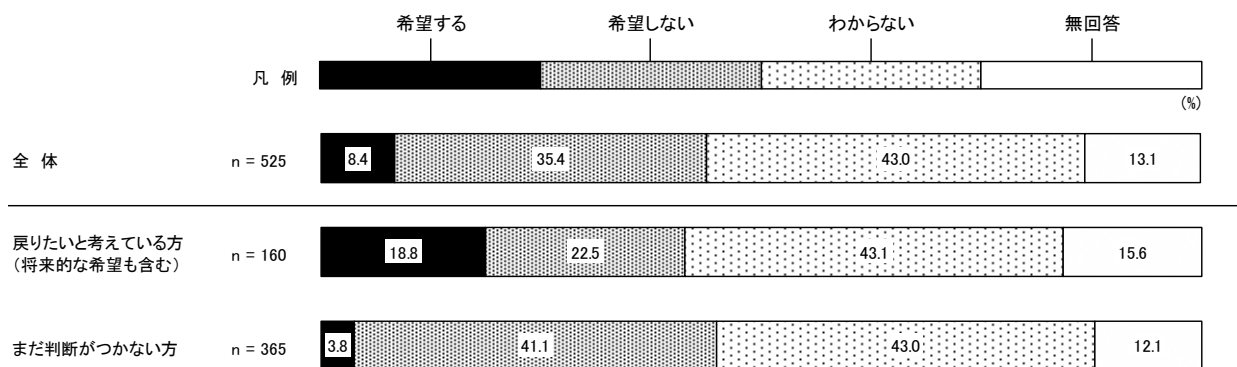
※問 11-2 で「家族一部での帰還を考えている」と回答した方のみ

2-3-5 準備宿泊の意向（問 12-1）

準備宿泊の意向については、「希望する」が8.4%、「希望しない」が35.4%、「わからない」が43.0%となっている。

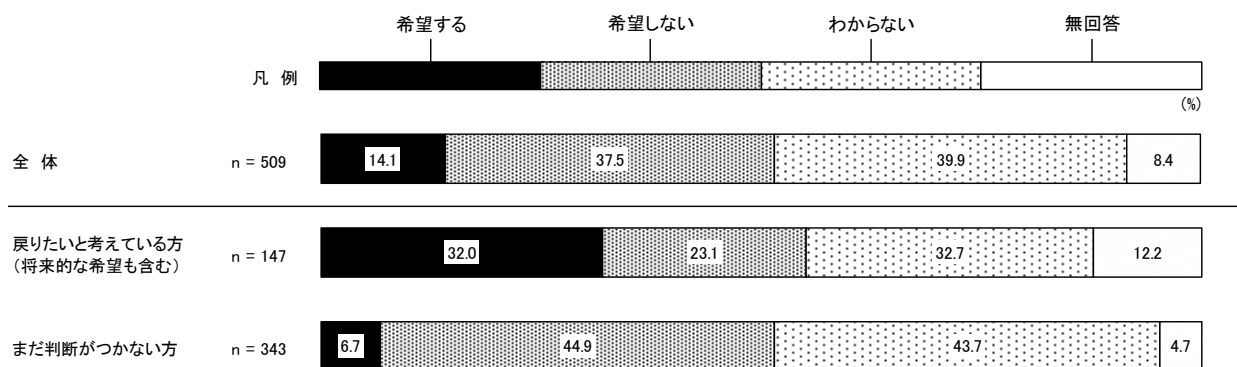
帰還意向別にみると、戻りたいと考えている方では、「希望する」が18.8%、「希望しない」が22.5%、「わからない」が43.1%となっている。まだ判断がつかない方では、「希望する」が3.8%、「希望しない」が41.1%、「わからない」が43.0%となっている。

<図表2-3-5-1 準備宿泊の意向（帰還意向別）：令和2年度（準備宿泊の意向別）>



※問 10 で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「まだ判断がつかない」と回答した方のみ

<図表2-3-5-2 準備宿泊の意向（帰還意向別）：令和元年度（準備宿泊の意向別）>

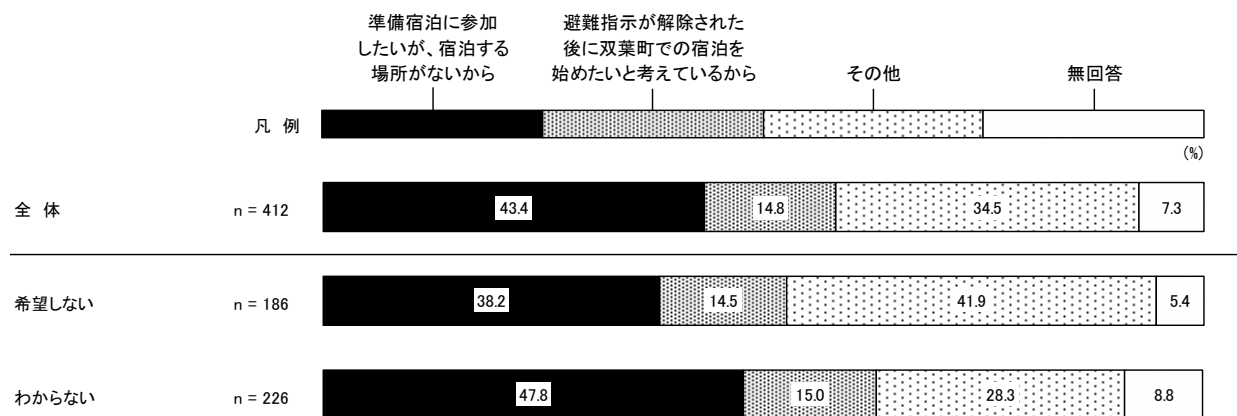


2-3-6 準備宿泊を希望しない・わからない人の理由（問 12-3）

準備宿泊を希望しない・わからない人の理由については、「準備宿泊に参加したいが、宿泊する場所がないから」が43.4%、「避難指示が解除された後に双葉町での宿泊を始めたいと考えているから」が14.8%となっている。

準備宿泊の意向別にみると、希望しない方では、「準備宿泊に参加したいが、宿泊する場所がないから」が38.2%、「避難指示が解除された後に双葉町での宿泊を始めたいと考えているから」が14.5%となっている。わからない方では、「準備宿泊に参加したいが、宿泊する場所がないから」が47.8%、「避難指示が解除された後に双葉町での宿泊を始めたいと考えているから」が15.0%となっている。

<図表 2-3-6 準備宿泊を希望しない・わからない人の理由（準備宿泊の意向別）>



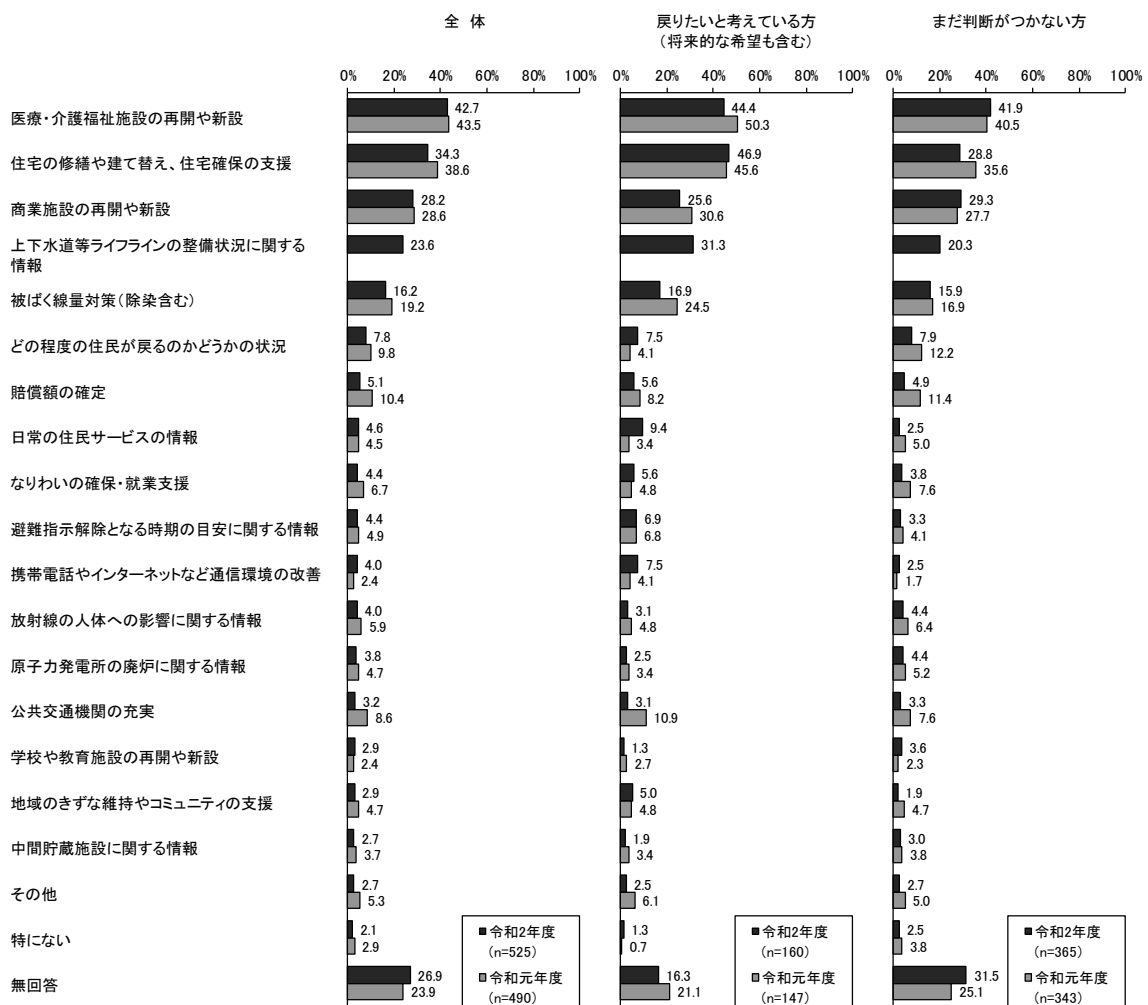
※問 12-1 で「希望しない」「わからない」と回答した方のみ
 ※令和2年度からの新規設問

2-3-7 双葉町への帰還を判断するために必要なこと（問 12-4）

双葉町への帰還を判断するために必要なことについては、全体では「医療・介護福祉施設の再開や新設」が42.7%と最も高く、次いで「住宅の修繕や建て替え、住宅確保の支援」が34.3%、「商業施設の再開や新設」が28.2%となっている。

帰還意向別にみると、戻りたいと考えている方では、「住宅の修繕や建て替え、住宅確保の支援」が46.9%と最も高く、次いで「医療・介護福祉施設の再開や新設」が44.4%、「上下水道等ライフラインの整備状況に関する情報」が31.3%となっている。まだ判断がつかない方では、「医療・介護福祉施設の再開や新設」が41.9%と最も高く、次いで「商業施設の再開や新設」が29.3%、「住宅の修繕や建て替え、住宅確保の支援」が28.8%となっている。

<図表2-3-7 双葉町への帰還を判断するために必要なこと（帰還意向別）>



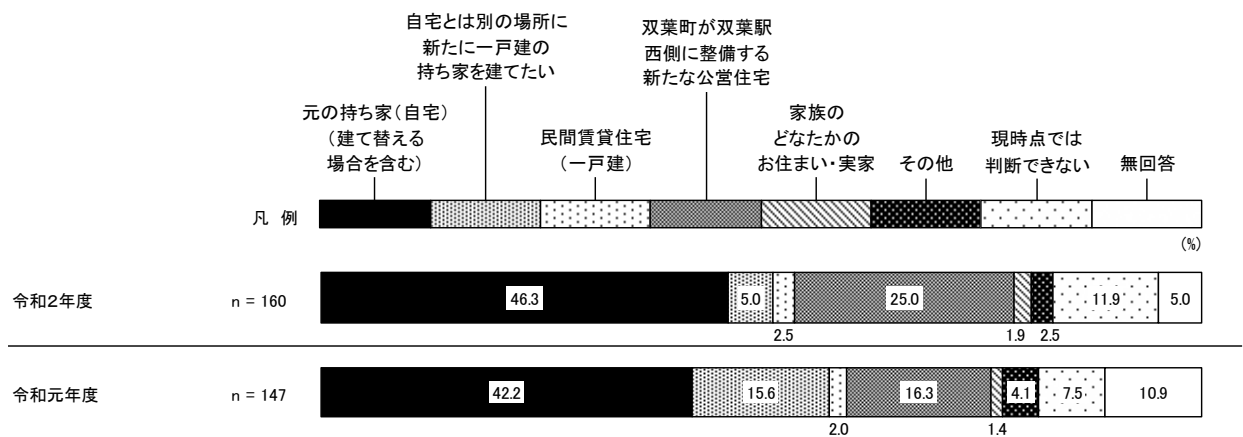
※問 10 で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「まだ判断がつかない」と回答した方のみ
 ※優先順位 1 番目から 3 番目を積算して算出

※「上下水道等ライフラインの整備状況に関する情報」については、令和元年度は聴取していない

2-3-8 双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態〔戻りたいと考えている方〕
（問 12-5）

双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態で、戻りたいと考えている方についてみると、「元の持ち家（自宅）（建て替える場合を含む）」が46.3%と最も高く、次いで「双葉町が双葉駅西側に整備する新たな公営住宅」が25.0%、「現時点では判断できない」が11.9%となっている。

<図表2-3-8 双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態〔戻りたいと考えている方〕>



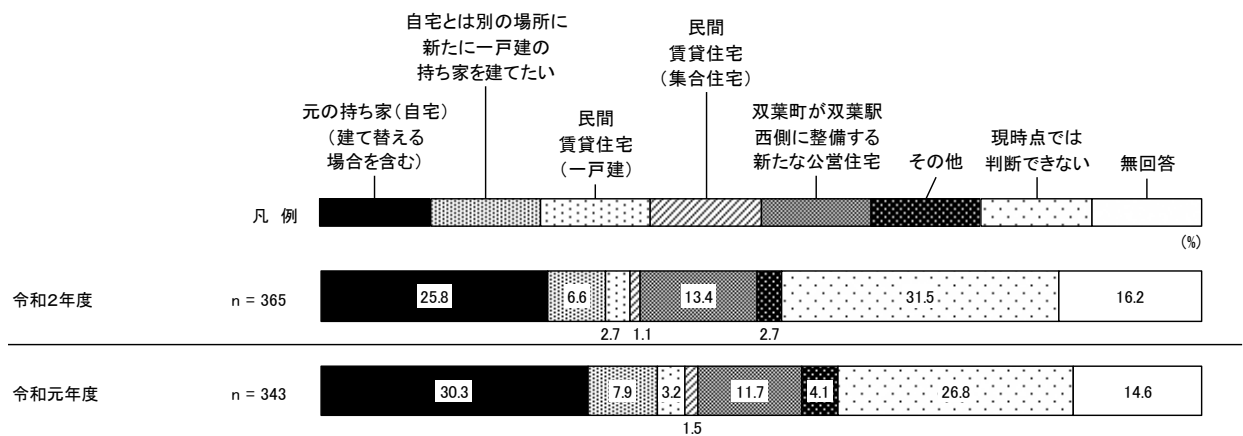
※問 10 で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ

※「双葉町が双葉駅西側に整備する新たな公営住宅」は、令和元年度は「町内の公営住宅」として聴取

2-3-9 双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態〔まだ判断がつかない方〕
（問 12-5）

双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態で、まだ判断がつかない方についてみると、「現時点では判断できない」が31.5%と最も高く、次いで「元の持ち家（自宅）（建て替える場合を含む）」が25.8%、「双葉町が双葉駅西側に整備する新たな公営住宅」が13.4%となっている。

<図表2-3-9 双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態〔まだ判断がつかない方〕>



※問 10 で「まだ判断がつかない」と回答した方のみ

※「双葉町が双葉駅西側に整備する新たな公営住宅」は、令和元年度は「町内の公営住宅」として聴取

2-3-10 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居留意向（問 12-6）

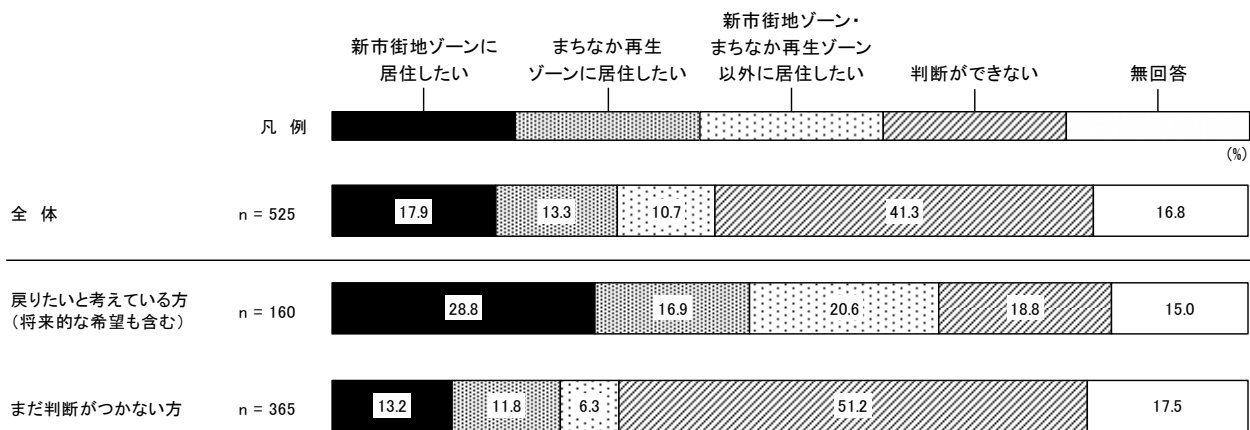
現在、双葉駅西側において、令和4年春頃の解除目標に向けた新たなまちづくりを進めている（新市街地ゾーン）ほか、従来の中心市街地も「まちなか再生ゾーン」と位置づけ、賑わいの再生を図っていくことを目標としています。

「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居留意向については、「新市街地ゾーンに居住したい」が17.9%、「まちなか再生ゾーンに居住したい」が13.3%となっている。最も高いのは「判断ができない」で41.3%となっている。

帰還意向別にみると、戻りたいと考えている方では、「新市街地ゾーンに居住したい」が28.8%と最も高く、「まちなか再生ゾーンに居住したい」が16.9%となっている。

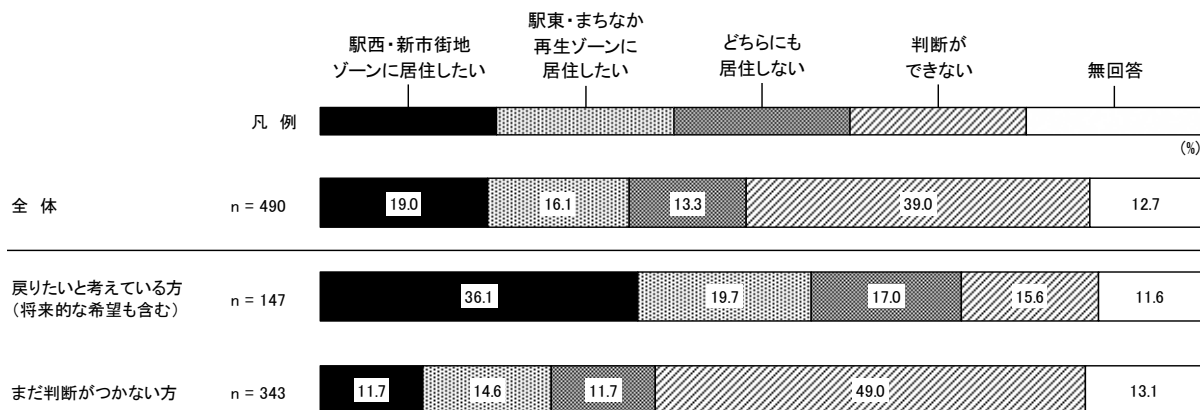
まだ判断がつかない方では、「新市街地ゾーンに居住したい」が13.2%、「まちなか再生ゾーンに居住したい」が11.8%、「判断ができない」が51.2%となっている。

<図表2-3-10-1 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居留意向：令和2年度（帰還意向別）>



※問 10 で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「まだ判断がつかない」と回答した方のみ

<図表2-3-10-2 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居留意向：令和元年度（帰還意向別）>

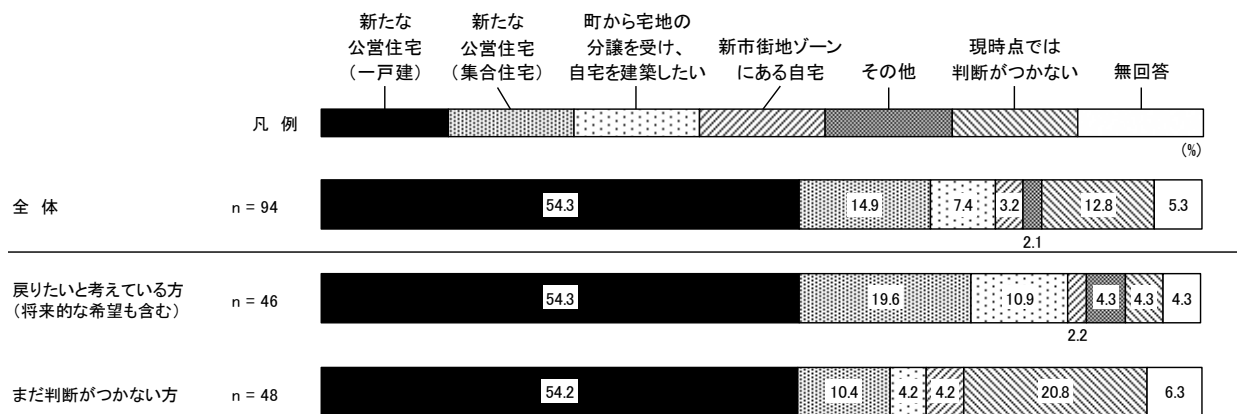


2-3-11 JR双葉駅の西側に住宅地が整備された場合に希望する住居形態（問12-7）

JR双葉駅の西側に住宅地が整備された場合に希望する住居形態については、「新たな公営住宅（一戸建）」が54.3%と最も高く、次いで「新たな公営住宅（集合住宅）」が14.9%、「現時点では判断がつかない」が12.8%となっている。

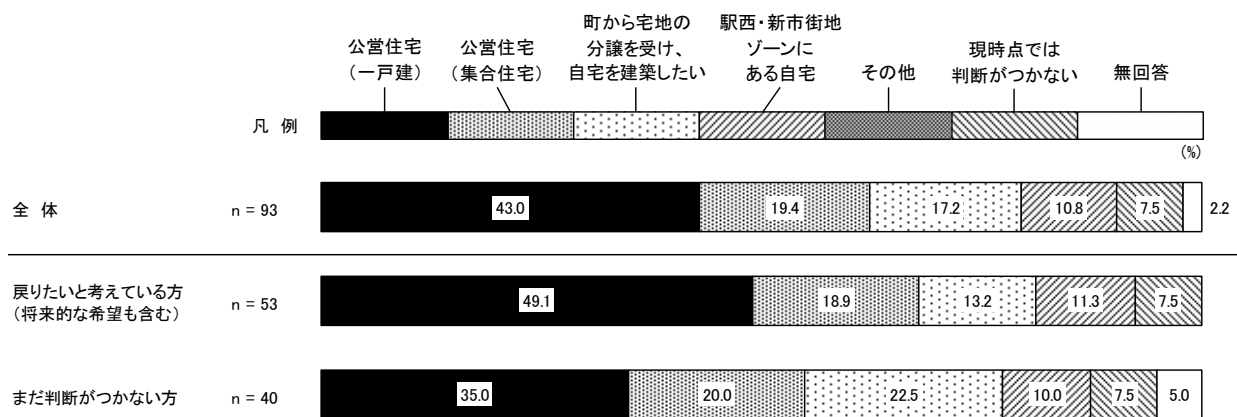
帰還意向別にみると、どの意向でも「新たな公営住宅（一戸建）」が最も高くなっている。まだ判断がつかない方では、「現時点では判断ができない」が20.8%となっている。

＜図表2-3-11-1 JR双葉駅の西側に住宅地が整備された場合に希望する住居形態：令和2年度（帰還意向別）＞



※問12-6で「新市街地ゾーンに居住したい」と回答した方のみ

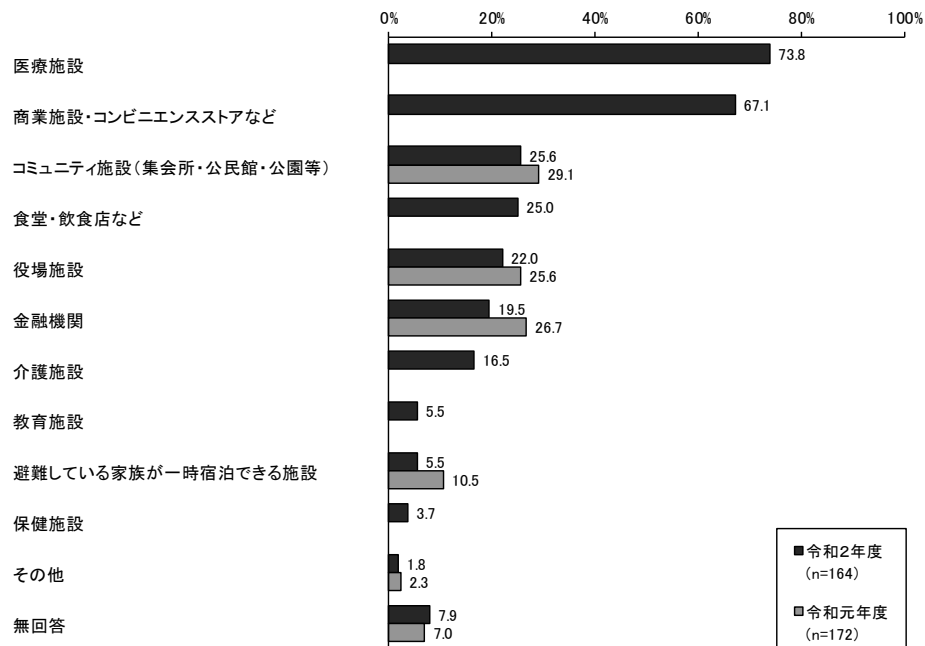
＜図表2-3-11-2 JR双葉駅の西側に住宅地が整備された場合に希望する住居形態：令和元年度（帰還意向別）＞



2-3-12 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連施設
（問 12-8）

「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連施設については、「医療施設」が73.8%と最も高く、次いで「商業施設・コンビニエンスストアなど」が67.1%、「コミュニティ施設（集会所・公民館・公園等）」が25.6%となっている。

<図表2-3-12 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連施設>

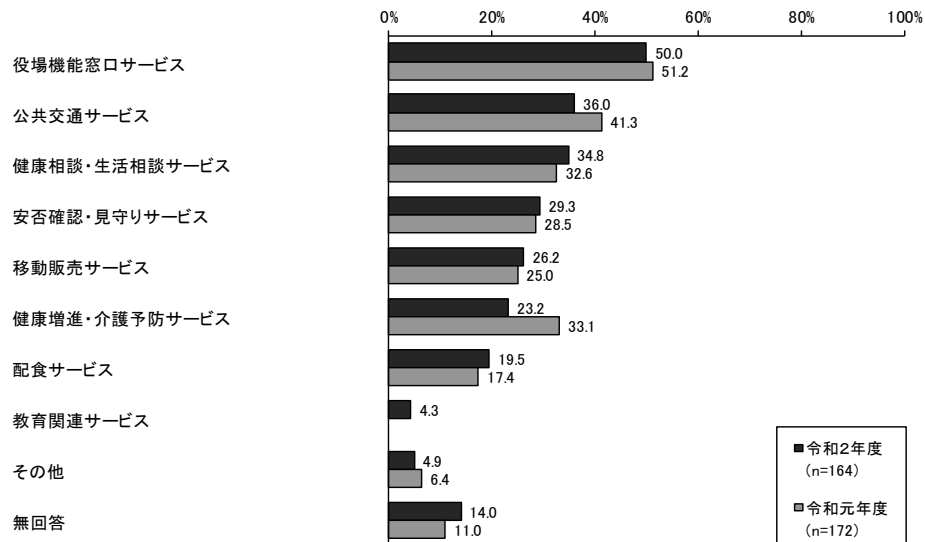


- ※問 12-6で「新市街地ゾーンに居住したい」「まちなか再生ゾーンに居住したい」と回答した方のみ
- ※回答は3つまで
- ※「医療施設」「介護施設」については、令和元年度は「医療・介護施設」として聴取しているため、グラフには掲載していない
- ※「商業施設・コンビニエンスストアなど」「食堂・飲食店など」については、令和元年度は「商業施設・食堂・コンビニエンスストアなど」として聴取しているため、グラフには掲載していない
- ※「教育施設」「保健施設」については、令和元年度は「保健・教育施設」として聴取しているため、グラフには掲載していない

2-3-13 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連サービス
(問 12-9)

「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連サービスについては、「役場機能窓口サービス」が50.0%と最も高く、次いで「公共交通サービス」が36.0%、「健康相談・生活相談サービス」が34.8%となっている。

<図表2-3-13 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連サービス>

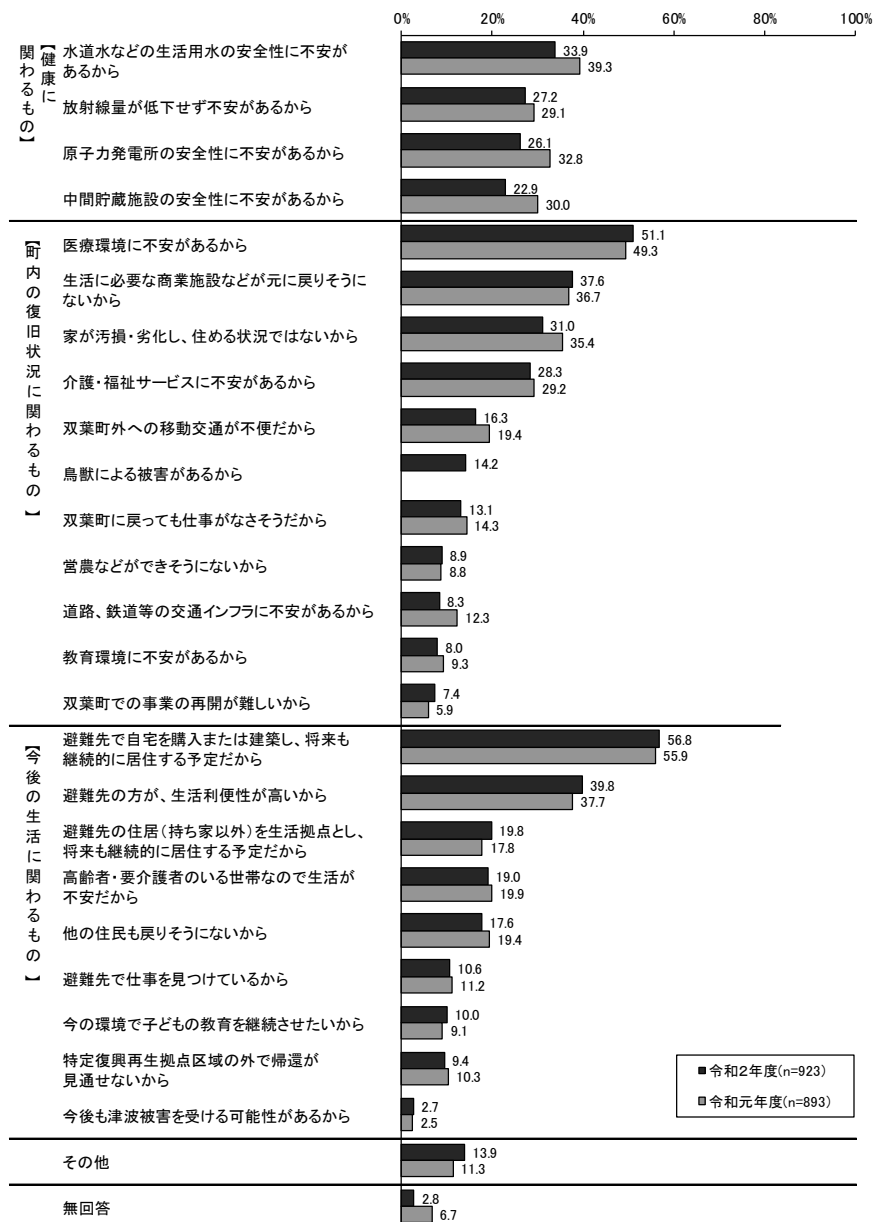


※問 12-6で「新市街地ゾーンに居住したい」「まちなか再生ゾーンに居住したい」と回答した方のみ
 ※回答は3つまで
 ※「教育関連サービス」については、令和元年度は購取していない

2-3-14 双葉町に戻らないと決めている理由（問 14-1）

双葉町に戻らないと決めている理由については、「避難先で自宅を購入または建築し、将来も継続的に居住する予定だから」が56.8%と最も高く、次いで「医療環境に不安があるから」が51.1%、「避難先の方が、生活利便性が高いから」が39.8%となっている。

＜図表2-3-14 双葉町に戻らないと決めている理由＞



※問 10 で「戻らないと決めている」と回答した方のみ

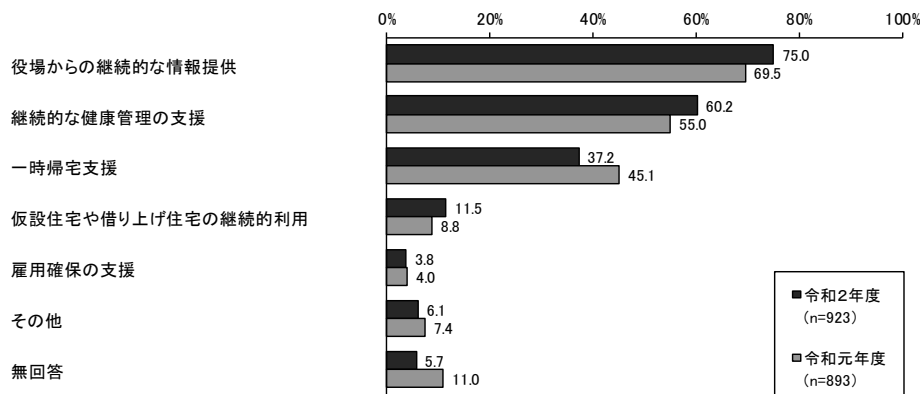
※複数回答可

※「鳥獣による被害があるから」については、令和元年度は聴取していない

2-3-15 双葉町に帰還しない場合に今後の生活において必要な支援（問 14-2）

双葉町に帰還しない場合に今後の生活において必要な支援については、「役場からの継続的な情報提供」が75.0%と最も高く、次いで「継続的な健康管理の支援」が60.2%、「一時帰宅支援」が37.2%となっている。

<図表2-3-15 双葉町に帰還しない場合に今後の生活において必要な支援>

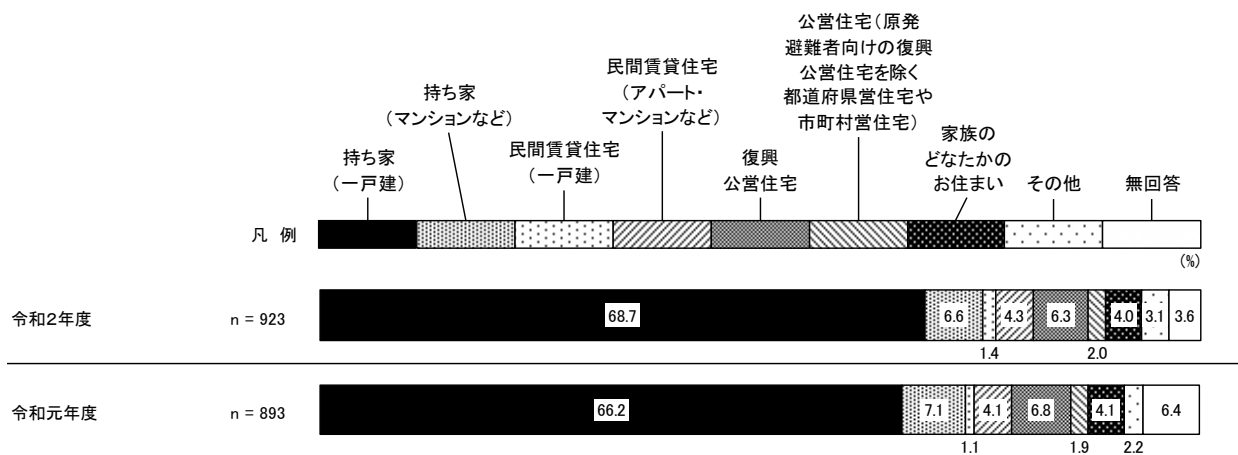


※問 10 で「戻らないと決めている」と回答した方のみ
 ※複数回答可

2-3-16 双葉町に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態（問 14-3）

双葉町に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態については、「持ち家（一戸建）」が68.7%と最も高く、次いで「持ち家（マンションなど）」が6.6%、「復興公営住宅」が6.3%となっている。

<図表2-3-16 双葉町に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態>



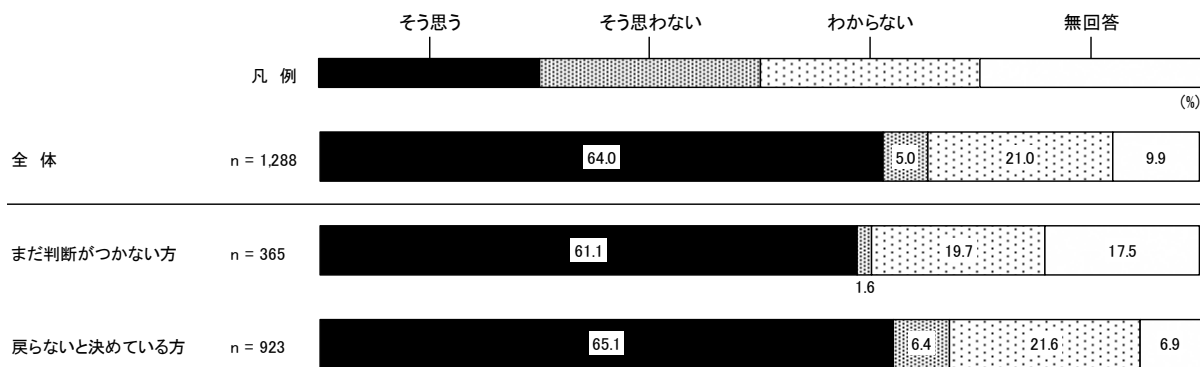
※問 10 で「戻らないと決めている」と回答した方のみ

2-3-17 双葉町との「つながり」を保ちたいか（問 13-1）

双葉町との「つながり」を保ちたいかについては、「そう思う」が64.0%、「そう思わない」が5.0%、「わからない」が21.0%となっている。

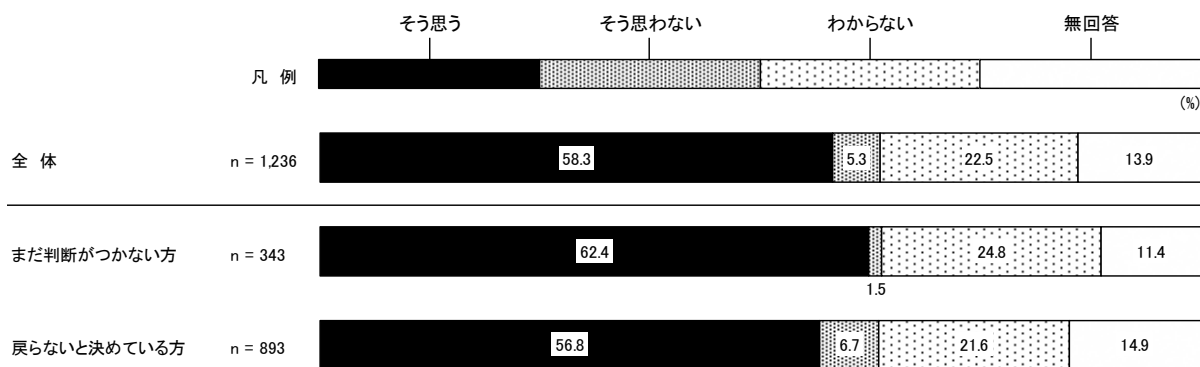
帰還意向別にみると、まだ判断がつかない方では、「そう思う」が61.1%、「そう思わない」が1.6%、「わからない」が19.7%となっている。戻らないと決めている方では、「そう思う」が65.1%、「そう思わない」が6.4%、「わからない」が21.6%となっている。

<図表 2-3-17-1 双葉町との「つながり」を保ちたいか：令和2年度（帰還意向別）>



※問 10 で「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ

<図表 2-3-17-2 双葉町との「つながり」を保ちたいか：令和元年度（帰還意向別）>

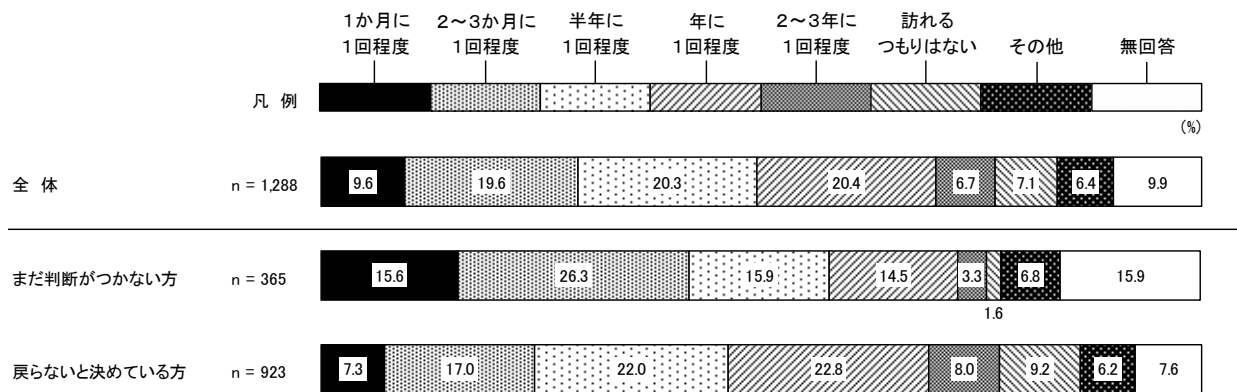


2-3-18 双葉町を訪れたい頻度（問 13-2）

双葉町を訪れたい頻度については、「年に1回程度」が20.4%と最も高く、次いで「半年に1回程度」が20.3%、「2～3か月に1回程度」が19.6%となっている。

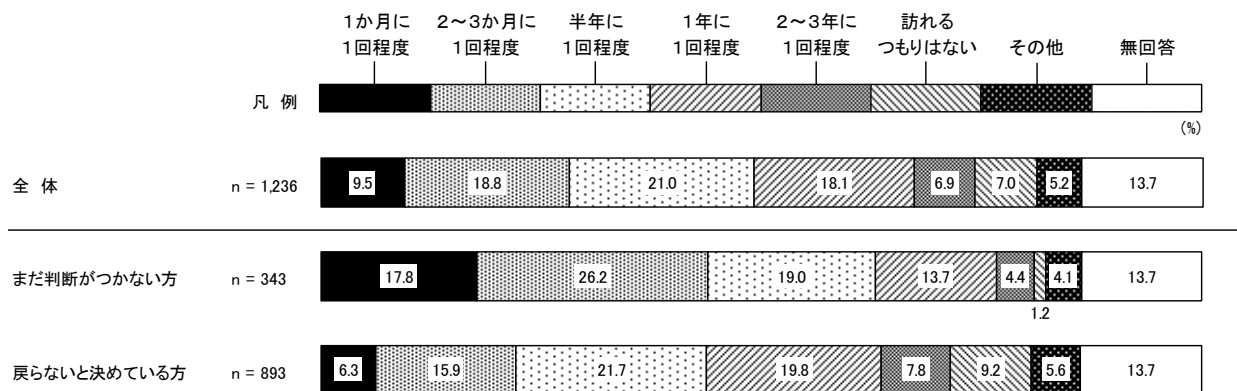
帰還意向別にみると、まだ判断がつかない方では、「2～3か月に1回程度」が26.3%と最も高く、次いで「半年に1回程度」が15.9%、「1か月に1回程度」が15.6%となっている、戻らないと決めている方では、「年に1回程度」が22.8%と最も高く、次いで「半年に1回程度」が22.0%、「2～3か月に1回程度」が17.0%となっている。

<図表2-3-18-1 双葉町を訪れたい頻度：令和2年度（帰還意向別）>



※問 10 で「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ

<図表2-3-18-2 双葉町を訪れたい頻度：令和元年度（帰還意向別）>

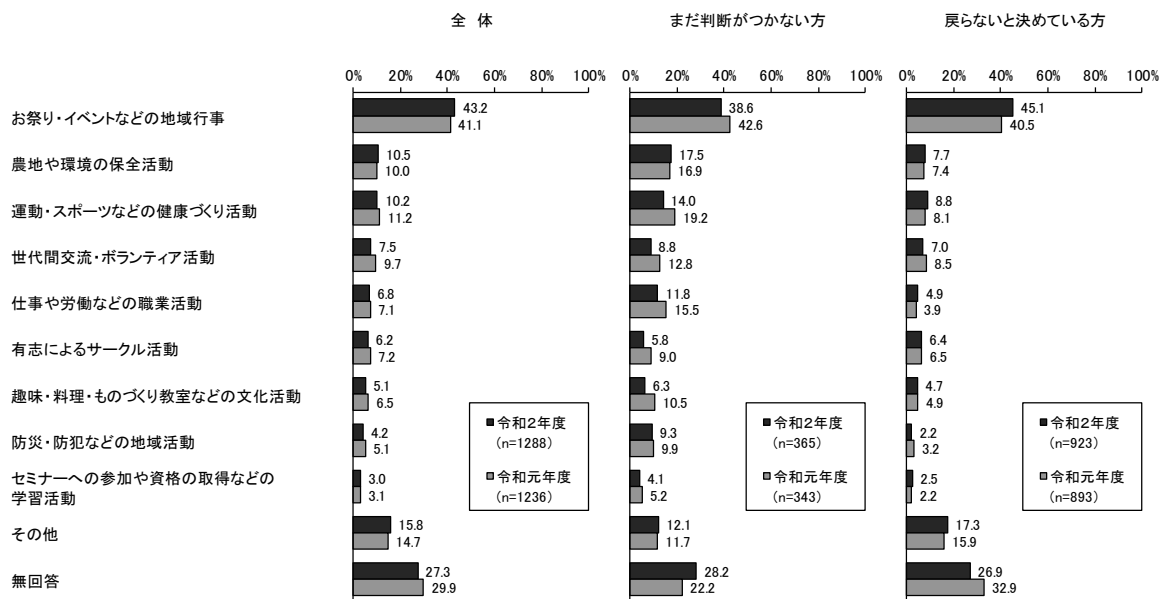


2-3-19 双葉町を訪れたいくなる取り組み・行事・イベント（問 13-3）

双葉町を訪れたいくなる取り組み・行事・イベントについては、「お祭り・イベントなどの地域行事」が43.2%と最も高く、次いで「農地や環境の保全活動」が10.5%、「運動・スポーツなどの健康づくり活動」が10.2%となっている。

帰還意向別にみると、まだ判断がつかない方、戻らないと決めている方のいずれにおいても、全体と同じ項目が上位に並んでいる。

<図表2-3-19 双葉町を訪れたいくなる取り組み・行事・イベント（帰還意向別）>



※問 10 で「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ
 ※複数回答可

2-4 双葉町内での事業の実施

2-4-1 震災発生当時の双葉町内での事業（問 15-1）

震災発生当時の双葉町内での事業については、「営んでいた」が24.4%、「営んでいない」が69.2%となっている。

<図表2-4-1 震災発生当時の双葉町内での事業>

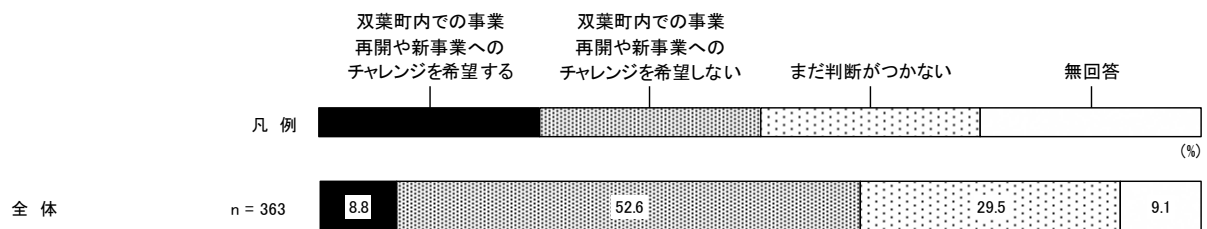


※令和2年度からの新規設問

2-4-2 避難指示解除後の事業再開や新事業へのチャレンジの意向（問 15-3）

避難指示解除後の事業再開や新事業へのチャレンジの意向については、「双葉町内での事業再開や新事業へのチャレンジを希望する」が8.8%、「双葉町内での事業再開や新事業へのチャレンジを希望しない」が52.6%、「まだ判断がつかない」が29.5%となっている。

<図表2-4-2 避難指示解除後の事業再開や新事業へのチャレンジの意向>

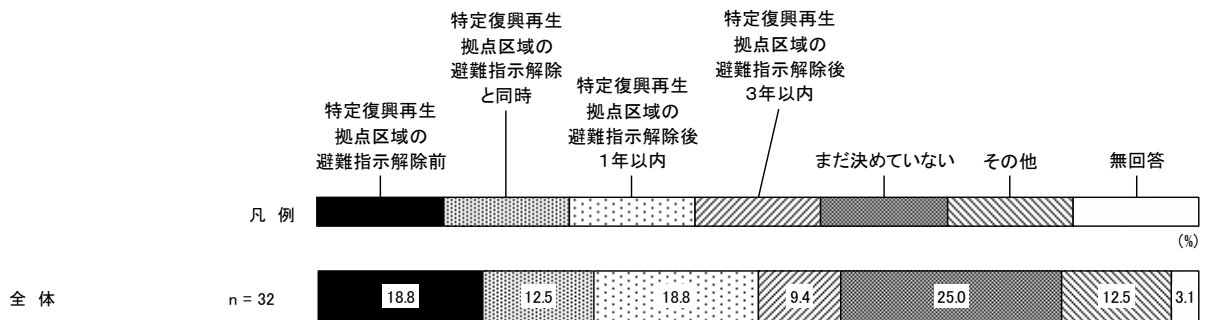


※問 15-1 で「営んでいた」と回答した方のみ
 ※令和2年度からの新規設問

2-4-3 双葉町内での事業再開の希望時期（問 15-4）

双葉町内での事業再開の希望時期については、「まだ決めていない」が25.0%と最も高く、次いで「特定復興再生拠点区域の避難指示解除前」と「特定復興再生拠点区域の避難指示解除後1年以内」が共に18.8%となっている。

<図表2-4-3 双葉町内での事業再開の希望時期>

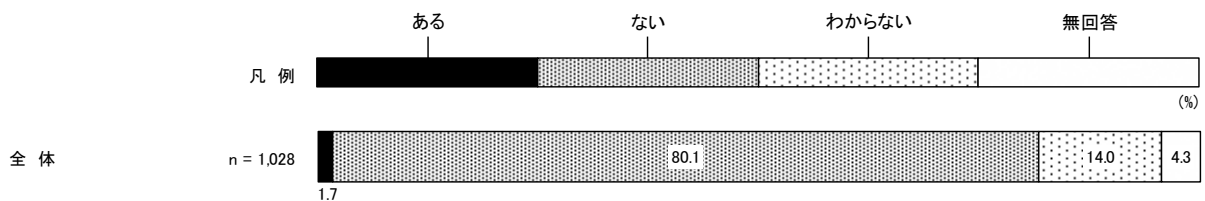


※問 15-3で「双葉町内での事業再開や新事業へのチャレンジを希望する」と回答した方のみ
 ※令和2年度からの新規設問

2-4-4 双葉町内での新事業へのチャレンジの意向（問 15-5）

双葉町内での新事業へのチャレンジの意向については、「ある」が1.7%、「ない」が80.1%、「わからない」が14.0%となっている。

<図表2-4-4 双葉町内での新事業へのチャレンジの意向>

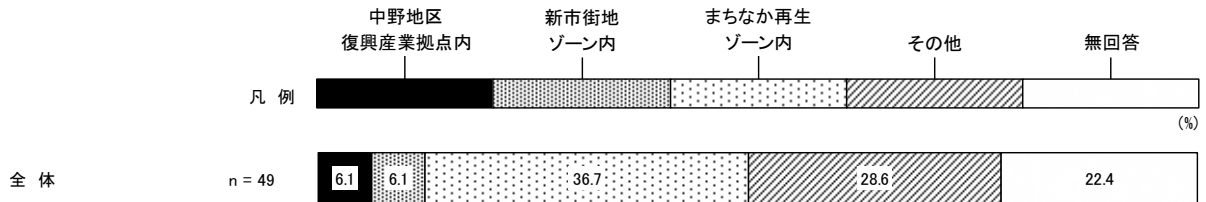


※問 15-1で「営んでいない」と回答した方のみ
 ※令和2年度からの新規設問

2-4-5 事業再開や新事業へのチャレンジを実施する場所（問 15-6）

事業再開や新事業へのチャレンジを実施する場所については、「まちなか再生ゾーン内」が 36.7%、「中野地区復興産業拠点内」と「新市街地ゾーン内」が共に 6.1%となっている。

<図表 2-4-5 事業再開や新事業へのチャレンジを実施する場所>



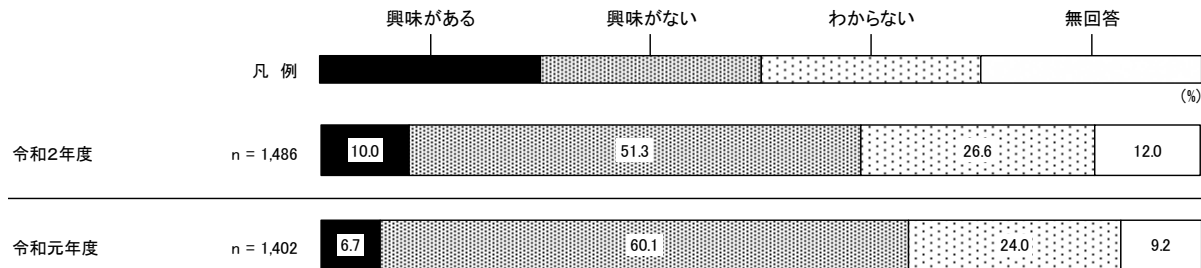
※問 15-3 で「双葉町内での事業再開や新事業へのチャレンジを希望する」と回答した方、もしくは問 15-5 で「ある」と回答した方のみ
 ※令和2年度からの新規設問

2-5 双葉町内での就業意向

2-5-1 双葉町内での就業意向（問 16-1）

双葉町内での就業意向については、「興味がある」が 10.0%、「興味がない」が 51.3%、「わからない」が 26.6%となっている。

<図表2-5-1 双葉町内での就業意向>

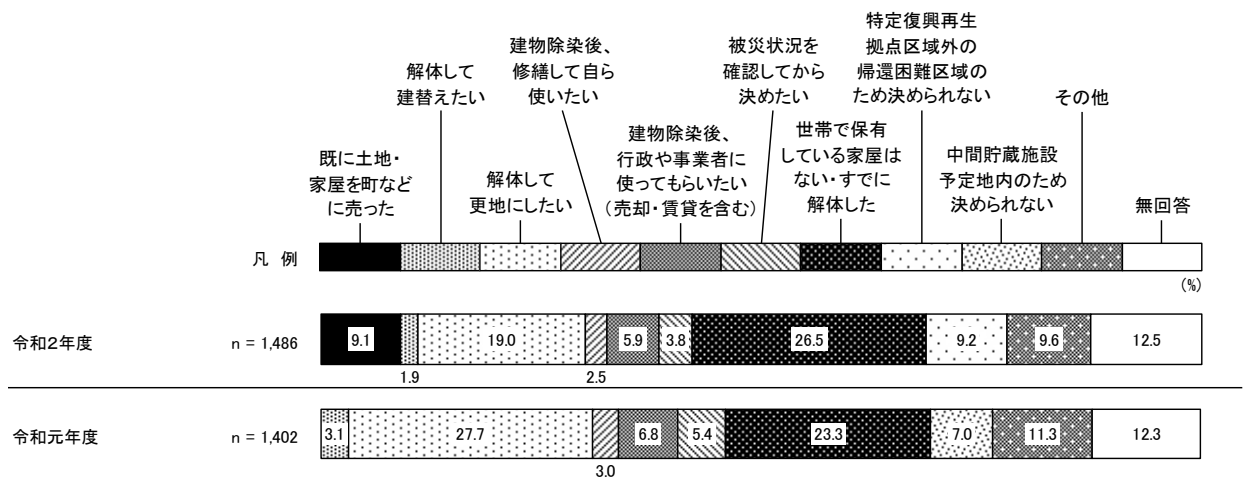


2-6 不動産の取り扱い

2-6-1 双葉町内に保有する家屋の利用意向（問 17）

双葉町内に保有する家屋の利用意向については、「世帯で保有している家屋はない・すでに解体した」が26.5%と最も高く、次いで「解体して更地にしたい」が19.0%、「特定復興再生拠点区域外の帰還困難区域のため決められない」が9.2%となっている。

＜図表2-6-1 双葉町内に保有する家屋の利用意向＞

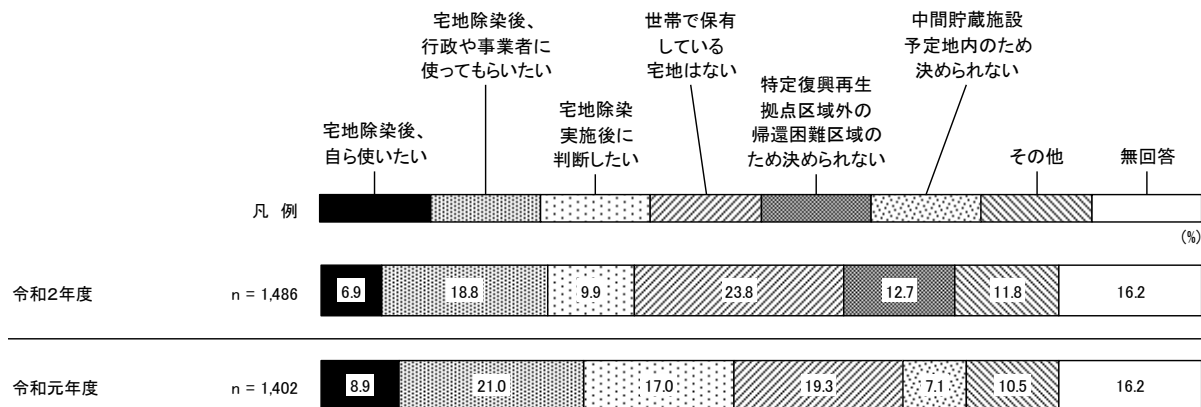


※「中間貯蔵施設予定地内のため決められない」については、令和2年度は聴取していない
 ※「既に土地・家屋を町などに売った」「特定復興再生拠点区域外の帰還困難区域のため決められない」については、令和元年度は聴取していない

2-6-2 双葉町内に保有する宅地の利用意向（問18）

双葉町内に保有する宅地の利用意向については、「世帯で保有している宅地はない」が23.8%と最も高く、次いで「宅地除染後、行政や事業者に使ってもらいたい」が18.8%、「特定復興再生拠点区域外の帰還困難区域のため決められない」が12.7%となっている。

＜図表2-6-2 双葉町内に保有する宅地の利用意向＞

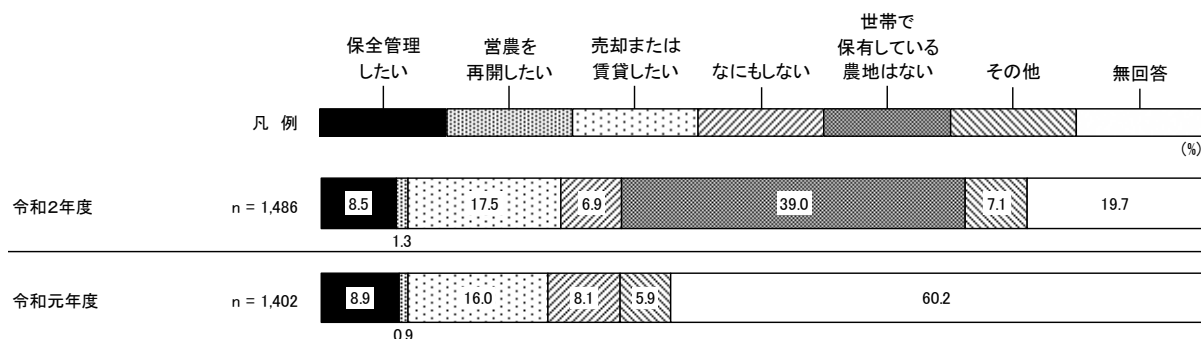


※「中間貯蔵施設予定地内のため決められない」については、令和2年度は聴取していない
 ※「特定復興再生拠点区域外の帰還困難区域のため決められない」については、令和元年度は聴取していない

2-6-3 双葉町内に保有する農地の利用意向（問20-1）

双葉町内に保有する農地の利用意向については、「世帯で保有している農地はない」が39.0%と最も高く、次いで「売却または賃貸したい」が17.5%、「保全管理したい」が8.5%となっている。

＜図表2-6-3 双葉町内に保有する農地の利用意向＞



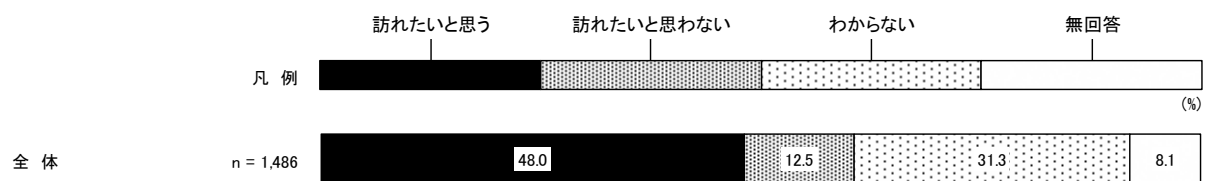
※「世帯で保有している農地はない」については、令和元年度は聴取していない

2-7 双葉町産業交流センター

2-7-1 双葉町産業交流センターへの訪問意向（問 22-1）

双葉町産業交流センターへの訪問意向については、「訪れたいと思う」が48.0%、「訪れたいと思わない」が12.5%、「わからない」が31.3%となっている。

<図表2-7-1 双葉町産業交流センターへの訪問意向>

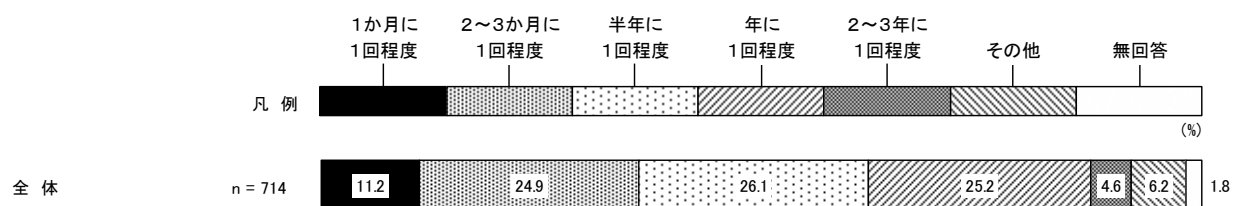


※令和2年度からの新規設問

2-7-2 双葉町産業交流センターを訪問したい頻度（問 22-2）

双葉町産業交流センターを訪問したい頻度については、「半年に1回程度」が26.1%と最も高く、次いで「年に1回程度」が25.2%、「2～3か月に1回程度」が24.9%となっている。

<図表2-7-2 双葉町産業交流センターを訪問したい頻度>



※問 22-1 で「訪れたいと思う」と回答した方のみ
 ※令和2年度からの新規設問

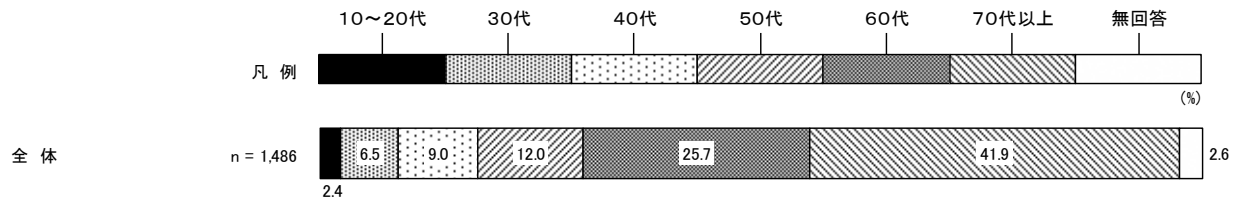
Ⅲ 調査結果（全項目）

3-1 回答者の属性

3-1-1 年齢

問1 現在のあなたの年齢を教えてください。（〇は1つ）

<図表3-1-1 年齢>

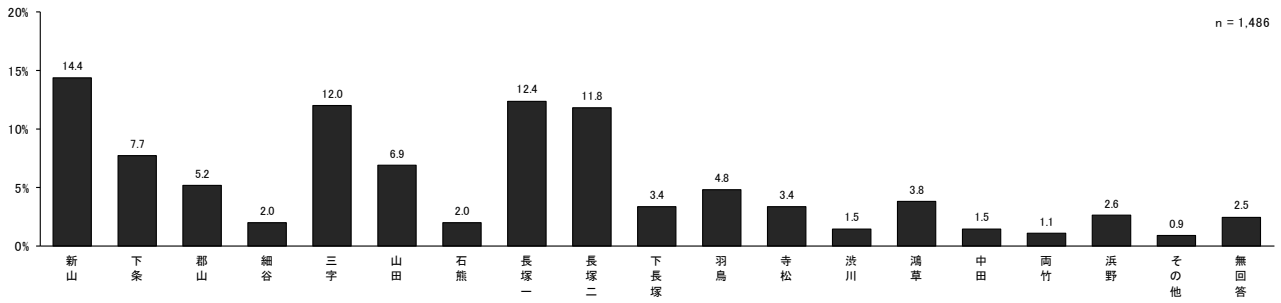


3-2 東日本大震災発生時の状況

3-2-1 震災発生当時の住まいの行政区

問2-1 震災発生当時にお住まいだった行政区を教えてください。（〇は1つ）

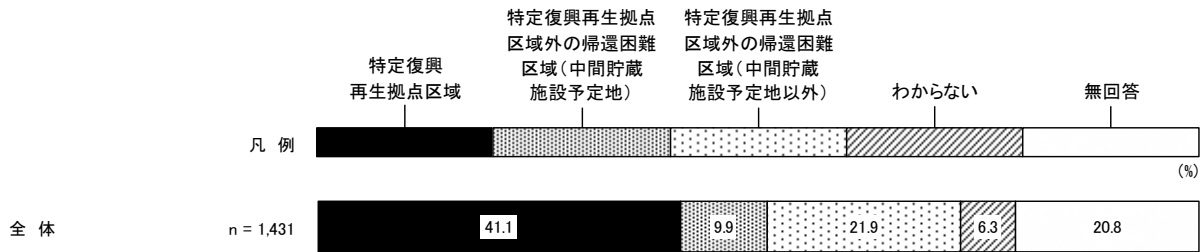
<図表3-2-1 震災発生当時の住まいの行政区>



3-2-2 震災発生当時の住まいの区域

【問2-1で「16. 両竹」「17. 浜野」以外を回答した方に伺います。】
 問2-2 震災発生当時のお住まいが、現在、以下の各区域のどこに該当するかを教えてください。

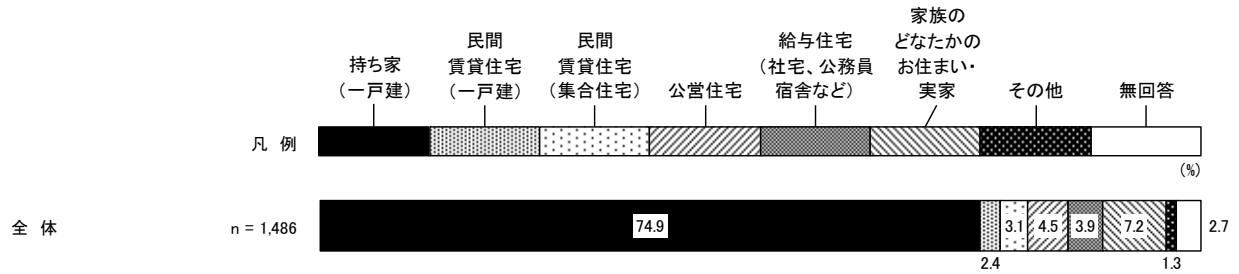
<図表3-2-2 震災発生当時の住まいの区域>



3-2-3 震災発生当時の住居形態

問3 震災発生当時にお住まいだった住宅は、どのような形態でしたか。（〇は1つ）

<図表3-2-3 震災発生当時の住居形態>



〔その他の内訳〕

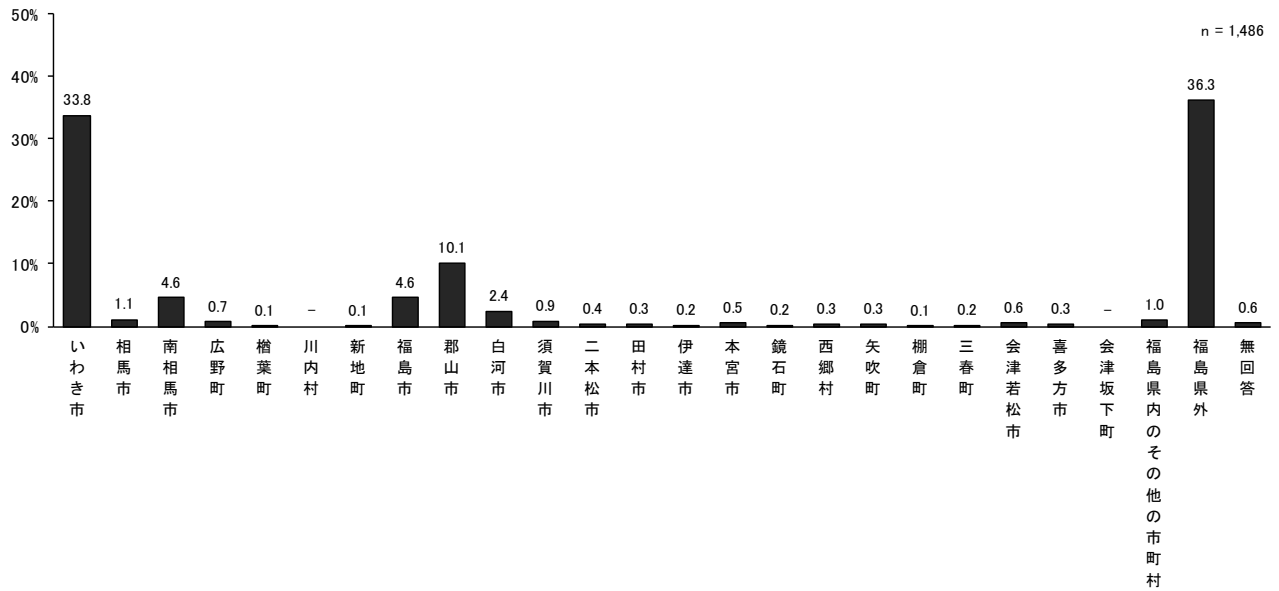
持ち家（集合住宅）	0.2%
親戚・知人宅	0.3%
その他	0.8%

3-3 現在の状況

3-3-1 現在の避難先自治体

問4 あなたが現在避難されている自治体を教えてください。（〇は1つ）

<図表3-3-1 現在の避難先自治体>



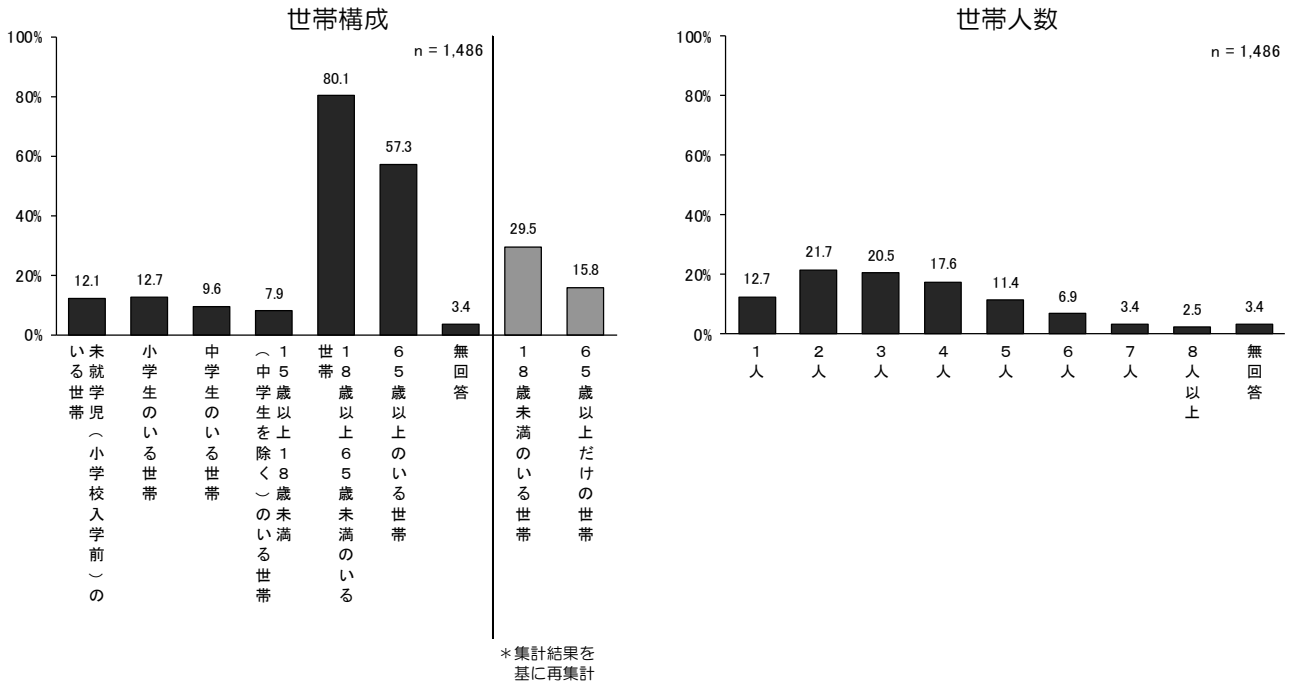
3-3-2 震災発生当時の世帯構成・人数

問5 震災発生当時と現在の世帯構成についてうかがいます。

(1)「震災発生当時」に、あなたを含めて一緒に住んでいた方の人数を教えてください。

あなた自身を含めて、「当時の」年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。（人数で回答）

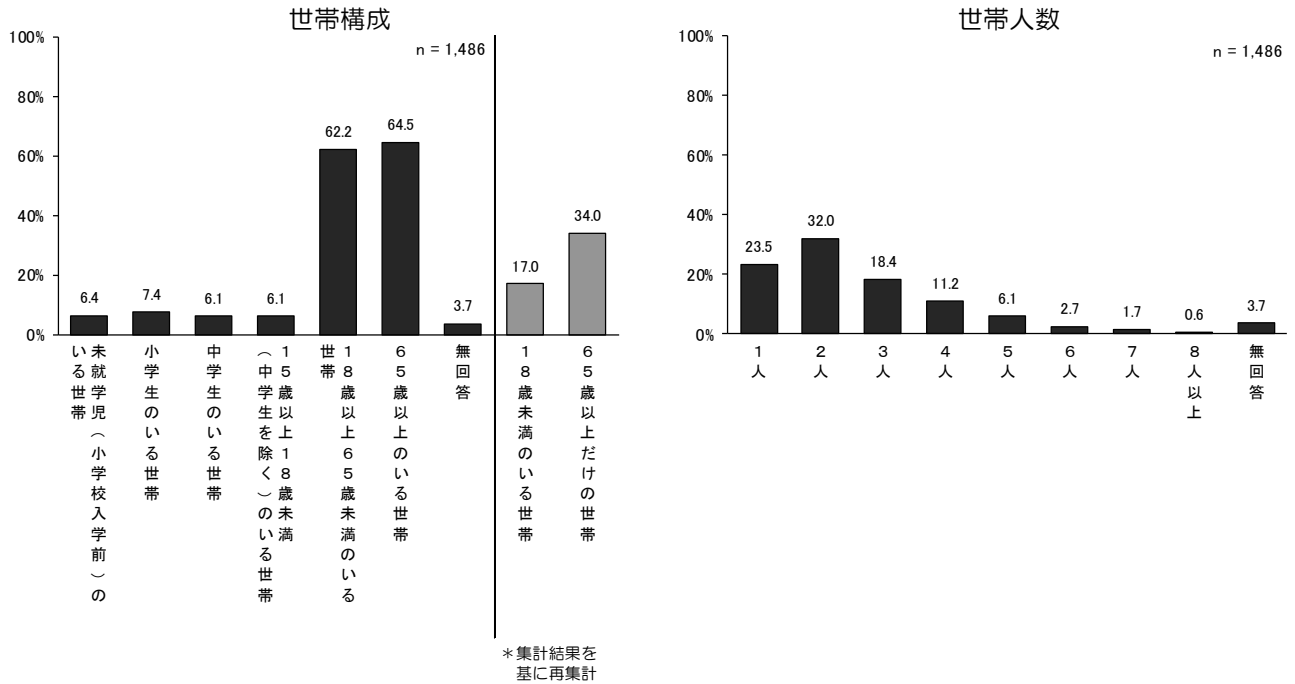
<図表3-3-2 震災発生当時の世帯構成・人数>



3-3-3 現在の世帯構成・人数

問5 震災発生当時と現在の世帯構成についてうかがいます。
 (2)「現在」、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。
 あなた自身を含めて、「現在の」年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

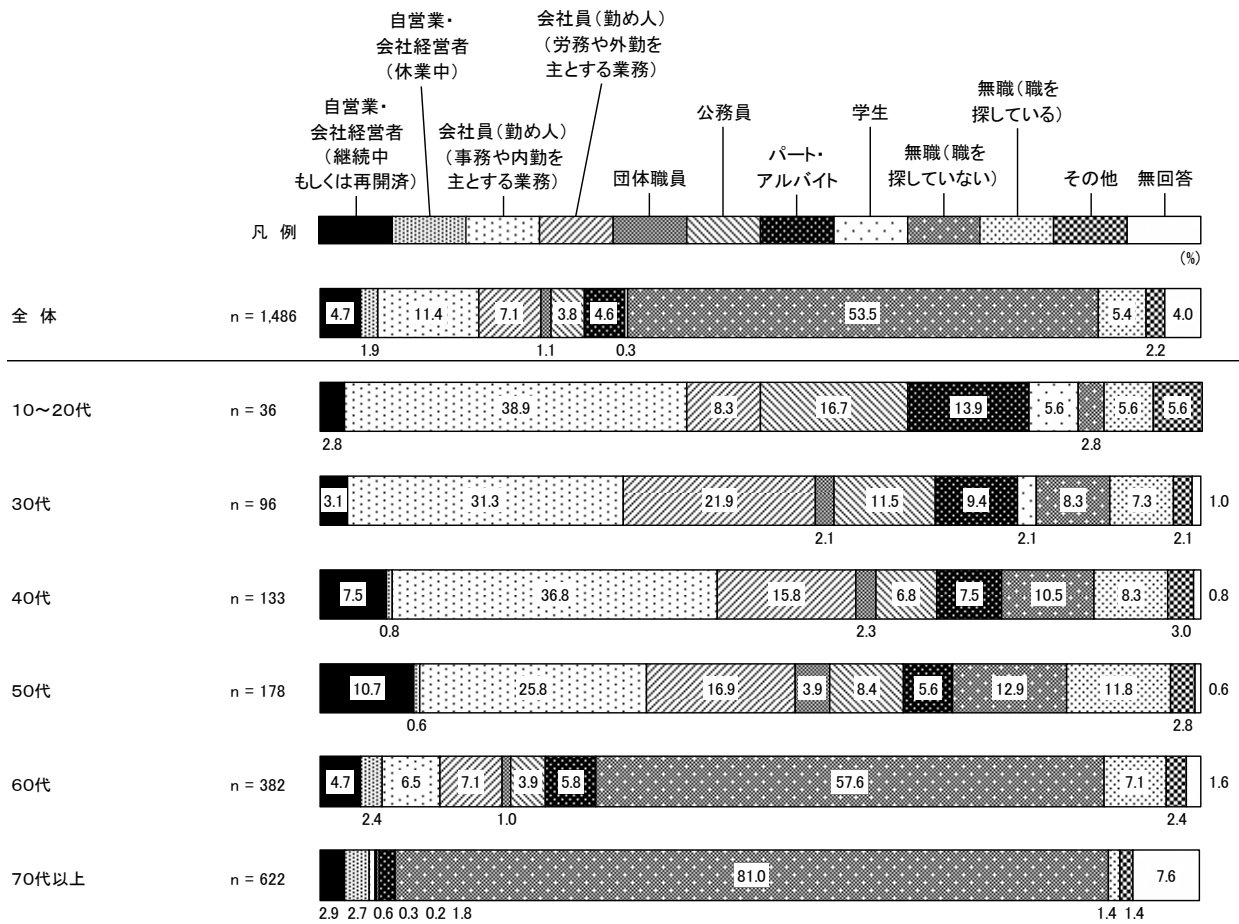
<図表3-3-3 現在の世帯構成・人数>



3-3-4 現在の職業（就業形態）

問6 現在のあなたの職業を教えてください。
 仕事に就いている方は、業種も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合は、主な収入源になっている職業を教えてください。
 (1) 職業（就業形態）（○は1つ）

<図表3-3-4 現在の職業（就業形態）（年齢別）>



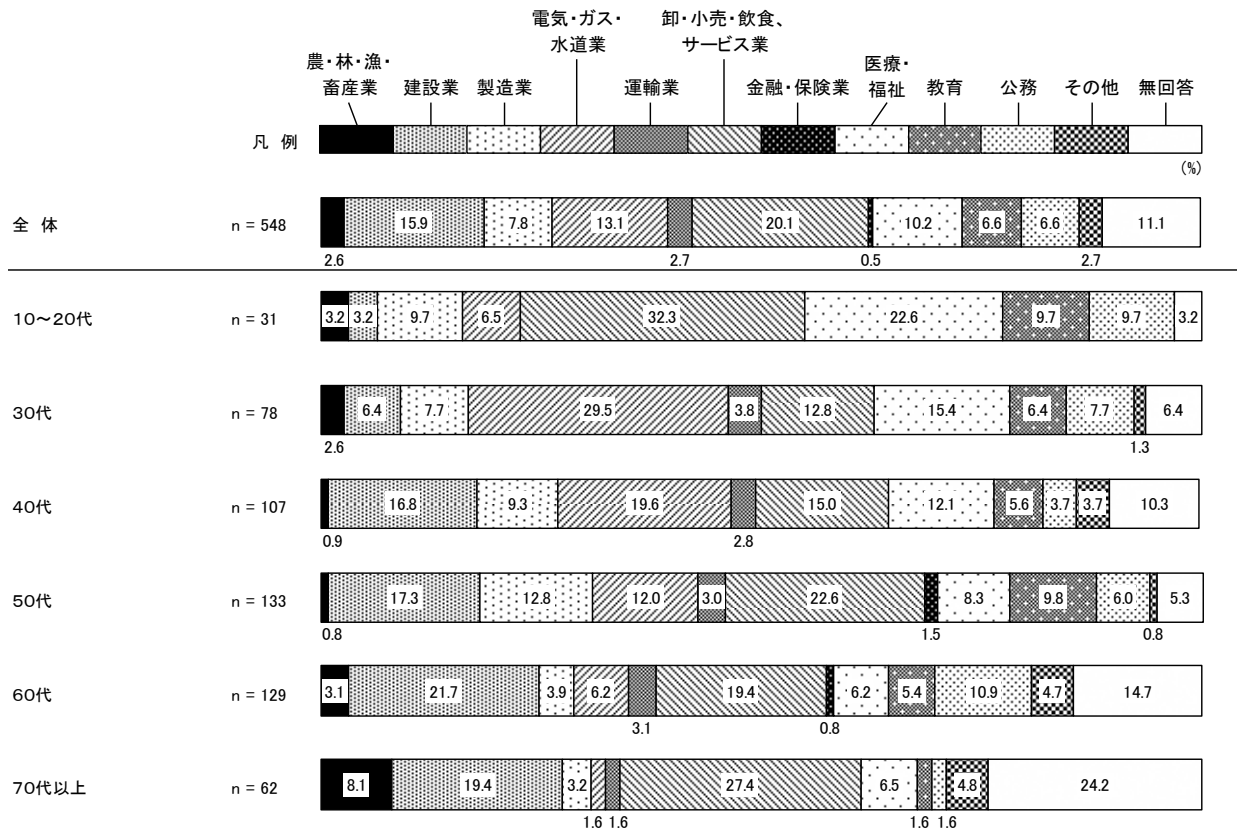
3-3-5 現在の業種

【仕事に就いている方（*問6（1）で「1」から「7」、「11」と回答した方）にうかがいます。】

問6 現在のあなたの職業を教えてください。
 仕事に就いている方は、業種も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合は、主な収入源になっている職業を教えてください。
 (2) 業種（〇は1つ）

- *問6（1）：1. 自営業・会社経営者（継続中もしくは再開済） 2. 自営業・会社経営者（休業中）
 3. 会社員（勤め人）（事務や内勤を主とする業務） 4. 会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）
 5. 団体職員 6. 公務員
 7. パート・アルバイト 11. その他

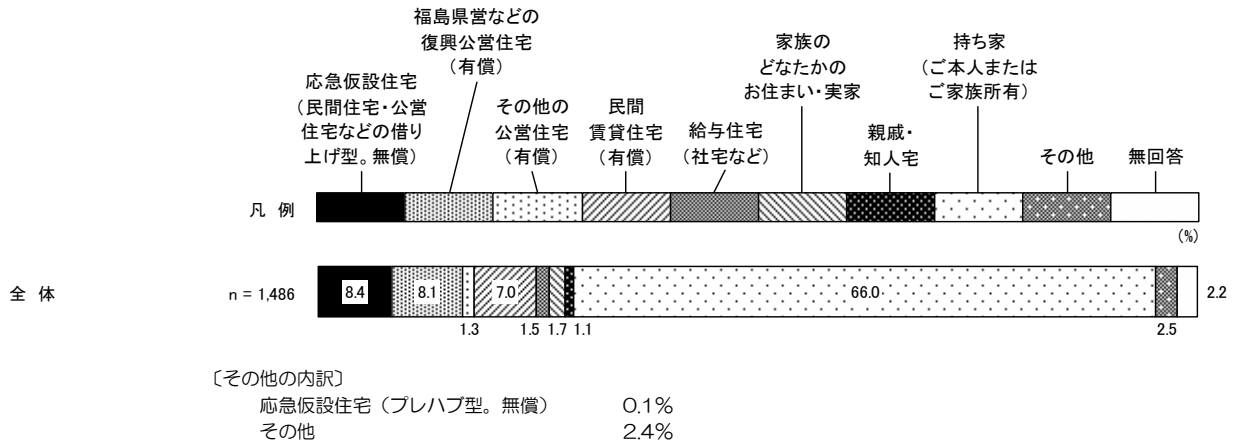
<図表3-3-5 現在の業種（年齢別）>



3-3-6 現在の住居形態

問7 現在お住まいになっている住宅はどのような住居形態ですか。（〇は1つ）

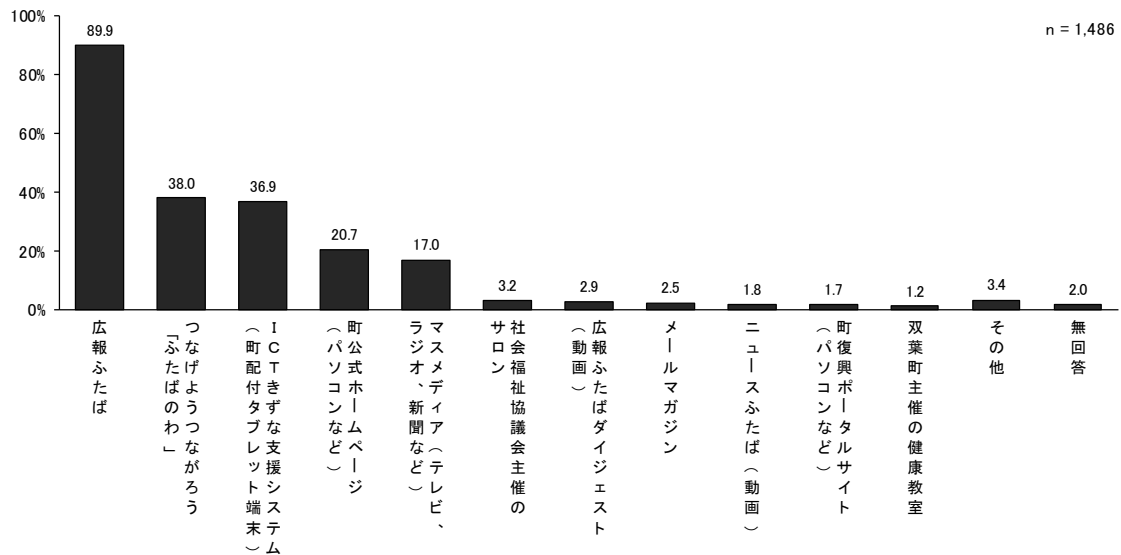
<図表3-3-6 現在の住居形態>



3-3-7 双葉町からの情報の入手経路

問8 あなたは町からの情報を主にどのような方法で入手していますか。（〇は3つまで）

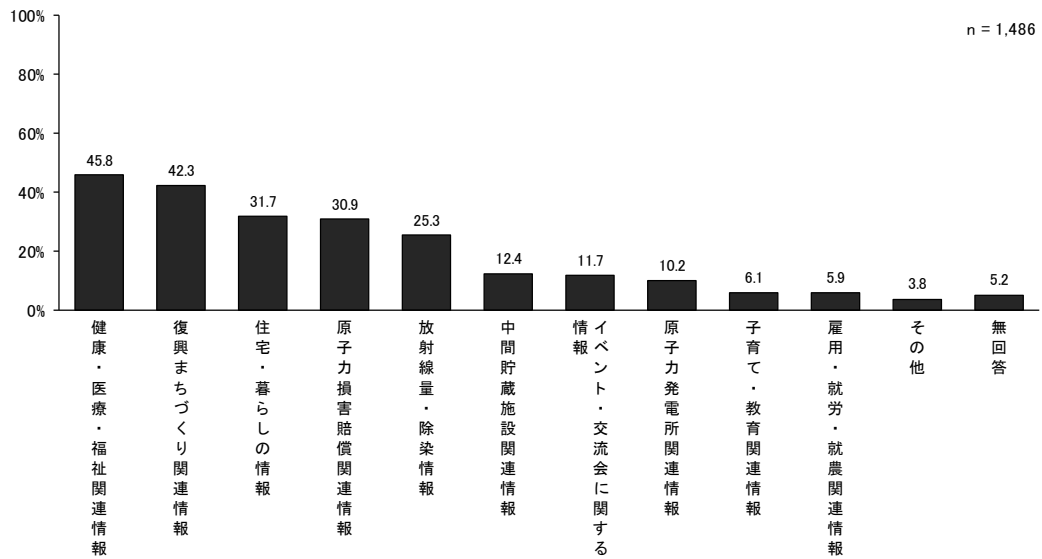
<図表3-3-7 双葉町からの情報の入手経路>



3-3-8 特に知りたい、関心のある情報

問9 あなたが特に知りたい、関心がある情報は何か。（〇は3つまで）

<図表3-3-8 特に知りたい、関心のある情報>

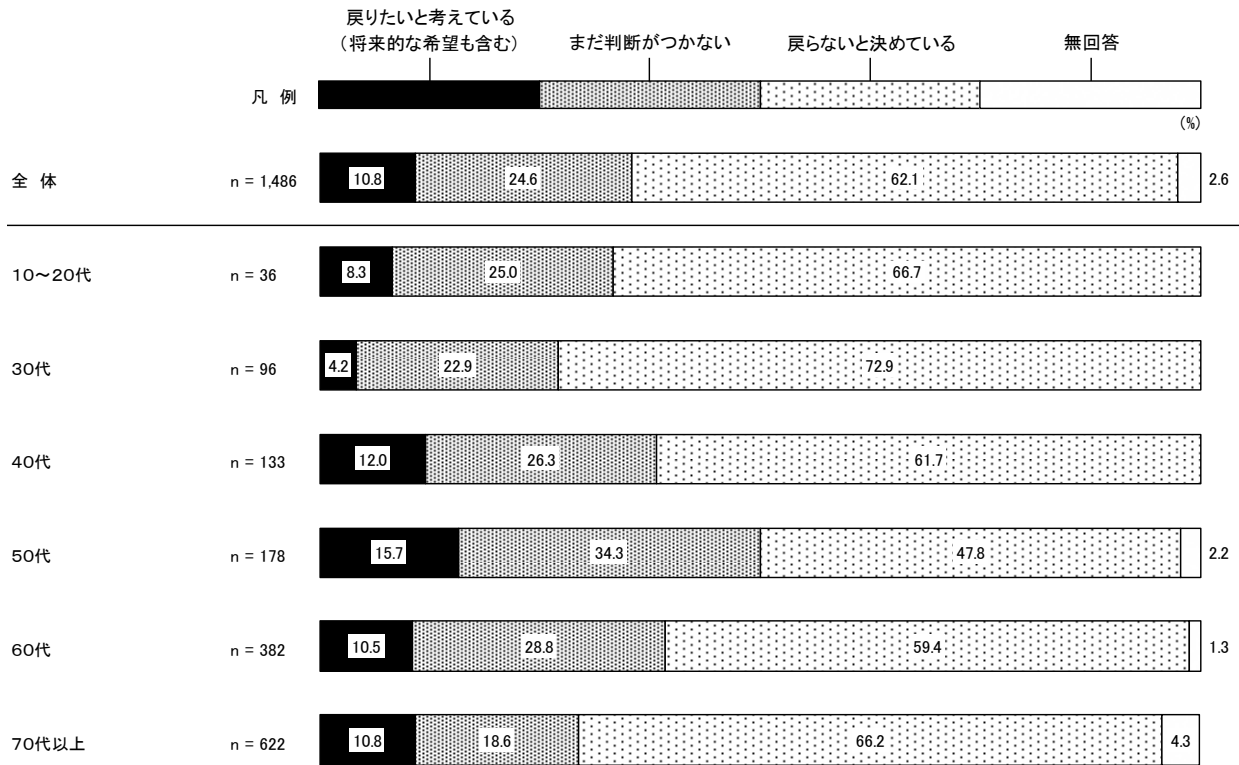


3-4 将来の意向

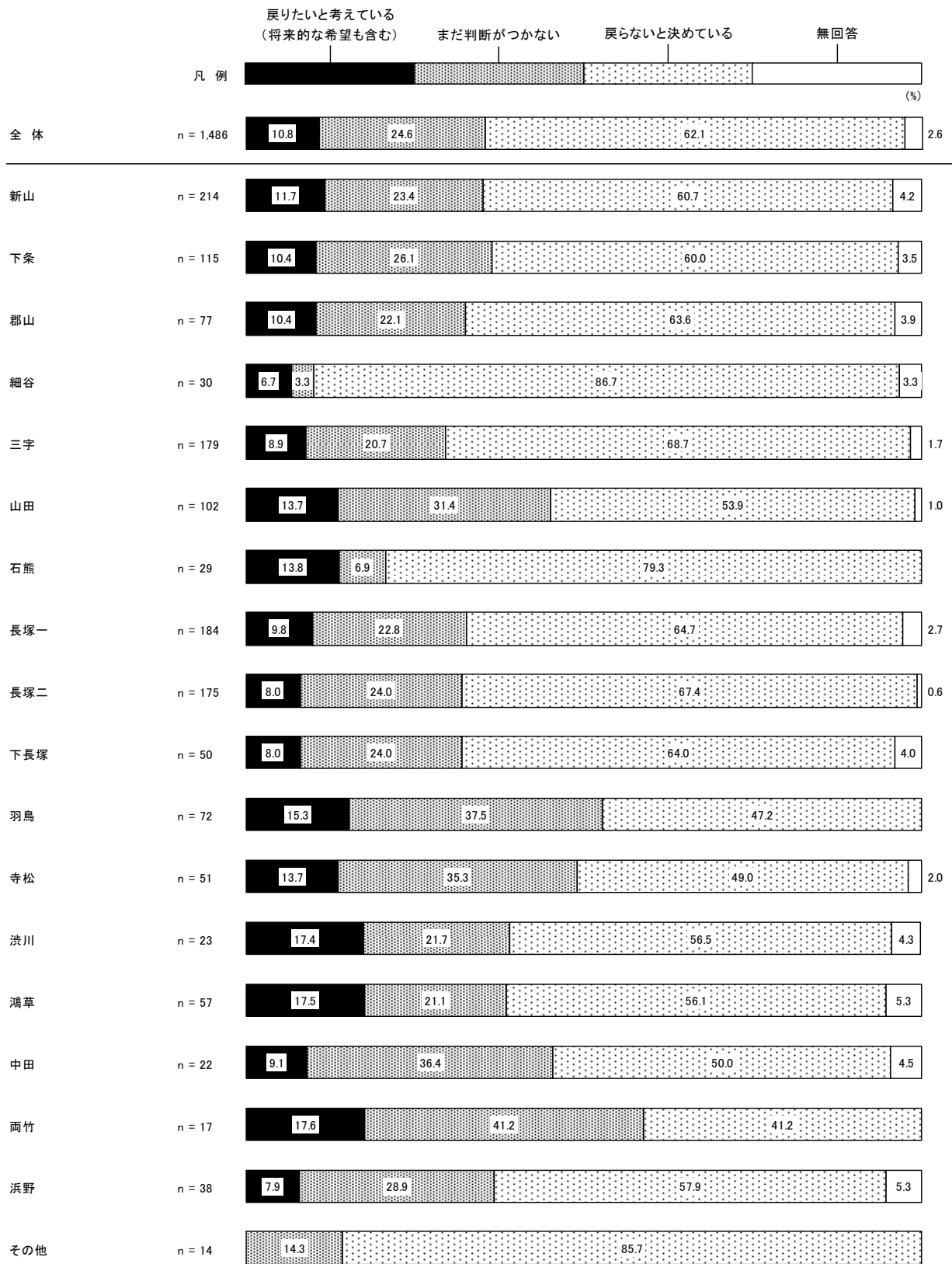
3-4-1 双葉町への帰還意向

問 10 今後、特定復興再生拠点区域の避難指示が解除された後の双葉町への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。（〇は1つ）

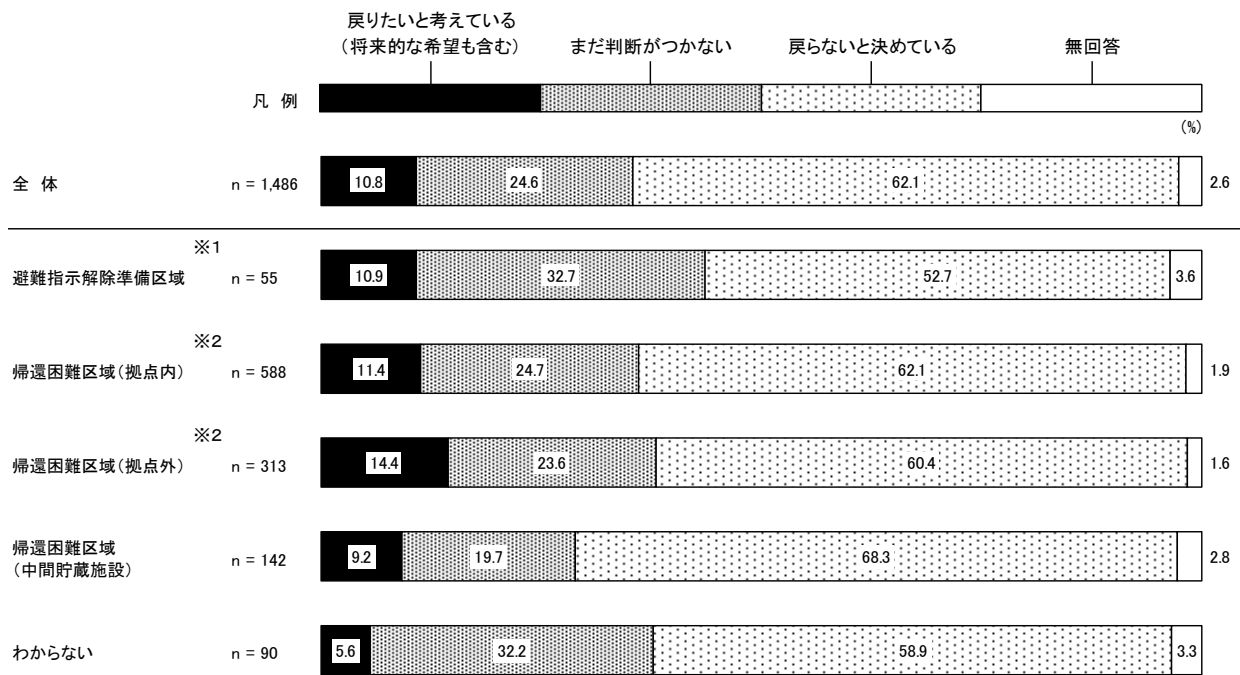
<図表3-4-1-1 双葉町への帰還意向（年齢別）>



<図表3-4-1-2 双葉町への帰還意向(震災発生当時の住まいの行政区別)>



<図表3-4-1-3 双葉町への帰還意向（避難指示区域別）>

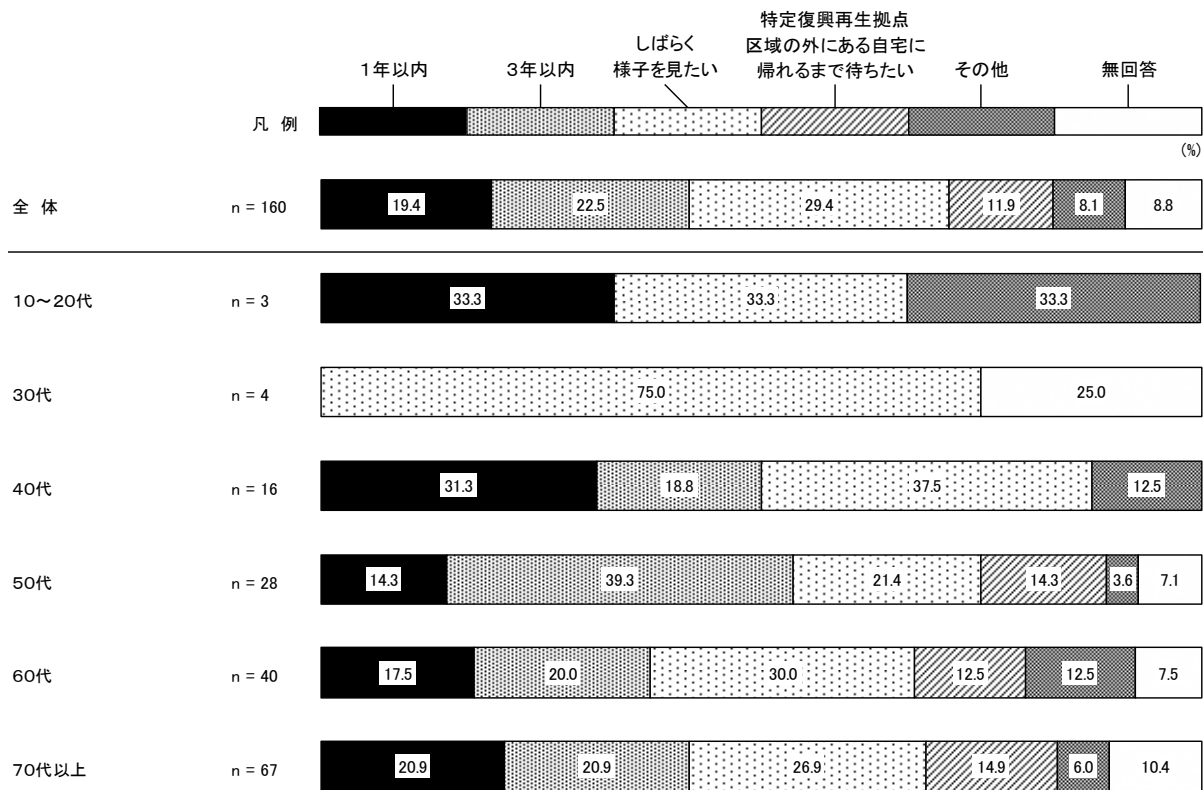


※1 令和2年3月4日に避難指示解除済み
 ※2 「拠点」とは特定復興再生拠点のこと

3-4-2 避難指示解除後の双葉町への帰還時期

【問 10 で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。
 問 11-1 特定復興再生拠点区域内の避難指示が解除されてから、何年以内に戻りたいと考えていますか。
 （〇は1つ）

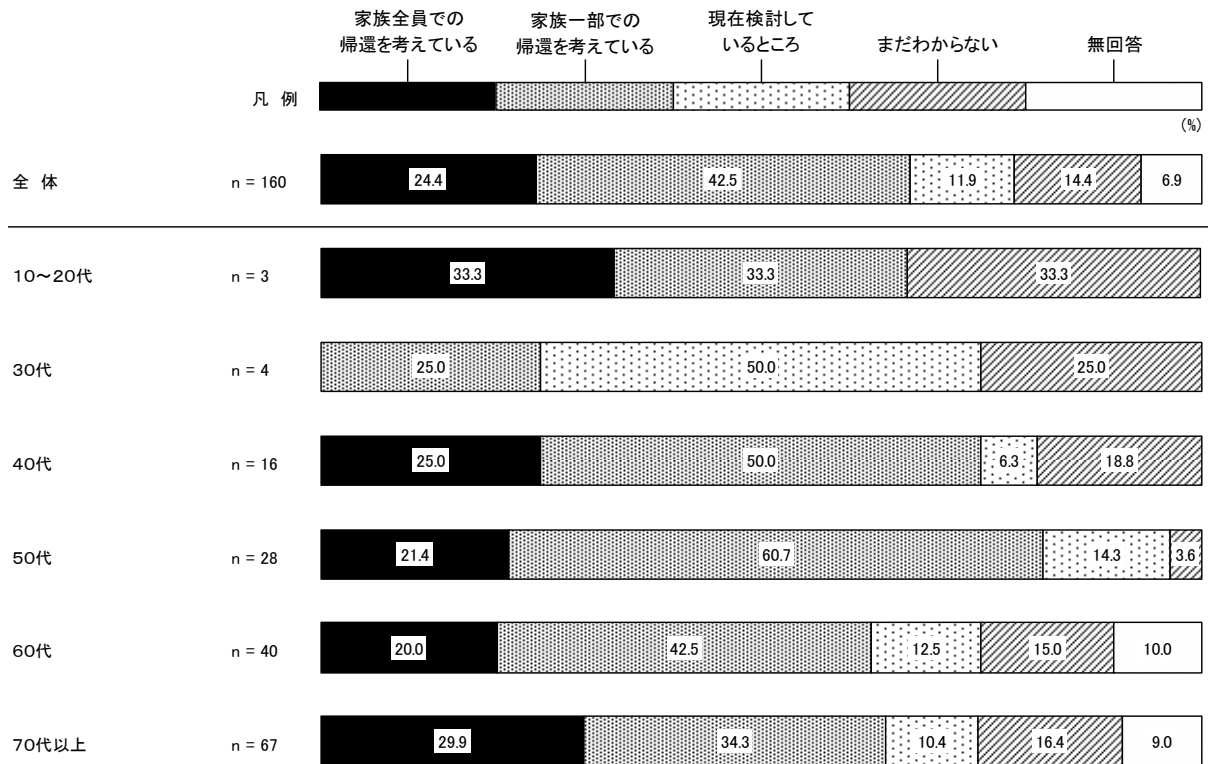
<図表3-4-2 避難指示解除後の双葉町への帰還時期（年齢別）>



3-4-3 双葉町へ帰還する場合の家族

【問 10 で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。
 問 11-2 戻る場合に家族の全員なのか、又は一部なのかについて教えてください。（○は1つ）

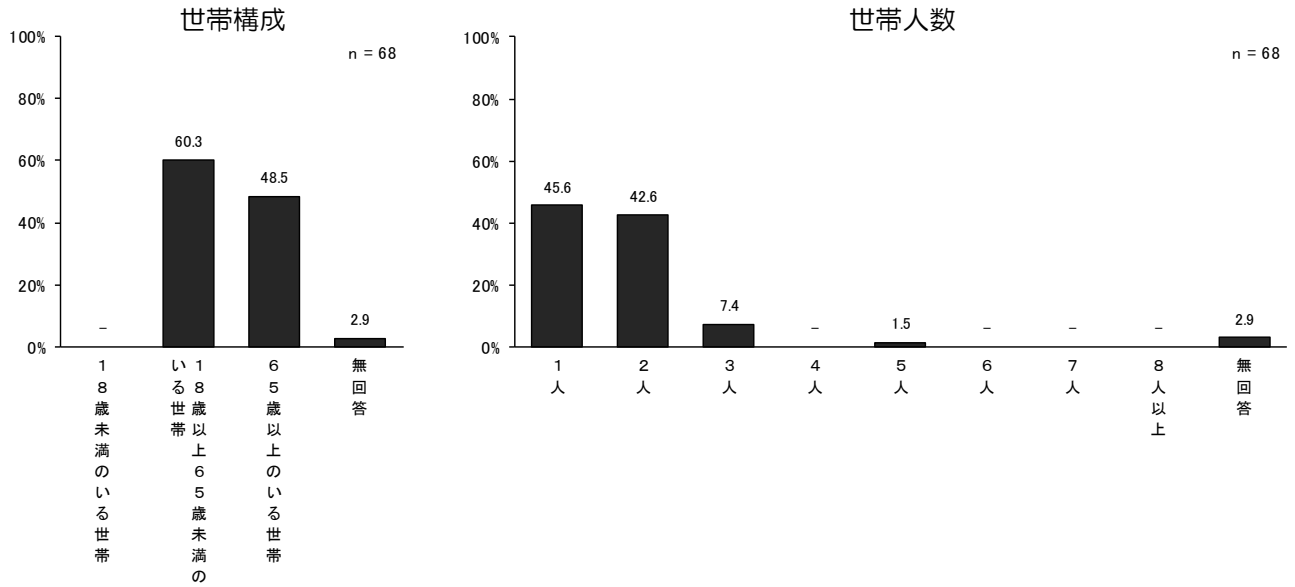
<図表3-4-3 双葉町へ帰還する場合の家族（年齢別）>



3-4-4 双葉町へ家族一部で帰還した場合の世帯構成・人数

【問 11-2 で「2. 家族一部での帰還を考えている」と回答した方にうかがいます。】
 問 11-3 帰還した場合にはどのような家族構成になると考えていますか。あなた自身を含めて、「現在の」年齢にあてはまる人数でご回答ください。（人数で回答）

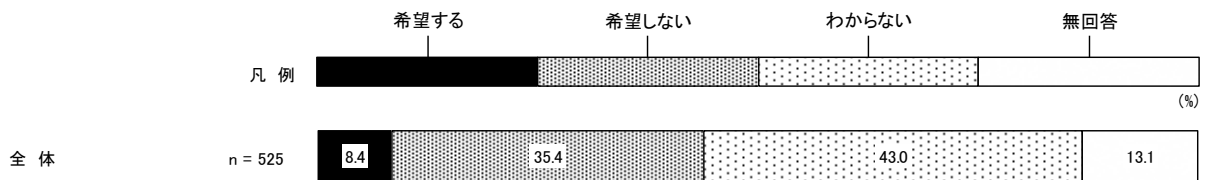
<図表3-4-4 双葉町へ家族一部で帰還した場合の世帯構成・人数>



3-4-5 準備宿泊の意向

【問 10 で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「2. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】
 問 12-1 町では、令和4年春頃に特定復興再生拠点区域全域の避難指示解除を目指しています。この避難指示解除に先立って、特定復興再生拠点区域内において、ご自宅などを用いて特例的に宿泊できる「準備宿泊」に参加することができますが、ご希望されますか。（〇は1つ）

<図表3-4-5 準備宿泊の意向>



3-4-6 準備宿泊を希望する場所

【問 12-1 で「1. 希望する」と回答した方に伺います。】

問 12-2 現時点で準備宿泊を想定している具体的な場所がわかれば、お書きください。

主な意見は以下のとおり。

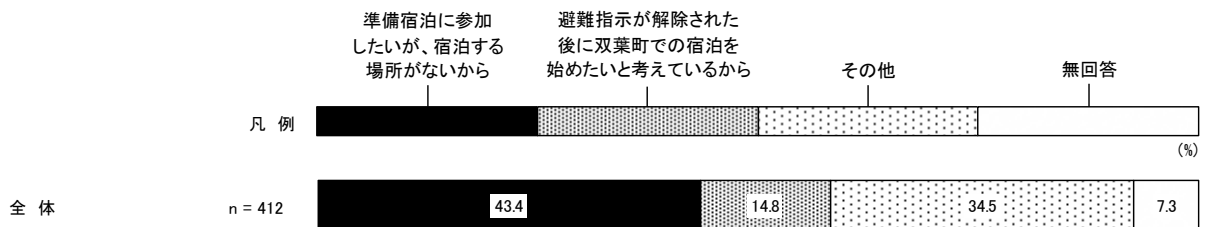
- ・自宅。（40代／50代／60代／70代以上）
- ・宿泊施設。（50代／60代／70代以上）
- ・町の復興住宅。（50代）
- ・自社、事務所。（60代）
- ・町営住宅から自宅、その後建て替え。（60代）
- ・双葉駅周辺。（70代以上）
- ・特定復興再生拠点区域内であればどこでも可。（70代以上）

3-4-7 準備宿泊をしない理由

【問 12-1 で「2. 希望しない」「3. わからない」と回答した方に伺います。】

問 12-3 準備宿泊を希望しない、または、わからない理由を教えてください。（〇は1つ）

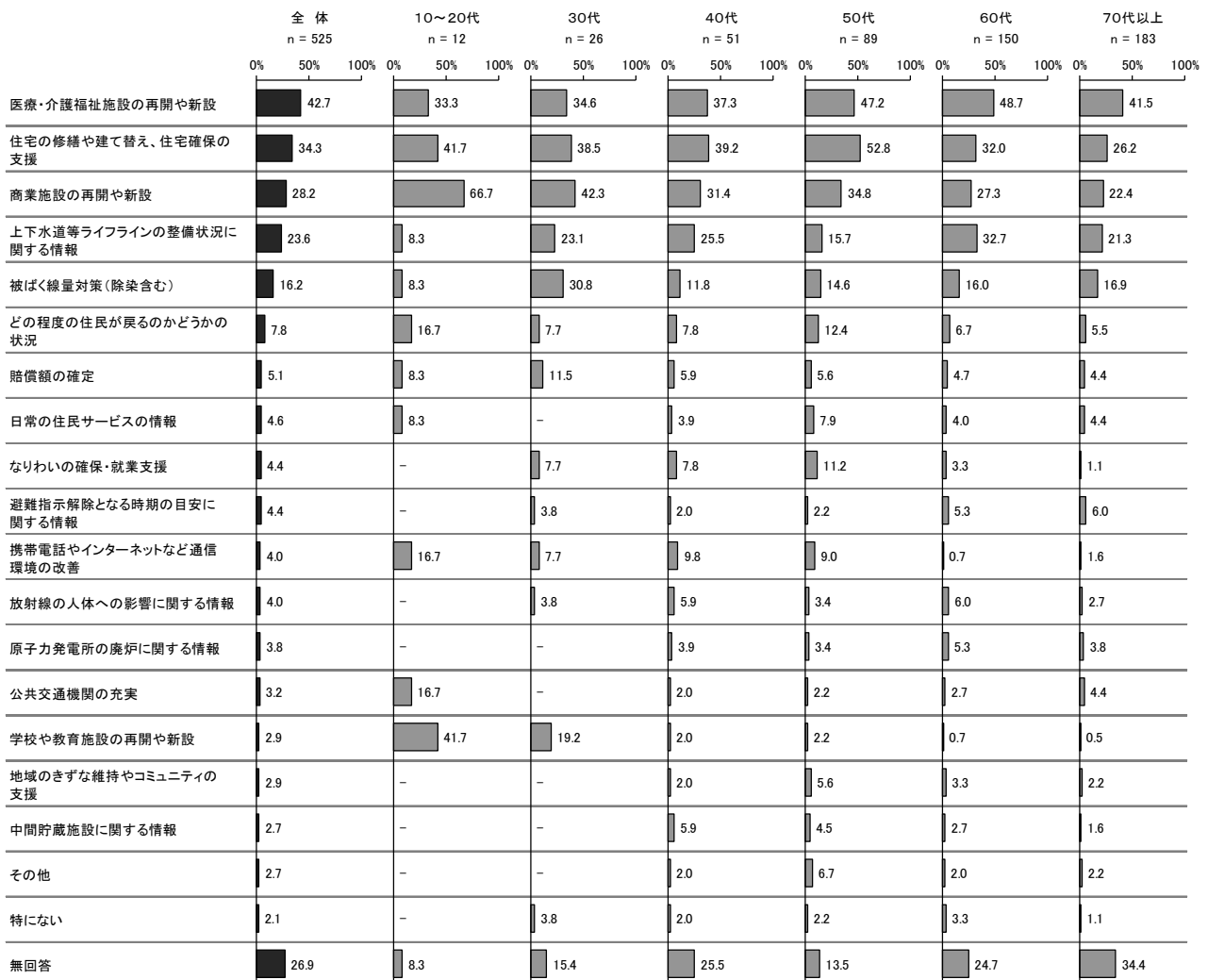
<図表3-4-7 準備宿泊をしない理由>



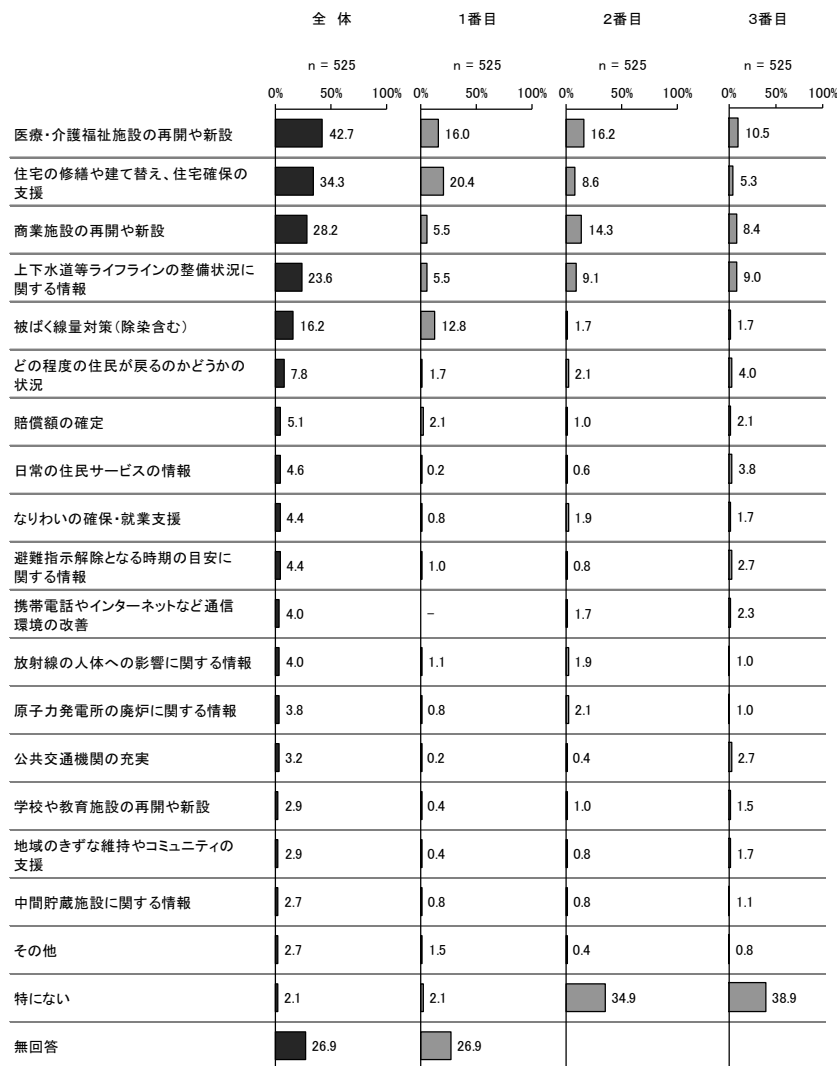
3-4-8 双葉町への帰還を判断するために必要なこと

【問 10 で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「2. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】
 問 12-4 双葉町へ帰還することを判断するためにどのような支援や情報が必要と考えますか。重視したいものから順に選択肢番号欄に3つまで選び、具体的な内容欄に支援や情報内容をご記入ください。

<図表 3-4-8-1 双葉町への帰還を判断するために必要なこと（年齢別）>



＜図表3-4-8-2 双葉町への帰還を判断するために必要なこと（優先順位別）＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【医療・介護福祉施設の再開や新設】

- 歯科、内科、整形外科、眼科の再開。（50代）
- 双葉厚生病院の再開。（60代）
- 老人介護施設。（60代）
- 内科・外科等の診療所。（60代）

【住宅の修繕や建て替え、住宅確保の支援】

- 修繕や建て替えの資金の支援がほしい。（10～20代）
- 町営住宅等の住宅確保。（50代）
- 住宅の修繕に関わる業者を教えてほしい（再開しているところなど）。（60代）
- どの程度まで支援してくれるのか、詳しく知りたい。（70代以上）

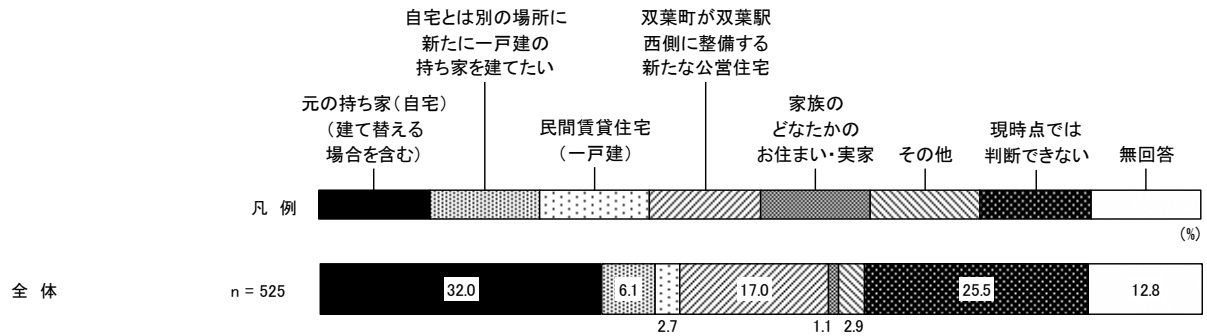
【商業施設の再開や新設】

- 町内商業施設マップ（公共施設も含めたもの）。（40代）
- スーパー、コンビニ等。（50代）
- スーパー、ホームセンター等の設備。（60代）
- 遠い所には買い物に行けないので、地元で震災前の様に小さい店でもいいから、何でも揃うようなお店を揃えてほしい。（70代以上）

3-4-9 双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態

【問 10で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「2. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】
 問 12-5 帰還した場合のお住まいは、どのような形態を希望されますか。（〇は1つ）

<図表3-4-9 双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態>



〔その他の内訳〕

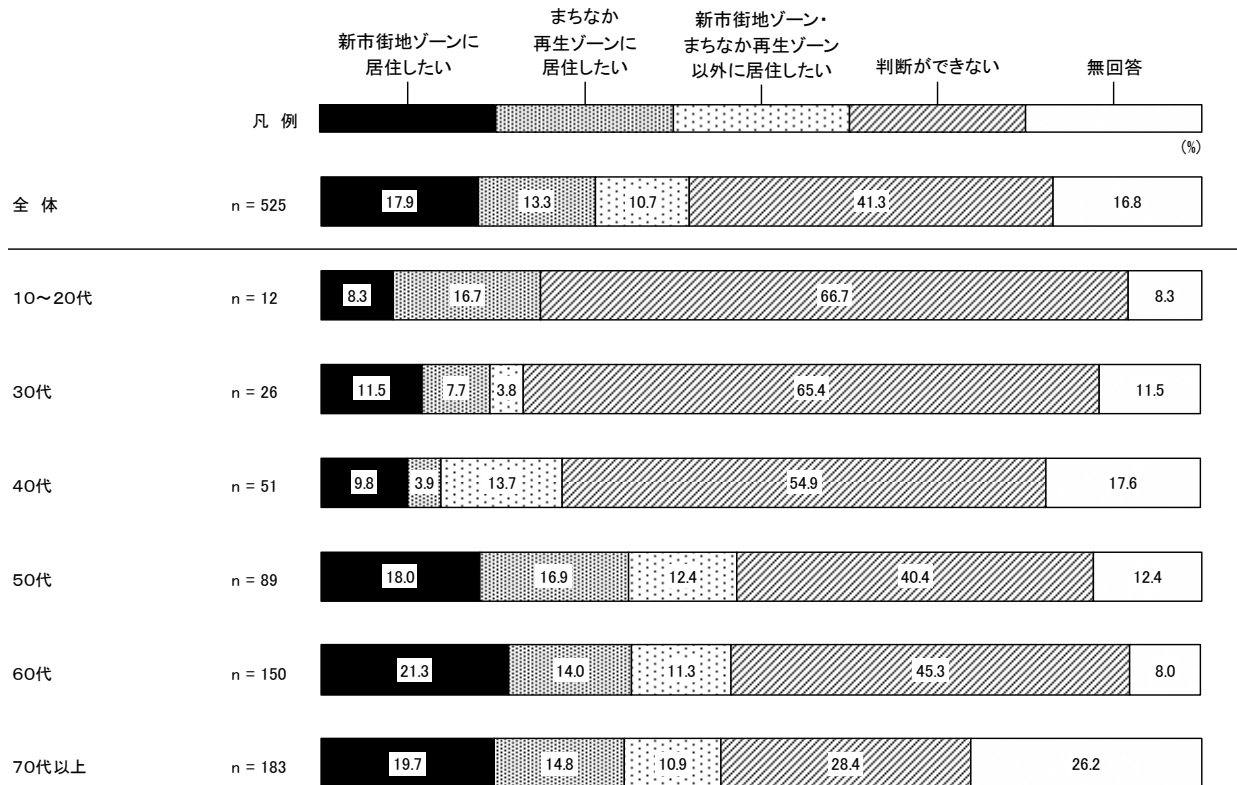
自宅とは別の場所に分譲集合住宅を購入したい	0.4%
民間賃貸住宅（集合住宅）	0.8%
給与住宅（社宅など）	0.6%
親戚・知人宅	-
その他	1.1%

3-4-10 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居住意向

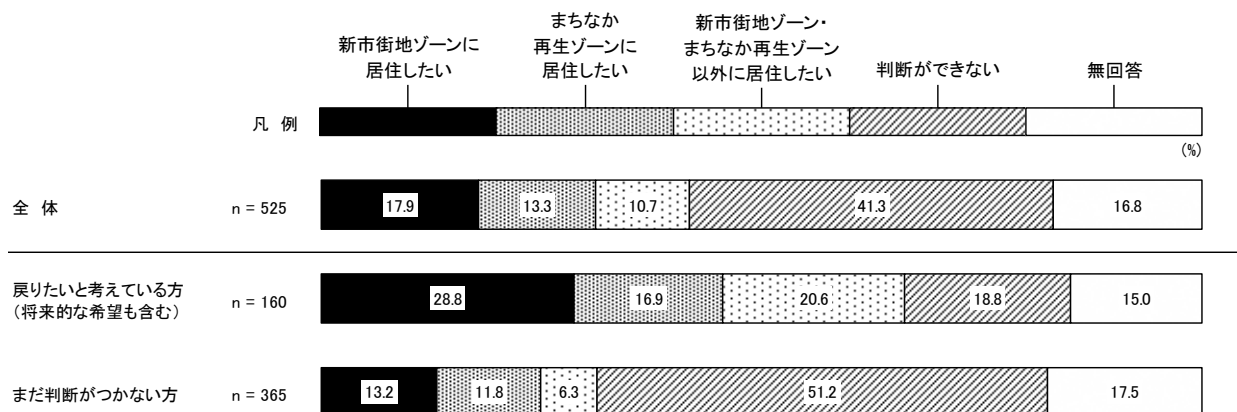
【問10で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「2. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問12-6 現在、双葉駅西側において、令和4年春頃の解除目標に向けた新たなまちづくりを進めている（新市街地ゾーン）ほか、従来の中心市街地も「まちなか再生ゾーン」と位置づけ、賑わいの再生を図っていくことを目標としています。「新市街地ゾーン」や「まちなか再生ゾーン」への居住に関する意向について、もっとも近いものはどれですか。（〇は1つ）

<図表3-4-10-1 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居住意向（年齢別）>



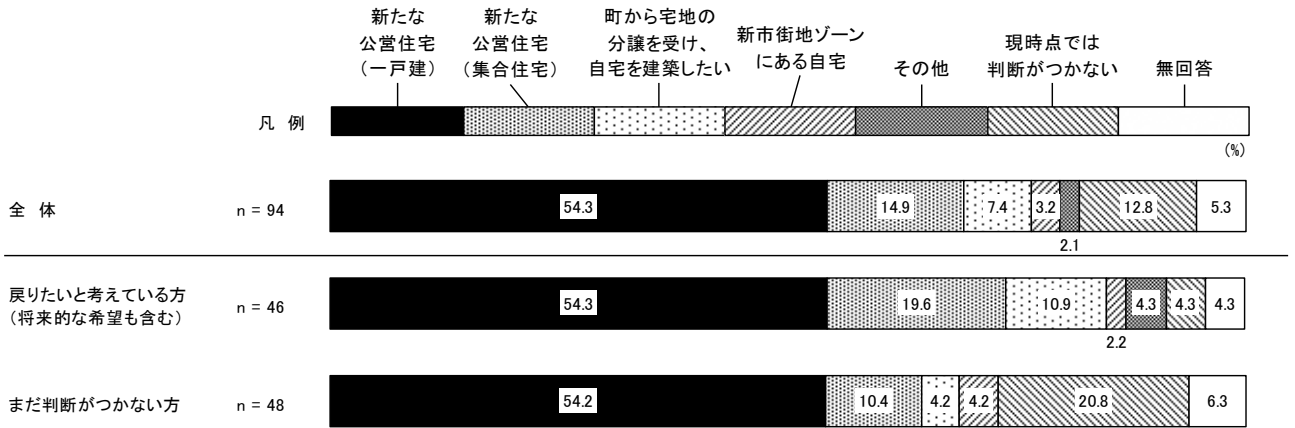
<図表3-4-10-2 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居住意向（帰還意向別）>



3-4-11 JR双葉駅の西側に住宅地が整備された場合に希望する住居形態

【問 12-6で「1. 新市街地ゾーンに居住したい」と回答した方にかがいます。】
 問 12-7 町により、JR 双葉駅の西側に住宅地が整備された場合のお住まいは、どのような形態を希望されますか。（〇は1つ）

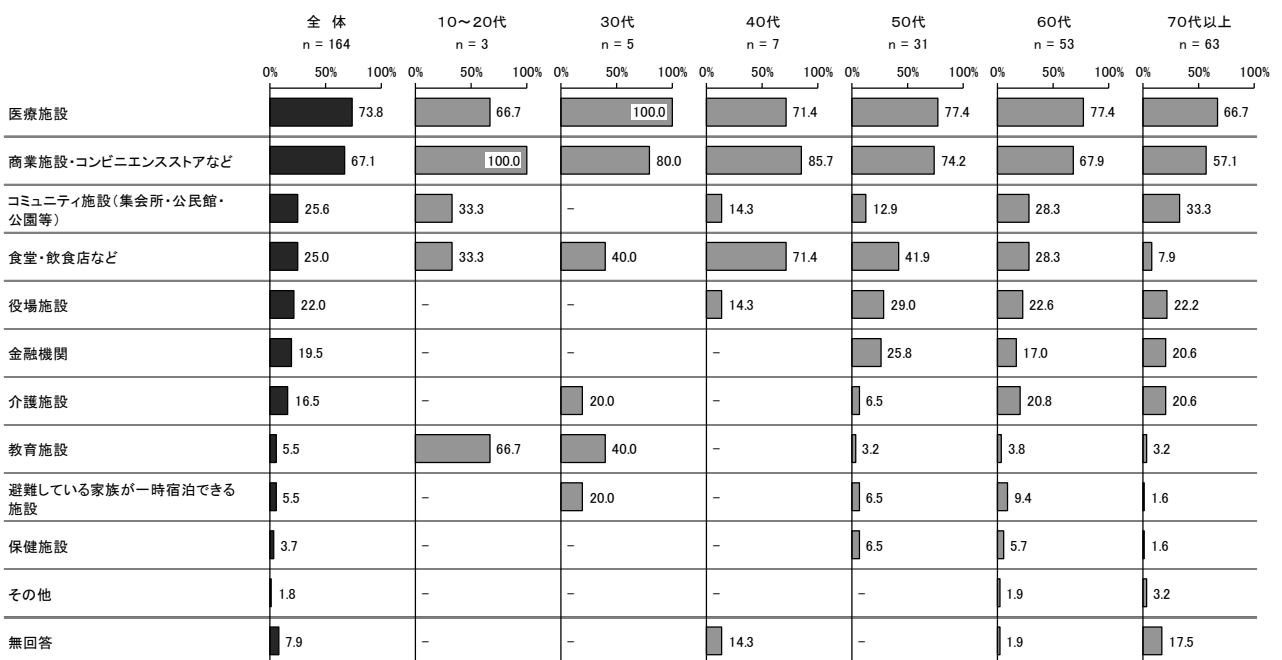
<図表3-4-11 JR 双葉駅の西側に住宅地が整備された場合に希望する住居形態（帰還意向別）>



3-4-12 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連施設

【問 12-6で「1. 新市街地ゾーンに居住したい」「2. まちなか再生ゾーンに居住したい」と回答した方にかがいます。】
 問 12-8 「新市街地ゾーン」及び「まちなか再生ゾーン」に、特に必要と考える、生活関連施設を教えてください。（〇は3つまで）

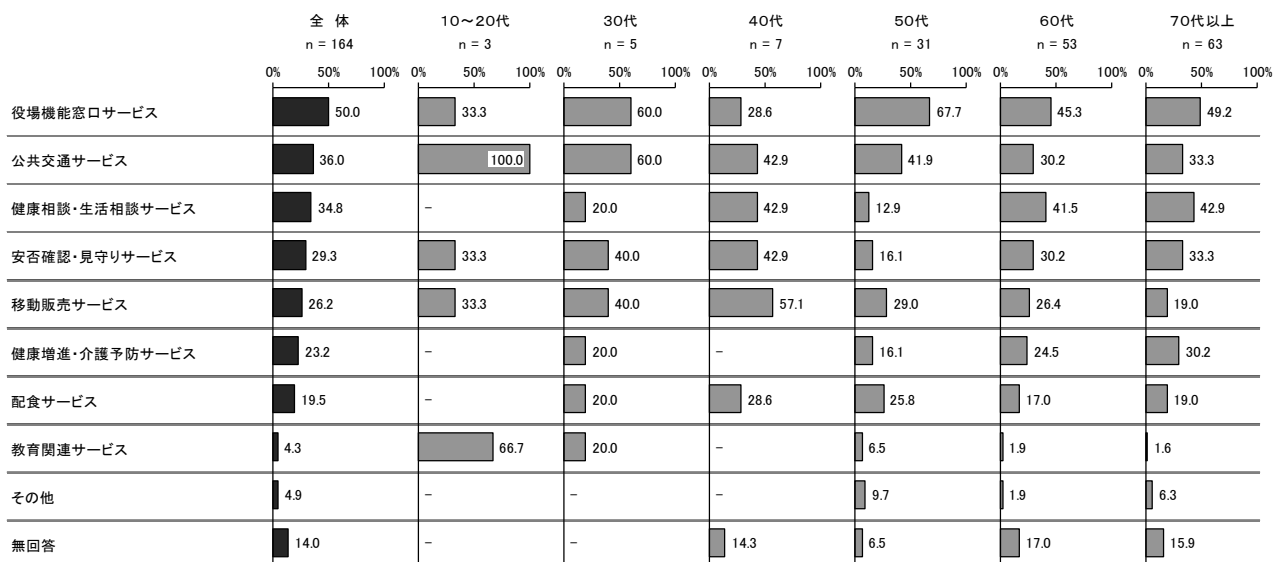
<図表3-4-12 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連施設（年齢別）>



3-4-13 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連サービス

【問 12-6で「1. 新市街地ゾーンに居住したい」「2. まちなか再生ゾーンに居住したい」と回答した方うかがいます。】
 問 12-9 「新市街地ゾーン」及び「まちなか再生ゾーン」に、特に必要と考える、生活関連サービスを教えてください。（〇は3つまで）

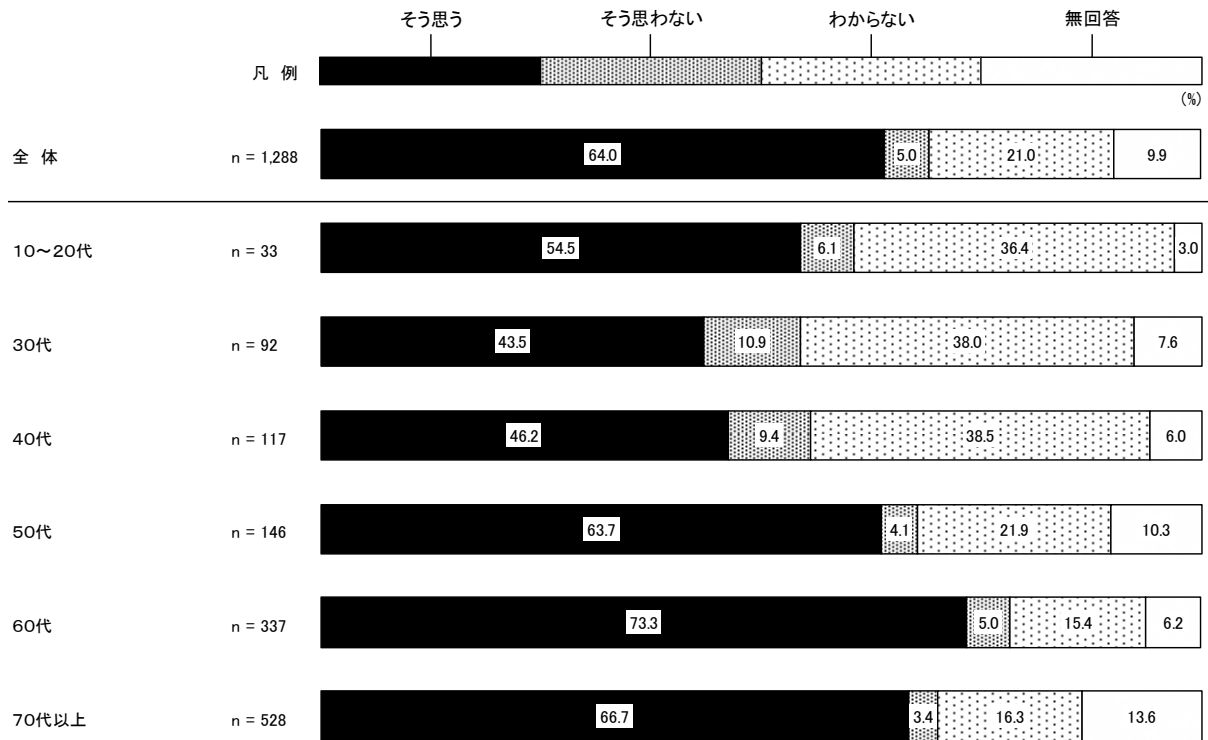
<図表3-4-13 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連サービス（年齢別）>



3-4-14 双葉町との「つながり」を保ちたいか

【問 10 で「2. まだ判断がつかない」「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。
 問 13-1 双葉町との“つながり”を保ちたいと思いますか。（〇は1つ）

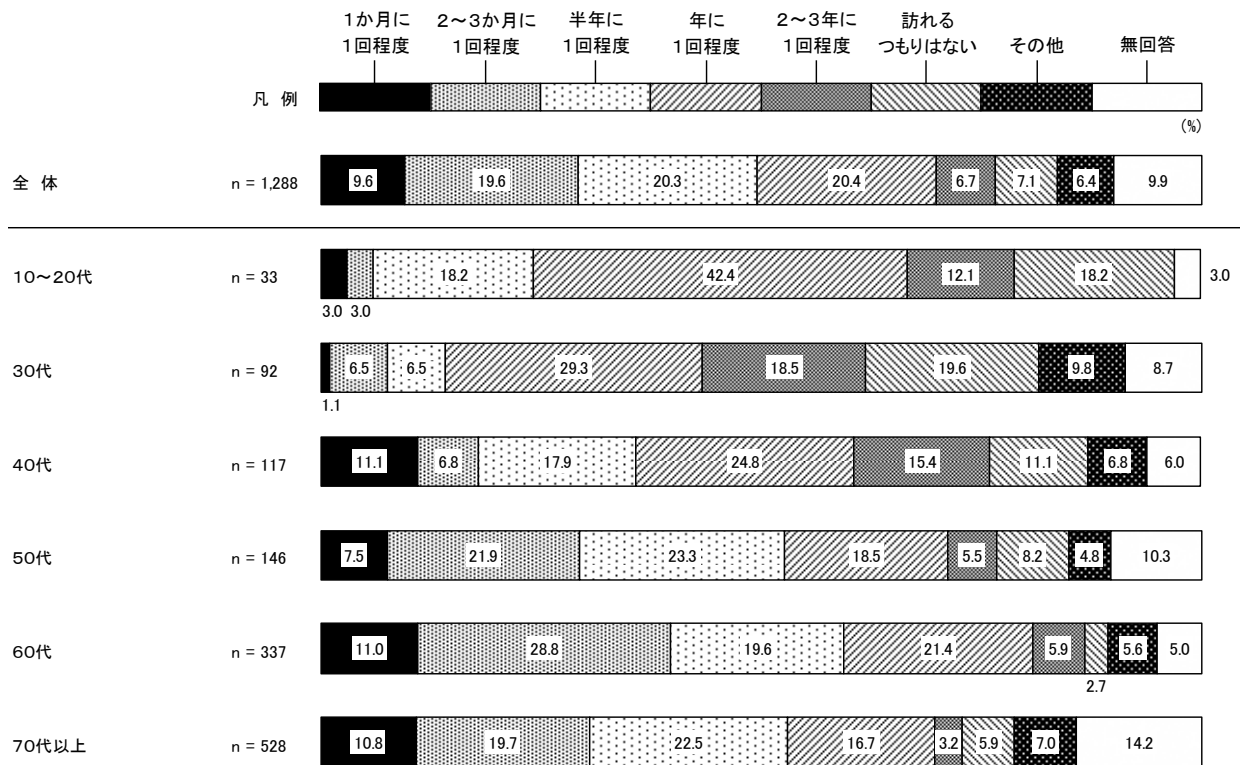
<図表3-4-14 双葉町との「つながり」を保ちたいか（年齢別）>



3-4-15 双葉町を訪れたい頻度

【問 10 で「2. まだ判断がつかない」「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】
 問 13-2 双葉町をどのくらいの頻度で訪れたいと思いますか。（〇は1つ）

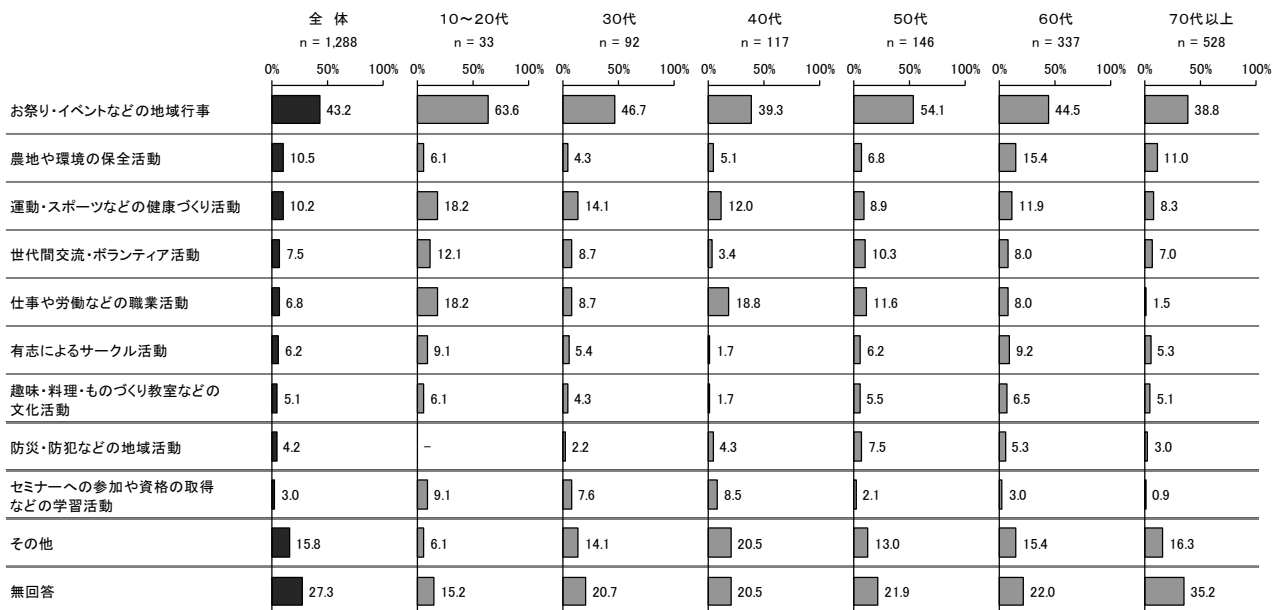
<図表3-4-15 双葉町を訪れたい頻度（年齢別）>



3-4-16 双葉町を訪れたくなる取り組み・行事・イベント

【問10で「2. まだ判断がつかない」「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】
 問13-3 どのような取り組みや行事、イベントなどがあれば、双葉町を訪れたいと思いますか。
 （〇はいくつでも）

<図表3-4-16 双葉町を訪れたくなる取り組み・行事・イベント（年齢別）>

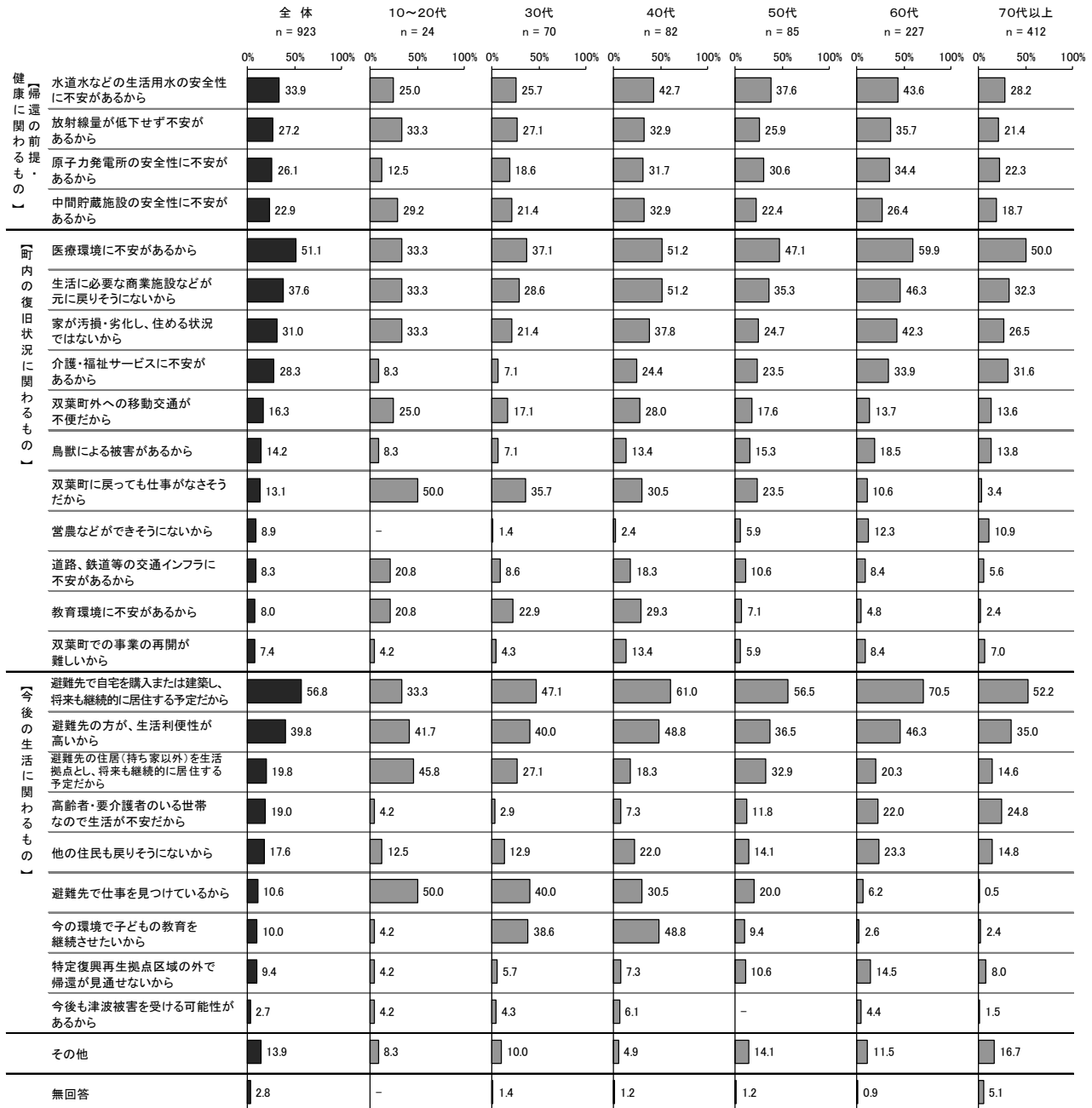


3-4-17 双葉町に帰還しない理由

【問 10 で「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 14-1 現時点で戻らないと決めている理由はどのようなことですか。（〇はいくつでも）

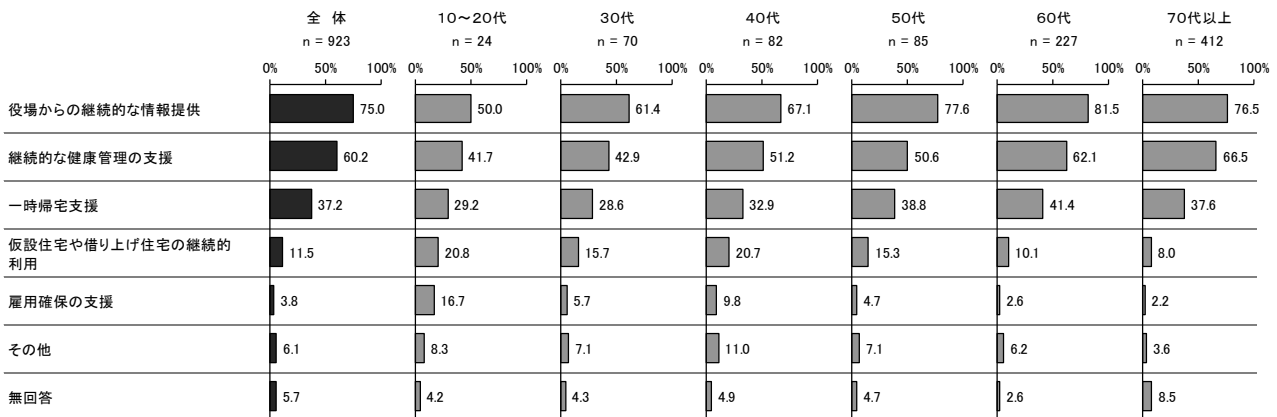
<図表3-4-17 双葉町に帰還しない理由（年齢別）>



3-4-18 双葉町に帰還しない場合に今後の生活において必要な支援

【問 10で「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】
 問 14-2 帰還しない場合に、今後の生活においてどのような支援を求めますか。（〇はいくつでも）

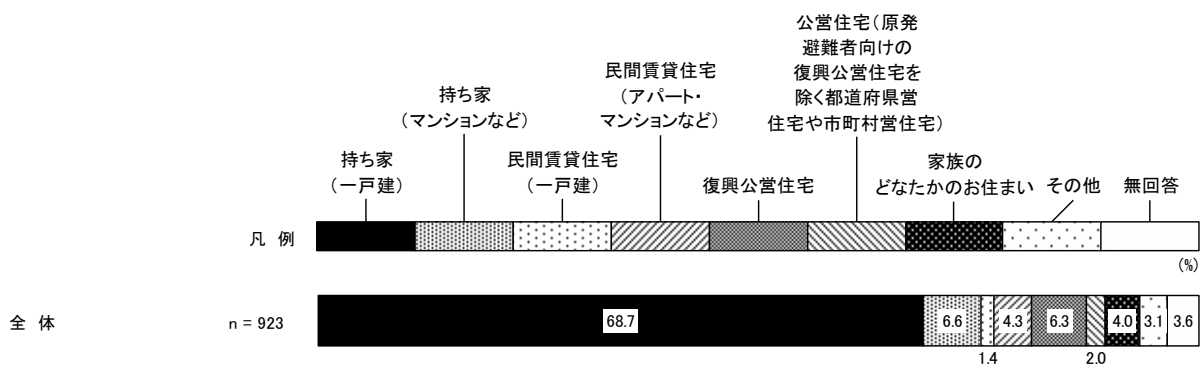
<図表3-4-18 双葉町に帰還しない場合に今後の生活において必要な支援（年齢別）>



3-4-19 双葉町に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態

【問 10で「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】
 問 14-3 帰還しない場合に、今後のお住まいとして希望する（既に居住している場合を含む）住宅は、どのような形態ですか。（〇は1つ）

<図表3-4-19 双葉町に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態>



〔その他の内訳〕

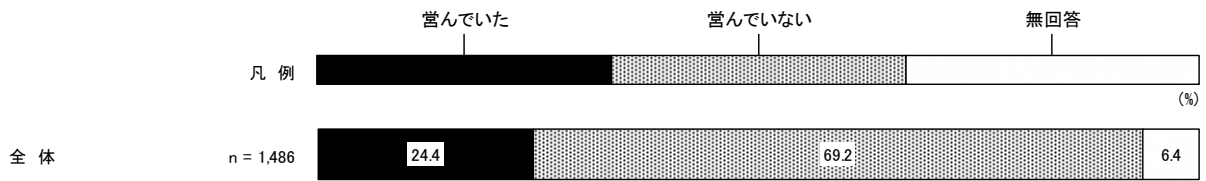
給与住宅（社宅など）	0.8%
親戚・知人宅	0.8%
その他	1.6%

3-5 双葉町内での事業の実施

3-5-1 震災発生当時の双葉町内での事業

問 15-1 あなたは震災発生当時、双葉町内で事業を営んでいましたか。（〇は1つ）

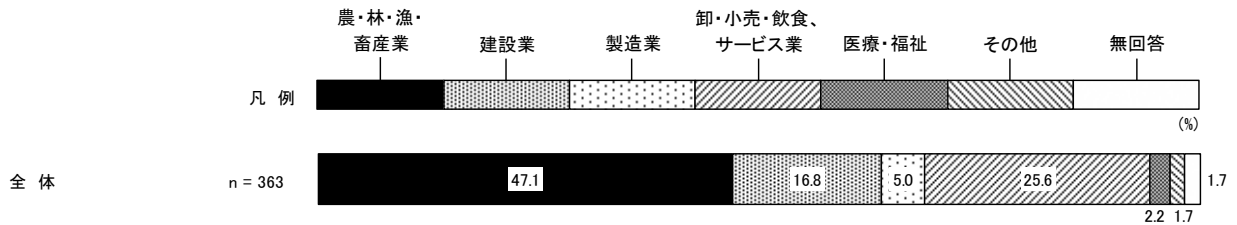
<図表3-5-1 震災発生当時の双葉町内での事業>



3-5-2 営んでいた事業の業種

【問 15-1 で「1. 営んでいた」と回答した方にうかがいます。】
 問 15-2 双葉町内で営んでいた事業の業種を教えてください。（〇は1つ）

<図表3-5-2 営んでいた事業の業種>



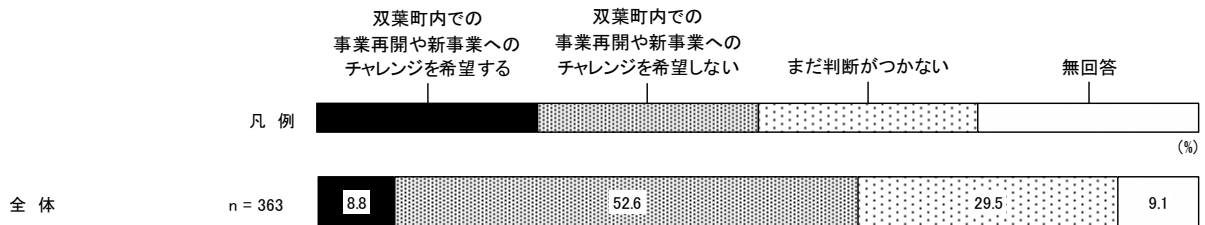
〔その他の内訳〕

運輸業	0.8%
金融・保険業	-
教育	-
その他	0.8%

3-5-3 避難指示解除後の事業再開や新事業へのチャレンジの意向

【問 15-1 で「1. 営んでいた」と回答した方にかがいます。】
 問 15-3 今後、特定復興再生拠点区域の避難指示が解除された後の双葉町内での事業再開や、新事業へのチャレンジについて、どのようにお考えですか。（〇は1つ）

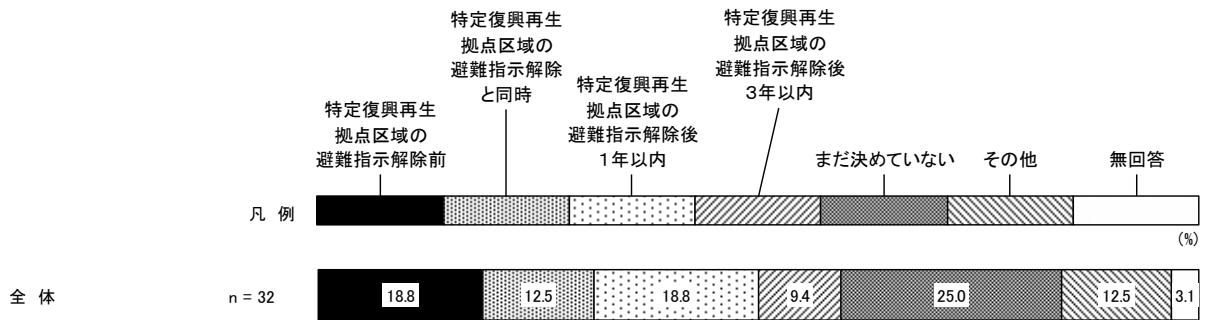
<図表3-5-3 避難指示解除後の事業再開や新事業へのチャレンジの意向>



3-5-4 双葉町内での事業再開の希望時期

【問 15-3 で「1. 双葉町内での事業再開や新事業へのチャレンジを希望する」と回答した方にかがいます。】
 問 15-4 双葉町内で事業を再開する希望時期はいつですか。（〇は1つ）

<図表3-5-4 双葉町内での事業再開の希望時期>

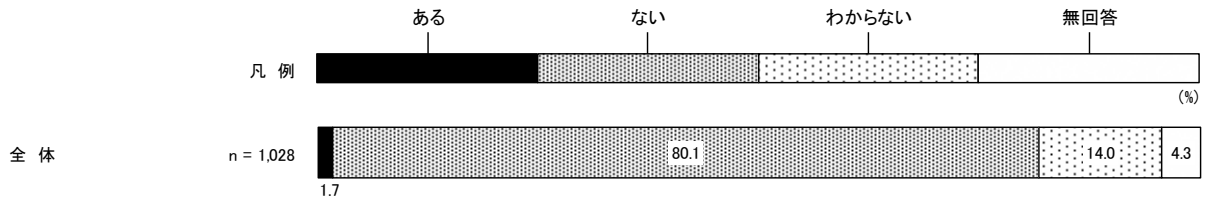


3-5-5 双葉町内での新事業へのチャレンジの意向

【問 15-1 で「2. 営んでいない」と回答した方にうかがいます。】

問 15-5 今後、双葉町内で新たな事業へのチャレンジに取り組まれる希望はありますか。（〇は1つ）

<図表3-5-5 双葉町内での新事業へのチャレンジの意向>

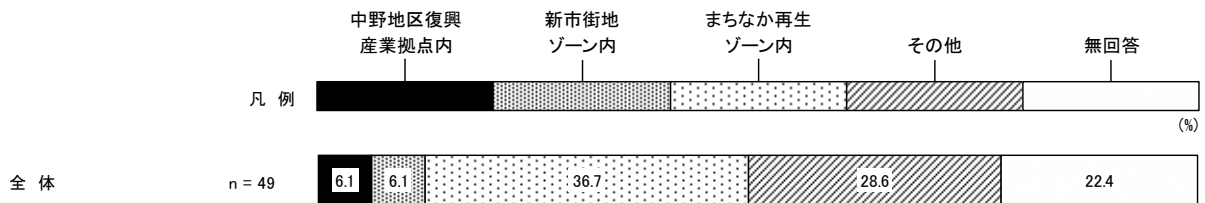


3-5-6 事業再開や新事業へのチャレンジを実施する場所

【問 15-3 で「1. 双葉町内での事業再開や新事業へのチャレンジを希望する」と回答した方、もしくは問 15-5 で「1. ある」と回答した方にうかがいます。】

問 15-6 双葉町内での事業再開や新たな事業にチャレンジをするにあたり、どの場所での事業実施を希望しますか。（〇は1つ）

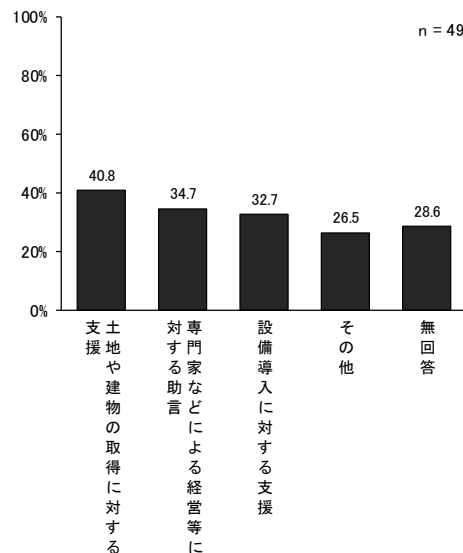
<図表3-5-6 事業再開や新事業へのチャレンジを実施する場所>



3-5-7 事業再開や新事業へのチャレンジにおいて必要な支援

【問 15-3で「1. 双葉町内での事業再開や新事業へのチャレンジを希望する」と回答した方、もしくは問 15-5で「1. ある」と回答した方にうかがいます。】
 問 15-7 双葉町内での事業再開または新たな事業にチャレンジをするにあたり、どのような支援を求めますか。
 （〇はいくつでも）

＜図表3-5-7 事業再開や新事業へのチャレンジにおいて必要な支援＞



3-5-8 事業再開にあたっての町への要望

【問 15-3で「1. 双葉町内での事業再開や新事業へのチャレンジを希望する」と回答した方、もしくは問 15-5で「1. ある」と回答した方にうかがいます。】
 問 15-8 その他に双葉町内で事業を再開するにあたり、町に求めることなどがあればご自由にお書きください。

主な意見は以下のとおり。

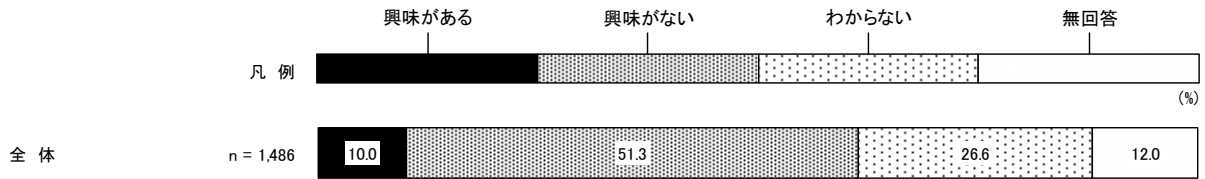
- ・スマートシティ（豊田タウン）のようにしたり、学校もインターナショナルスクールのような英語中心の学校生活にしたり、今後日本のモデルタウンとなるような町にしていくべき。（30代）
- ・新規事業者には資金面の援助、土地や建物の無償での貸出等思い切った事をお願いしたいです。そうすれば、双葉町に戻ってくる人は多くなると思います。（30代）
- ・現在避難先で飲食店を営んでいます。今後双葉町へ帰還し事業を再開することを検討しています。今後、住民帰還が進むと予測されるものの、予測人口をリサーチできておらず、事業環境情報が不足しています。再開にあたり、予測人口情報を参考情報としたいため調査願います。（50代）
- ・除染・中間貯蔵・廃炉関連の仕事に携われれば、安定した仕事が確保できると思う。近々自宅敷地に営業所を設置予定。（60代）

3-6 双葉町内での就業意向

3-6-1 双葉町内での就業意向

問 16-1 中野地区復興産業拠点において、地元を含む多くの企業の立地が決定しています。また、双葉町産業交流センターには貸事務所もあり、多くの企業が入居する予定です。このように、双葉町内で働く環境が整ってきておりますが、今後、双葉町内で働くことに興味がありますか。（〇は1つ）

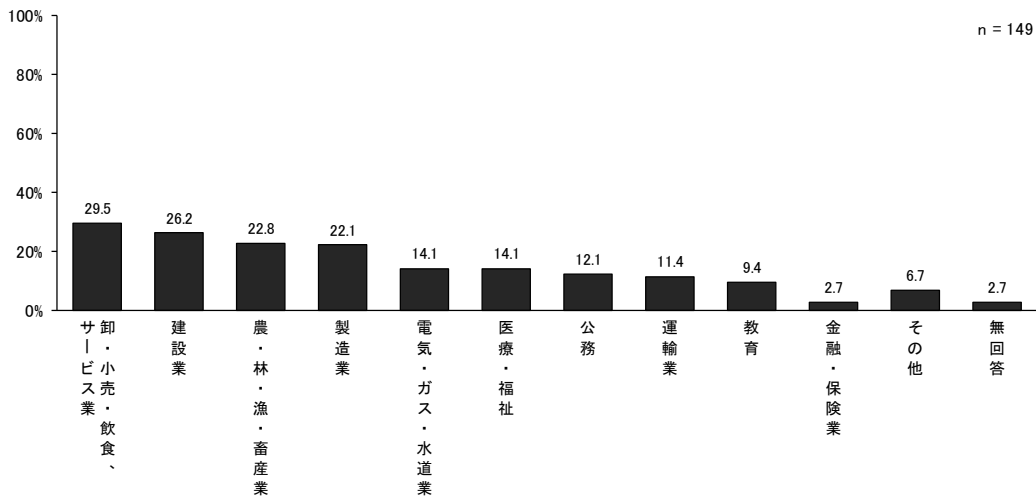
<図表3-6-1 双葉町内での就業意向>



3-6-2 就業を希望する業種

【問 16-1 で「1. 興味がある」と回答した方にかがいます。】
 問 16-2 双葉町内で働く場合、希望する業種は何ですか。（〇はいくつでも）

<図表3-6-2 就業を希望する業種>

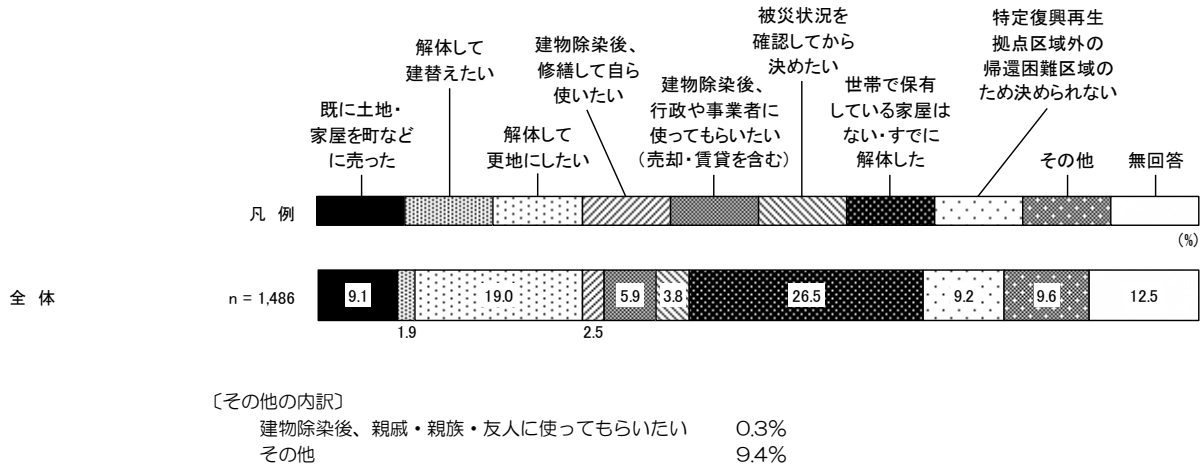


3-7 不動産の取り扱い

3-7-1 双葉町内に保有する家屋の利用意向

問 17 町内に保有している家屋の利用意向についてうかがいます。
現時点でのご意向に関して、もっとも近いものはどれですか。（〇は1つ）

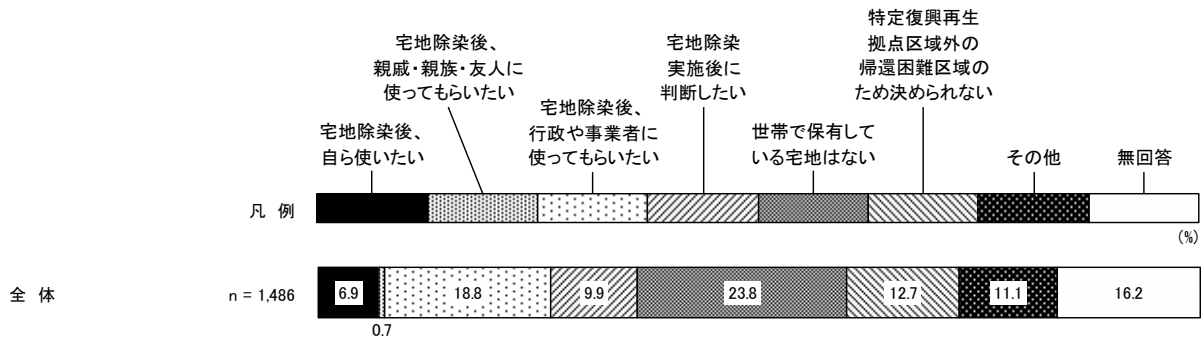
<図表3-7-1 双葉町内に保有する家屋の利用意向>



3-7-2 双葉町内に保有する宅地の利用意向

問 18 町内に保有している宅地の利用意向についてうかがいます。
現時点でのご意向に関して、もっとも近いものはどれですか。（〇は1つ）

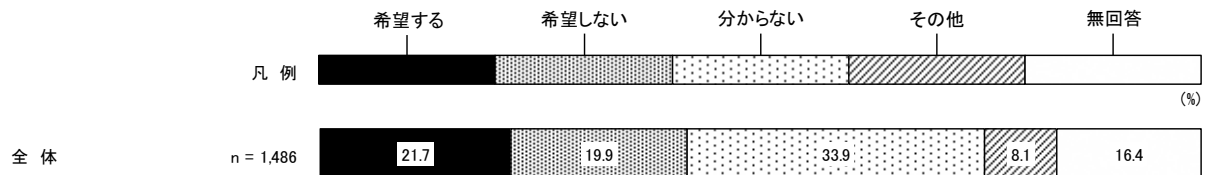
<図表3-7-2 双葉町内に保有する宅地の利用意向>



3-7-3 「空地・空き家バンク」の登録意向

問 19 町内に保有している宅地・家屋の利用意向についてうかがいます。
 町では現在、双葉町での生活再建に向けて空き地・空き家を有効活用するため、不動産を貸したい方・売りたい方に物件情報を登録いただき、空き地・空き家の情報を紹介する「空き地・空き家バンク」の運用開始を予定しております。
 今後、空き地・空き家バンクが出来たら、町内に保有している宅地・家屋の登録を希望しますか。（〇は1つ）

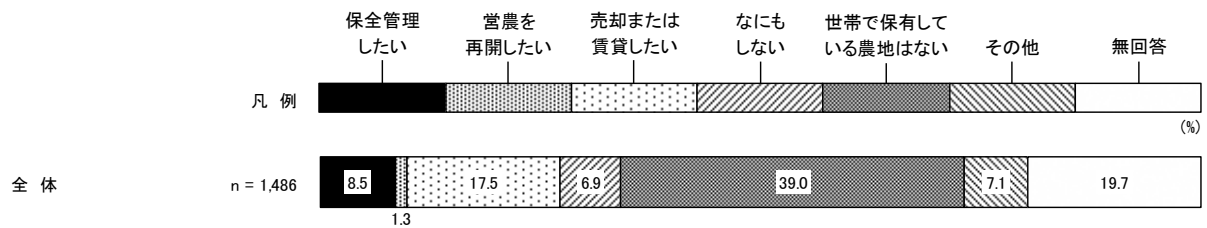
<図表3-7-3 「空地・空き家バンク」の登録意向>



3-7-4 双葉町内に保有する農地の利用意向

問 20-1 所有している農地を今後どのように利用されますか。現時点でのお考えをお聞かせください。（〇は1つ）

<図表3-7-4 双葉町内に保有する農地の利用意向>

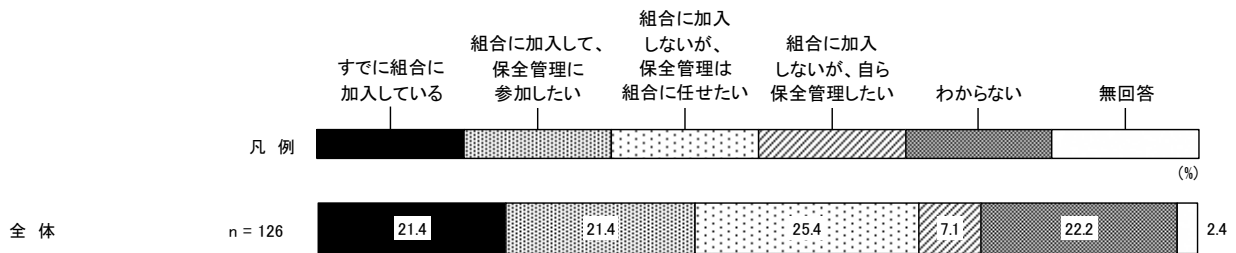


3-7-5 農地保全を目的とする組合への加入意向

【問 20-1 で「1. 保全管理したい」と回答した方にうかがいます。】

問 20-2 町では、両竹地区、上羽鳥地区、下羽鳥・長塚地区において農地保全管理組合を立ち上げ、除染後の農地の保全を行っています。今後、農地除染が進む地区においても組合等組織により保全管理を行う予定です。このような組合への加入について、現時点でのお考えをお聞かせください。（〇は1つ）

<図表3-7-5 農地保全を目的とする組合への加入意向>

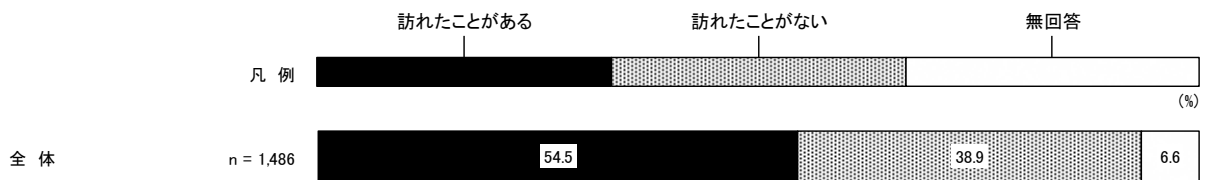


3-8 町の交通アクセスの向上・立入規制の緩和

3-8-1 令和2年3月以降の双葉町内への訪問

問 21-1 今年3月以降に双葉町内に訪れたことはありますか。（〇は1つ）

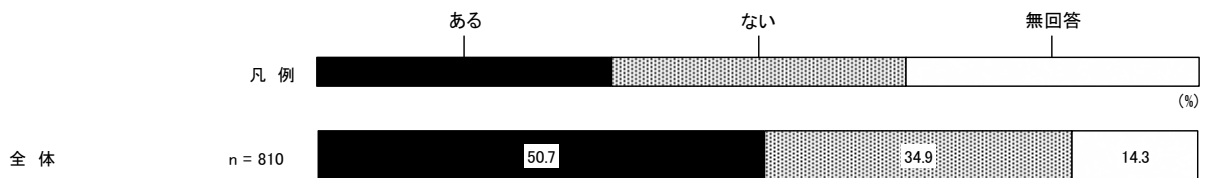
<図表3-8-1 令和2年3月以降の双葉町内への訪問>



3-8-2 双葉町内を訪問して必要だと思ったもの

【問 21-1 で「1.訪れたことがある」と回答した方にうかがいます。】
 問 21-2 実際に双葉町内を訪れて、必要だと思ったものはありますか。また、ある場合、それは何ですか。
 （〇は1つ）

<図表3-8-2 双葉町内を訪問して必要だと思ったもの>



双葉町内を訪れて必要だと思ったものについて、代表的なものは以下のとおり。

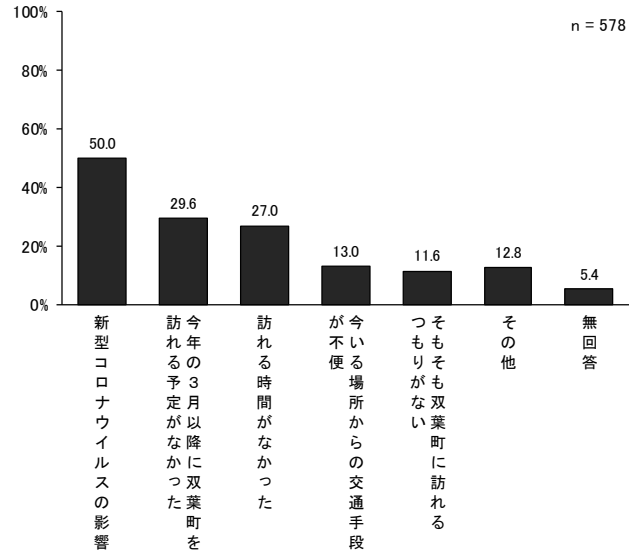
【双葉町内を訪れて必要だと思ったもの】

- ・コンビニエンスストア、自動販売機。（58件）
- ・電気、ガス、水道等のインフラ。（51件）
- ・トイレ。（37件）
- ・飲食店。（29件）
- ・商業施設。（23件）
- ・道路整備。（22件）
- ・病院、救護所。（20件）
- ・除草。（20件）

3-8-3 双葉町内を訪問していない理由

【問 21-1 で「2. 訪れたことがない」と回答した方にうかがいます。】
問 21-3 双葉町町内を訪れたことがない理由は何ですか。（〇はいくつでも）

<図表3-8-3 双葉町内を訪問していない理由>

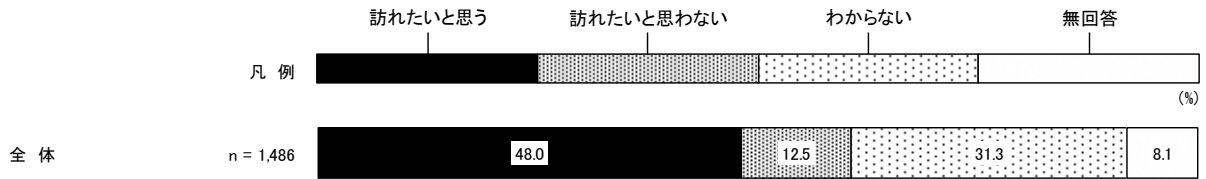


3-9 双葉町産業交流センター

3-9-1 双葉町産業交流センターへの訪問意向

問 22-1 今年の秋には中野地区に双葉町産業交流センターのオープンを予定しており、レストランやフードコートなどの食事をする場所が出来ます。また、貸会議室もあり集会やイベントなども行うことが可能です。今後、双葉町産業交流センターに訪れたいと思いますか。（〇は1つ）

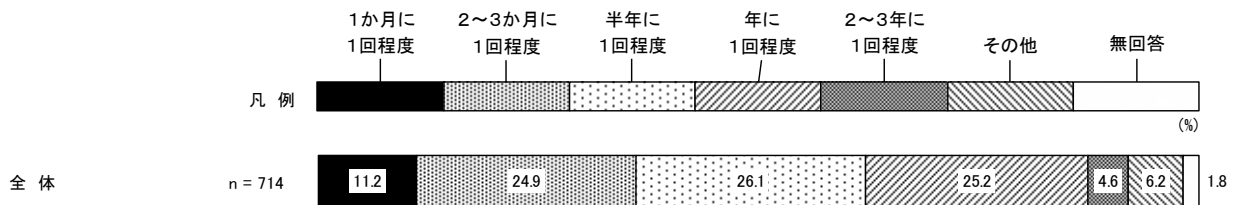
<図表3-9-1 双葉町産業交流センターへの訪問意向>



3-9-2 双葉町産業交流センターへ訪問したい頻度

【問 22-1 で「1. 訪れたいと思う」と回答した方にうかがいます。】
 問 22-2 どの程度の頻度で訪れたいと思いますか。（〇は1つ）

<図表3-9-2 双葉町産業交流センターへ訪問したい頻度>

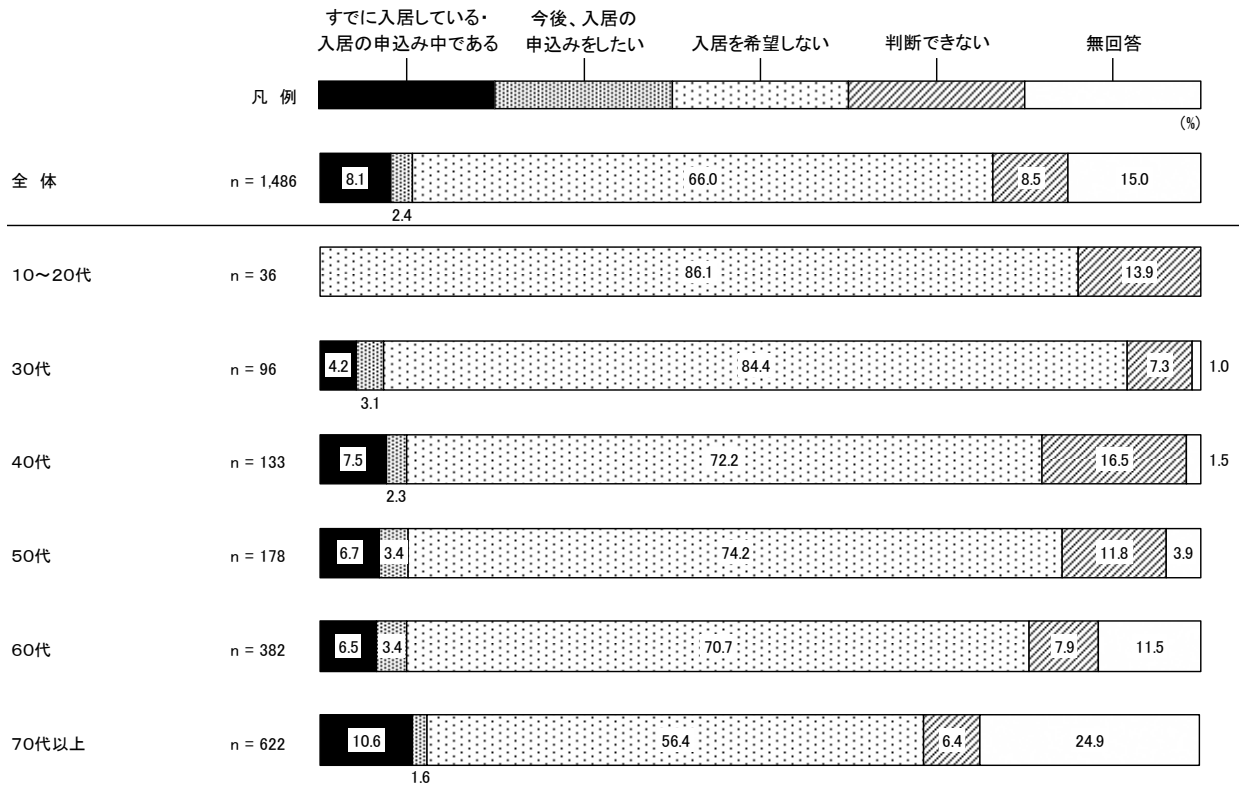


3-10 復興公営住宅

3-10-1 福島県営の復興公営住宅への入居意向

問 23-1 福島県営の復興公営住宅への入居意向について教えてください（〇は1つ）

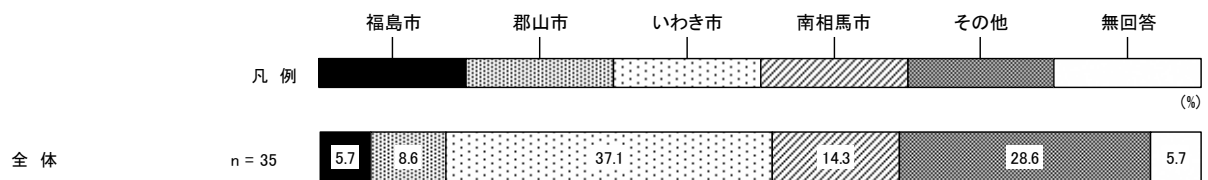
<図表3-10-1 福島県営の復興公営住宅への入居意向（年齢別）>



3-10-2 福島県営の復興公営住宅への入居を希望する市町村

【問 23-1 で「2. 今後、入居の申込みをしたい」と回答した方にかがいます。】
 問 23-2 入居を希望する市町村について教えてください。（〇は1つ）

<図表3-10-2 福島県営の復興公営住宅への入居を希望する市町村>



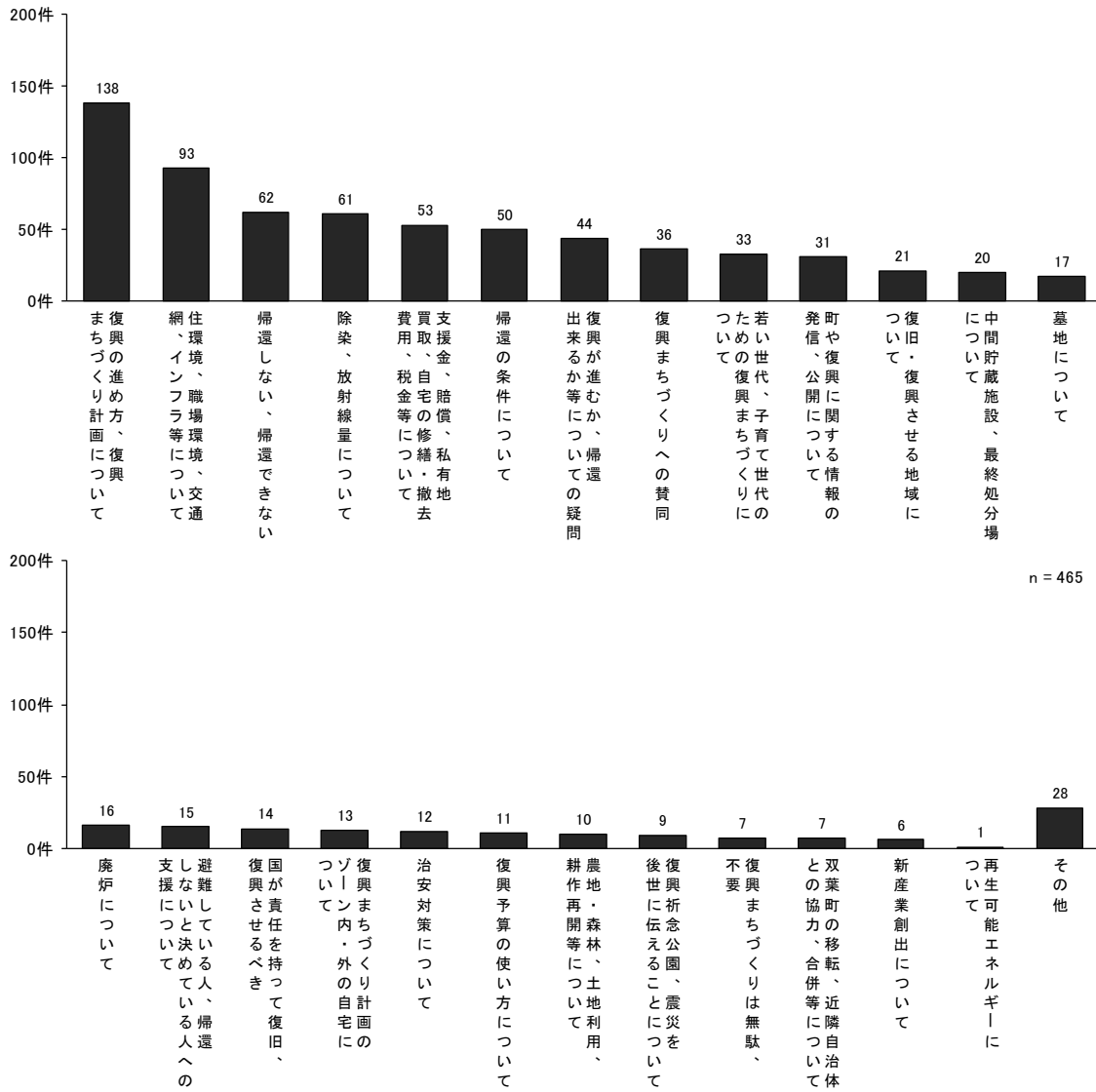
〔その他の内訳〕
 会津若松市 -
 白河市 -
 二本松市 -
 田村市 -
 本宮市 -
 その他 28.6%

3-11 意見・要望

3-11-1 双葉町の復興を進めていくにあたっての意見・要望

問 24 今後、町が町内の復興を進めていくにあたり、あなたのご意見・ご感想など、ご自由にお書きください。

<図表3-11-1 双葉町の復興を進めていくにあたっての意見・要望>



III 調査結果（全項目）

上位項目についての主な意見は以下のとおり。

〔復興の進め方、復興まちづくり計画について〕

- ・ライフラインが整い、様々な施設が入り、昔のように賑やかで子どもたちが安全に暮らしていける双葉町になってほしい。将来自分に子どもができた時に、私自身が味わった故郷を味わってほしいと思う。（10～20代）
- ・子育て中で双葉に行くこともほとんどありませんが、整備されて子供が遊べる公園や施設ができれば、ぜひ故郷に行ってみたいです。（30代）
- ・双葉町の復興状況は、双葉郡内の町村と比べると遅れていると感じる。しかし、その反面他町村にはない伝承館の建設や運動公園の整備等期待される部分もある。復興までの道のりは長く険しいと考えますが、新たな町づくりを頑張ってください。（30代）
- ・双葉町民にこだわらず、新しいベンチャー企業にきてもらい、町の活性化に寄与してもらおう（法人税などの町の収入の為）。年配の方が住む為には医療面の拡充が必要となり、車の運転も出来なくなる事が多くなるので、移動販売もしくは宅配業務（弁当や野菜など）一連を取り仕切る機関を第3セクターとして運営していく（包括的に町民の状態を把握して、安心を得る事が出来れば帰りたいと思う町民は増えると思います）。（40代）
- ・若者の帰還率が悪いのであれば、高齢者に特化した町づくりまたはエリアの作成。駅周辺を若者と移住者に特化したエリア（1K・1DKの住居多め）。学校等周辺はファミリー層エリア（3DK・3LDK）。郊外は家庭菜園等が出来る庭付き一軒家として、復興支援として家賃を低めに設定し住民数を増やす。既に帰還している周辺の町に、ノウハウを聞くこと。（40代）
- ・駅前の風景が変わり、また、地区の家屋など町のイメージが「ふる里」と呼べる感覚が無いように思われます。古き良き双葉町の風景を残すよう願うとともに、絶滅危惧種の保存にも力を入れて下さい。（50代）
- ・復興に向けて莫大な資金が投入されているが、今後財政は大丈夫なのでしょうか。又、借金を抱えた双葉町に戻ってしまわないか心配です。昔のまま、自然が残る双葉町では人が戻らないのでしょうか。例えばキャンプとか、大きなアスレチックとか、建物にばかり投資せず双葉町の良い所を生かした復興を願います。（50代）
- ・町は復興ができるのでしょうか？できるのは町の一部であって、町全てではないと思う。やりやすい所だけ進めて、あとは野放し状態になるのでは？そもそも何年のスパンでの話なのか。（60代）
- ・震災以前からの住民が戻れるように、全てにおいて地元優先で行なってもらいたい（本当の復興だと思う）。震災後に他の地域から来た企業が、他の地域の人々を雇って事業をしていると、全然地元感がわからない。単に人口が増えれば復興ではないと思う。地元のつながりが重要。（60代）
- ・町民及び将来住むであろう移住者が、安心して住める町づくりとしての絶対的条件として、医療機関の設置が必要不可欠となる為、具体的方針案を明確に早急に示して行く必要があると思う。町の人口減少に伴い、町の収入源である税収確保が難しくなり、自治体の運営が立ち行かなくなるが、その辺はどうするか？併せて将来的な町村との合併構想が有るのか示して欲しい。（60代）
- ・新生双葉町のためには、魅力ある町造りが必要かと思われまます。充分とはいかなくとも、インフラの整備、教育、医療、介護施設等の充実、商業施設の整備、大事な働き場がある。そして町民の方々の豊かな民意。このようなことがあいまって、住んでみたい双葉町、住みたい双葉町になるかと思えます。期待しております。（70代以上）
- ・今年9月中に自宅を解体し更地にしてしまいますので、今後双葉町に帰るのは年に1回～2回程になってしまうでしょう。自分の家が無くなってしまふのはとても淋しい。自分のふるさとが無くなってしまった様に感じる。今後、双葉町に帰った時に自分の居場所はここだと言える様な所、安心出来る場所を町で是非作って頂きたいと思えます。墓の移転も考え中です。（70代以上）

〔住環境、職場環境、交通網、インフラ等について〕

- ・住民が戻ったとしても、若い人が戻らないと先がないと思う。0歳の子がいるが、子どもが少ないなら戻るのはためらってしまう。教育や病院など子育て支援や仕事がないと、子育て世代は戻らないと思う。（10～20代）
- ・医療機関はしっかりと整っている方が安心する。（30代）
- ・将来、双葉町へ帰還を考えている人達の需要に合わせて、公営住宅等の供給量を考えることが必要だと思います。双葉町の5年、10年後をになう若い世代の意見を特に重視して、全体像を考えて頂きたい。（30代）
- ・インフラの整備、医療の充実をし、双葉を後生に残せる環境を作って欲しい。（40代）
- ・生活する上で必要不可欠な施設の整備とプラスαで、衣食住と子どもの遊び場などで価値を加味し、今までの住民とともに、新規で移住したい方の定住につながれば考える。簡単なことではないと思いますが、今まで以上に元気な町になっていくことを願っています。いつもありがとうございます。（40代）

- 規模の大きい商売だけでなく、小規模企業が小さいリスクで行える事業支援を、役場、商工会にお願いしたい。観光資源（特に海）が活用できるように検討してもらいたい。（50代）
- 町民の交流の場、機会の設置、実施を検討して欲しい（例、町民体育祭など昔あった行事）。特定復興再生拠点区域外の、帰還困難区域の除染や家屋解体等への国、県の早急な取り組みの実施。（50代）
- 町民が戻るためには、医療施設や商業施設等、また、上下水道、電気、通信設備等のインフラが充実、整備されることが重要。（60代）
- 町民が町に戻り住むためには、住宅が必要です。しかし町民のほとんどは避難先で家を建て住んでいます。新たに町に戻って住むといっても、中間貯蔵施設内の方、土地があっても住宅を取り壊した方、借地で住宅が取り壊され、土地も家も無い方など、その他色々な方がいます。町に戻って住むためには、復興公営住宅に住むか、家を建てるかしかがありません。そのため、国や県・町がどれだけの支援が出来るのかにかかっていると思う。（60代）
- 町の復興は喜ばしいことだが、町や県に土地を売り何もなくなった高齢者は先が短いので、医療福祉の新設、ライフラインの整備、交通機関の充実など待ってられない。（70代以上）
- スーパー、コンビニ、病院、薬局、福祉施設、銀行、郵便局、宅配、インターネット等々の設備を急ぐべし。（70代以上）
- 除染重点地区の具体的な設定し、海・山を町の観光資源として活用する方法を検討する。インフラ、諸設備等物理的な復興も当然ですが、「失われた10年」「心」の復興についての施策を待ち望んでいます。高齢者なので残された時間を大切にしたい。（70代以上）

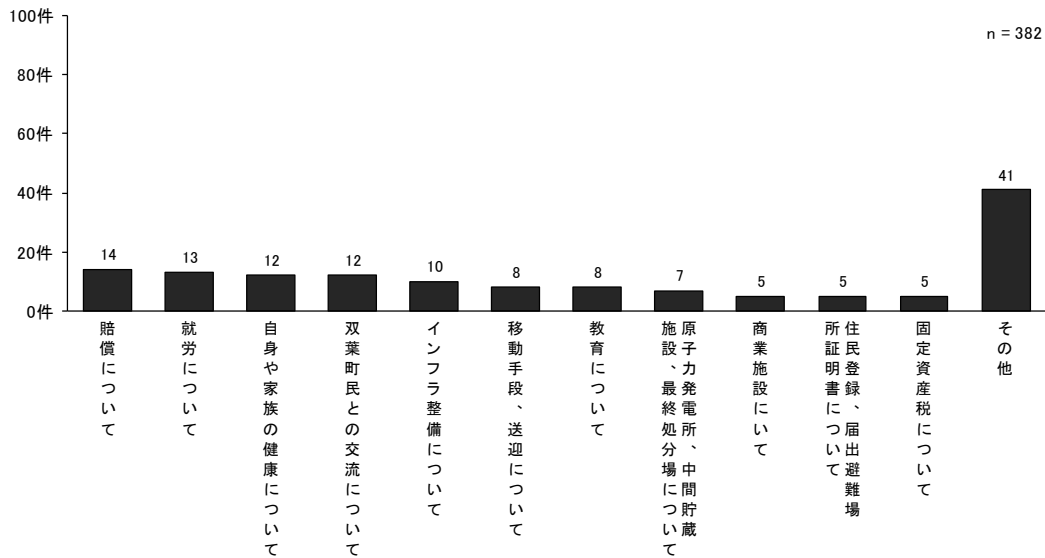
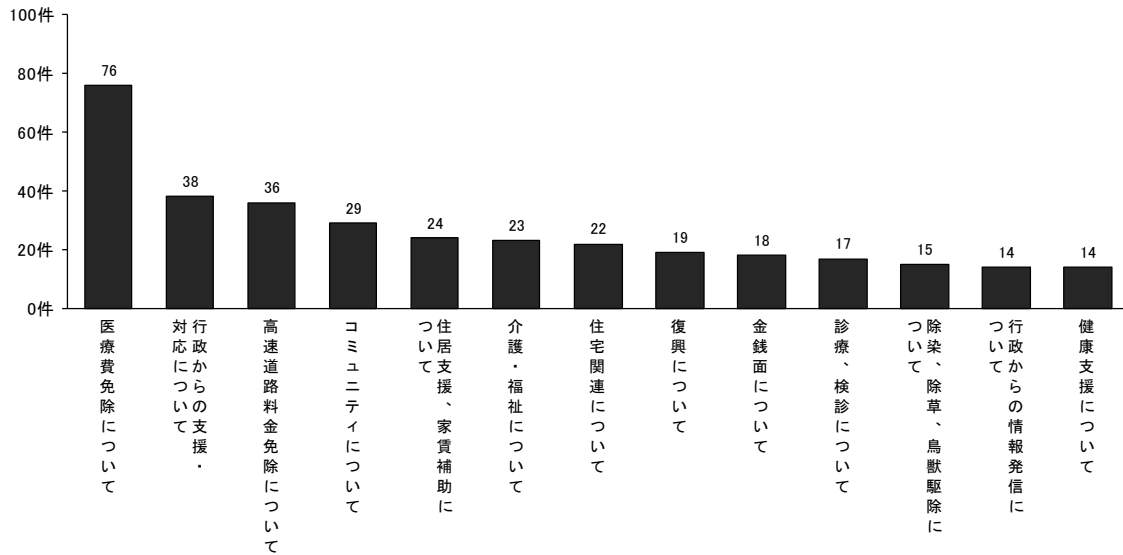
【帰還しない、帰還できない】

- 双葉町に戻らないと決めている人でも、本当は戻りたい人もいるはずなので、たまに訪れた時に故郷を思い出せるものを作って欲しい。子供達が楽しんで遊べる施設遊具があれば、親も大人も気軽に立ち寄れる所になると思う。お願いします。（30代）
- 自身の故郷である双葉町に戻りたくない訳ではない。ただ、子供が幼い事と、震災後やっとなじんできた今の住居や環境を捨てる事と、双葉町に戻れることを天秤にかけた場合、ここ10～20年くらいは戻らないという選択をせざるを得ないと思う。（30代）
- どのくらいの方が戻れるのか。みんな家を建てていて戻らないのではないか？避難先の方が便利で良いし、子供も新しい友達が出来ていて戻りたがらない。（40代）
- 本当は今すぐにも帰りた。でも仕事や病気の事があり、帰りたくても帰れません。10%位いる帰りたという希望者の方々の意見をよく聞いて、本当に望んでいるものから作って、希望を叶えて欲しい。（40代）
- 無理と分かっていますが、本当に元に戻るなら今すぐにも双葉町へ帰りた。良い所でした。一度失ったものを戻すのは、非常に難しいと改めて思います。人と人とのつながりを大切に復興して頂ける様に心から希望します。（40代）
- 復興が非常に遅く、町へ戻りたい意識が少なくなって来る。（50代）
- 双葉町の復興を進めることには賛成ですが、家族が戻って生活する事は難しい。原発事故により浪江町の会社がなくなり、横浜の会社に転籍となった為、福島で仕事をするのは不可能となったから。定年退職を待たずに、双葉町に戻る理由が無い。（50代）
- 町内の山林除染が帰町する前提であり、原発の廃炉が完了しないと帰還の検討はできない。（60代）
- 今住んでいる所は色々と便利が良く、歩いて行ける場所なので、車を運転しない私にとっては良い所です。ここのアパートを継続して借りたいと思います。周りに友達も出来ました。（60代）
- 双葉町へ帰りた気持ちは変わりません。本心は戻りたくても戻れないです。あまりにも避難生活が長すぎ、自身も高齢者となってしまいました。時々、双葉町での楽しかった日常を夢に見ることがあります。（70代以上）
- 私たちは高齢者で、復興へのエネルギーは全くありません。若い人が双葉町で本当に町作りをしたいという要望が強いならば良いが、無駄な経費を使って、無理に新しい町を作るとするのはどうかと常に感じる。他町村を見てもそうである。帰るのは60代70代の人たちばかりのような気がする。未来が望めてはいない。（70代以上）
- 双葉町での生活が60数年経った時に原発事故にあい、避難して10年が過ぎようとしております。あまりにも長すぎました。戻りたいと思っても、それぞれの地で新築している人が多いでしょう。しかし双葉町には愛着があり、今住んでいる所は絆などありません。86才になり歩くこともままならず、福祉にお世話になっているところです。残念でなりません。（70代以上）

3-11-2 避難期間中の生活で困っていること・改善を求めること

問 25 避難期間中の生活において困っていることや、改善を求めること等があればお書きください（医療、教育、健康支援、就労、コミュニティなど）。また、その他にも国や福島県、双葉町への要望などをご自由にお書きください。

＜図表3-11-2 避難期間中の生活で困っていること・改善を求めること＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【医療費免除について】

- 医療費の免除。（10～20代）
- 避難生活をする中で、未だに精神的不安を抱え生活しているのが現状です。特に、健康面での不安やストレスが大きいので、医療に関わる支援の継続、支援物資等の継続をお願い致します。家賃支援、賠償の長期的な継続もお願い申し上げます。（40代）
- 新型コロナの影響もあるが、就労できていない（無職）。就職活動しているがなかなか採用してもらえない。双葉町に戻れるまでは、住宅家賃補助や保険料の免除を継続してもらいたい。（50代）
- 国民健康保険一部負担金等免除を、双葉町の避難指示解除まで延長していただけるとたすかる。（50代）
- 避難してから医者さんにかかることが多くなり、沢山の薬を飲む毎日です。今は医療費が免除されているので助かっていますが、この免除がなくなると毎月の医療費の負担が、重くのしかかってきます。それを考えるとちょっと不安になります。（60代）
- 2022年に町の一部が解除されても、私の地区は帰還困難地域として残ると思う。解除されない地区の町民に対しては、継続して医療費、家賃等について免除してほしい。（70代以上）

【行政からの支援・対応について】

- 双葉町のホームページを更に充実してほしい。埼玉県加須市の役場は今後も継続してほしい。（30代）
- 双葉町役場の郡山支所でも、いわき事務所と同じ業務をして欲しいです（具体的には、マイナンバーの発行の手続き等など）。（40代）
- 老人であれば介護、障害であれば福祉課など、避難先の窓口の紹介や事務手続きだけでなく、電話や手紙などで生活支援のフォローがあると、町とのつながりを感じることができるのではないのでしょうか。（40代）
- 避難先であるいわき市において、新型コロナウイルス対策として店舗等維持支援金の交付を決定しましたが、当社は双葉町に本店登記しているため、交付対象外とされました。双葉町においてもウイルス対策として支援をお願いしたい！（50代）
- 何事も対応が遅すぎる。年数が経てば経つほど、人の気持ち、生活環境は変化する。町独自で出来ること、やれることの工夫が必要だと思う。（60代）
- 現在それなりに自立して生活しているが、将来何か不安なことが生じた場合はどこに連絡すれば良いのでしょうか。よろしくお願いします。（70代以上）

【高速道路料金免除について】

- 高速道路の無料の延長。勿来に住んでいますが、仕事が浪江～相馬方面が多く、交通費が大変です。（30代）
- 高速無料措置を来年度以降も継続して欲しいです。（40代）
- 家族やコミュニティとのつながりを維持するためにも、高速料金免除の措置は続けてほしい。（50代）
- 現在の高速道路の無料化については、未来永劫とはいわないが、あと十年以上は継続して頂きたい。現状、地元での仕事で復興に関わっているが、事業所が県内・外に点在している点と、家族と離れて単身赴任している点で、死活問題となるため。（60代）
- 仲の良い隣人が他県に行ってしまったので、高速道路の無料化は継続して欲しい。できれば医療支援も継続して欲しい。（70代以上）

IV 參考資料

4-1 使用調査票

令和2年度 双葉町住民意向調査

町民の皆様におかれましては、長期にわたる避難生活において、大変なご苦勞をおかけしております。

本調査は、双葉町の復興に係る施策の進捗や今後の見通しについて、皆様に情報提供させていただくとともに、皆様の今後の生活設計や双葉町との関わり方についての考え方について把握し、ご意見やご要望などをお伺いし、国や県、町における令和4年春頃を目標としている帰還に向けた施策立案などに活かすことを目的に実施する調査となっております。

双葉町は、本年3月4日の初の避難指示解除を契機に、復興や地方創生を実現し世界のモデルともなる新たなまちづくりを目指していく所存です。本調査で皆様からいただいた貴重なご意見やご要望は、そのような新たなまちづくり推進にあたり十分に活かしてまいりたいと考えておりますので、多くの皆様のご協力をお願いいたします。

【調査実施主体】 双葉町・復興庁・福島県

【問い合わせ先】

復興庁
「住民意向調査」
問い合わせセンター

フリーダイヤル 0120-912-958
[設置期間：8月20日（木）～9月2日（水）10時～17時]
土・日・祝日を除く

福島県

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号
避難地域復興局 生活拠点課
電話 024-521-8617

双葉町

〒974-8212 福島県いわき市東田町二丁目19番地の4
いわき事務所 復興推進課
電話 0246-84-5203（直通）

記入上の注意

● 調査をお願いする方

- ・震災発生時、双葉町に住民登録をしていた世帯（避難後の転出者を含む）が対象です。
- ・ご回答は、**世帯単位でご回答頂きますよう**お願いします。
現在、世帯が何箇所かに分かれて避難されている方には、それぞれの場所に調査票を送付しておりますので、本調査票の送付されたお住まい単位でのご回答をお願いします。

● ご回答方法

- ・ご回答は、令和2年8月1日時点であてはまる番号を選び、その番号に○をつけてください。
- ・「その他」に○をされた場合は、() 内に具体的な内容もご記入ください。
- ・の中に具体的な内容の記入をお願いしている問には、具体的な内容（地名、数など）をご記入ください。
- ・ご回答にあたっては是非、同封の資料も併せてご一読いただければ幸いです。

● 個人情報について

- ・調査票に記載いただいた個人情報は、双葉町、福島県および復興庁において適切に管理するとともに、各種施策の検討目的以外には使用いたしません。
- ・結果の公表の際に、個人の特定につながるような内容が公表されることはありません。

● ご提出方法

ご記入済みの調査票は、**9月2日（水）まで**に、同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストにご投函ください（切手は不要です）。

皆様のご意向やご意見に丁寧に対応することができるよう、敢えて記名式とさせていただいております。大変お手数ではありますが、氏名、連絡先のご記入をお願いします。

あなたの氏名を教えてください。

あなたの連絡先(電話番号)を
教えてください。

ご記入いただくあなたご自身のことについて教えてください。

【すべての方にうかがいます。】

問 1 現在のあなたの年齢を教えてください。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|------------|------------|
| 1. ～19歳 | 6. 40～44歳 | 11. 65～69歳 |
| 2. 20～24歳 | 7. 45～49歳 | 12. 70～74歳 |
| 3. 25～29歳 | 8. 50～54歳 | 13. 75～79歳 |
| 4. 30～34歳 | 9. 55～59歳 | 14. 80歳以上 |
| 5. 35～39歳 | 10. 60～64歳 | |

東日本大震災発生時のあなたの状況について教えてください。

【すべての方にうかがいます。】

問 2-1 震災発生当時にお住まいだった行政区を教えてください。(○は1つ)

- | | | |
|-------|---------|-------------------------------------|
| 1. 新山 | 8. 長塚一 | 15. 中田 |
| 2. 下条 | 9. 長塚二 | 16. 両竹 |
| 3. 郡山 | 10. 下長塚 | 17. 浜野 |
| 4. 細谷 | 11. 羽鳥 | 18. その他 |
| 5. 三字 | 12. 寺松 | } ⇒ 問 3 へ
〔わからない場合は、住所を記載してください〕 |
| 6. 山田 | 13. 渋川 | |
| 7. 石熊 | 14. 鴻草 | |

【問 2-1 で「16. 両竹」「17. 浜野」以外を回答した方に伺います。】

問 2-2 震災発生当時のお住まいが、現在、以下の各区域のどこに該当するかを教えてください。(○は1つ)

1. 特定復興再生拠点区域
2. 特定復興再生拠点区域外の帰還困難区域(中間貯蔵施設予定地)
3. 特定復興再生拠点区域外の帰還困難区域(中間貯蔵施設予定地以外)
4. わからない

【すべての方にうかがいます。】

問 3 震災発生当時にお住まいだった住宅は、どのような形態でしたか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 持ち家(一戸建) | 7. 家族のどなたかのお住まい・実家 |
| 2. 持ち家(集合住宅) | 8. 親戚・知人宅 |
| 3. 民間賃貸住宅(一戸建) | 9. その他 |
| 4. 民間賃貸住宅(集合住宅) | 〔具体的に:〕 |
| 5. 公営住宅 | |
| 6. 給与住宅(社宅、公務員宿舎など) | |

現在のあなたの状況について教えてください。

【すべての方にうかがいます。】

問4 あなたが現在避難されている自治体を教えてください。(○は1つ)

<p>【 浜 通 り 】</p> <p>1. いわき市 2. 相馬市 3. 南相馬市 4. 広野町 5. 檜葉町 6. 川内村 7. 新地町</p>	<p>【 中 通 り 】</p> <p>8. 福島市 9. 郡山市 10. 白河市 11. 須賀川市 12. 二本松市 13. 田村市 14. 伊達市 15. 本宮市 16. 鏡石町 17. 西郷村 18. 矢吹町 19. 棚倉町 20. 三春町</p>	<p>【 会 津 】</p> <p>21. 会津若松市 22. 喜多方市 23. 会津坂下町</p> <p>【 そ の 他 】</p> <p>24. 1～23 以外の福島県内市町村 →具体的にご記入ください</p> <p style="text-align: right;"> <input style="width: 150px; height: 25px;" type="text"/> (市・町・村) </p>
<p>【 福島県外 】</p> <p>25. 福島県外 →具体的にご記入ください</p> <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> <input style="width: 150px; height: 25px;" type="text"/> (都・道・府・県) <input style="width: 150px; height: 25px;" type="text"/> (市・区・町・村) </p>		

【すべての方にうかがいます。】

問5 震災発生当時と現在の世帯構成についてうかがいます。

(1)「震災発生当時」に、あなたを含めて一緒に住んでいた方の人数を教えてください。
あなた自身を含めて、「当時の」年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア)未就学児(小学校入学前)	人	エ)15歳以上18歳未満 (中学生を除く)	人
イ)小学生	人	オ)18歳以上65歳未満	人
ウ)中学生	人	カ)65歳以上の方	人

(2)「現在」、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。
あなた自身を含めて、「現在の」年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア)未就学児(小学校入学前)	人	エ)15歳以上18歳未満 (中学生を除く)	人
イ)小学生	人	オ)18歳以上65歳未満	人
ウ)中学生	人	カ)65歳以上の方	人

【すべての方にうかがいます。】

問 6 現在のあなたの職業を教えてください。

仕事に就いている方は、業種も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合は、主な収入源になっている職業を教えてください。

(1) 職業(就業形態)(○は1つ)

1. 自営業・会社経営者(継続中もしくは再開済)	8. 学生	} ⇒ 問7へ
2. 自営業・会社経営者(休業中)	9. 無職(職を探していない)	
3. 会社員(勤め人)(事務や内勤を主とする業務)	10. 無職(職を探している)	} 具体的に:
4. 会社員(勤め人)(労務や外勤を主とする業務)	11. その他	
5. 団体職員		
6. 公務員		
7. パート・アルバイト		

【仕事に就いている方(問6(1)で「1」から「7」、「11」と回答した方)にうかがいます。】

(2) 業種(○は1つ)

1. 農・林・漁・畜産業	7. 金融・保険業	} 具体的に:
2. 建設業	8. 医療・福祉	
3. 製造業	9. 教育	
4. 電気・ガス・水道業	10. 公務	
5. 運輸業	11. その他	
6. 卸・小売・飲食、サービス業		

【すべての方にうかがいます。】

問 7 現在お住まいになっている住宅はどのような住居形態ですか。(○は1つ)

1. 応急仮設住宅(プレハブ型。無償)	7. 家族のどなたかのお住まい・実家	} 具体的に:
2. 応急仮設住宅(民間住宅・公営住宅などの借り上げ型。無償)	8. 親戚・知人宅	
3. 福島県営などの復興公営住宅(2は除く。有償)	9. 持ち家(ご本人またはご家族所有)	
4. その他の公営住宅(3は除く。有償)	10. その他	
5. 民間賃貸住宅(有償)		
6. 給与住宅(社宅など)		

【すべての方にうかがいます。】

問 8 あなたは町からの情報を主にどのような方法で入手していますか。(○は3つまで)

1. 広報ふたば	7. ニュースふたば(動画)	} 具体的に:
2. つなげようつながろう「ふたばのわ」	8. メールマガジン	
3. 広報ふたばダイジェスト(動画)	9. マスメディア(テレビ、ラジオ、新聞など)	
4. ICTきずな支援システム(町配付タブレット端末)	10. 双葉町主催の健康教室	
5. 町公式ホームページ(パソコンなど)	11. 社会福祉協議会主催のサロン	
6. 町復興ポータルサイト(パソコンなど)	12. その他	

【すべての方にうかがいます。】

問9 あなたが特に知りたい、関心がある情報は何か。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 住宅・暮らしの情報 | 7. 原子力損害賠償関連情報 |
| 2. 健康・医療・福祉関連情報 | 8. 原子力発電所関連情報 |
| 3. 子育て・教育関連情報 | 9. 中間貯蔵施設関連情報 |
| 4. 雇用・就労・就農関連情報 | 10. イベント・交流会に関する情報 |
| 5. 復興まちづくり関連情報 | 11. その他 [具体的に:] |
| 6. 放射線量・除染情報 | |

将来に関するご意向についてお聞かせください。

町の現状と将来について

双葉町は、帰還困難区域を含む町内全域に関し、帰還し生活を営むことができる環境を目指して各種施策に取り組んでおります。

本年3月4日に、町内で初めての避難指示解除を実現したところです。浜野地区においては、なりわいの再生を図るべく「中野地区復興産業拠点」において皆さまの事業再開や、新たな企業の誘致を進めているほか、両竹地区においては、皆様の多大なご尽力により、農地の保全管理活動が進められ、営農再開に向けた一歩を踏み出しています。

また、浜野・両竹地区は、震災の記憶をつなぎ、復興を祈念していく発信拠点でもあり、県により東日本大震災・原子力災害伝承館や復興祈念公園の整備が進められているほか、この拠点の中核的施設として、飲食店や事業所等が入居くださる双葉町産業交流センターを本年秋に開所すべく、最終準備を進めています。

さらに、3月14日にはJR常磐線も全線再開し双葉駅も装いを新たにし、町内へのアクセスも改善されたところです。

一方、双葉駅を中心とする特定復興再生拠点区域 555ha については、令和4年春頃の避難指示解除を目指しています。双葉駅の西側におきましては、皆様のご協力をいただきながら新たなまちづくりを進めており（新市街地ゾーン）、「なりわい居住」をテーマとして公営住宅を核とした、健康で楽しいまちづくりを目指し準備を進めています。

【すべての方にうかがいます。】

問 10 今後、特定復興再生拠点区域の避難指示が解除された後の双葉町への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。(〇は1つ)

1. 戻りたいと考えている(将来的な希望も含む) ⇒ [問 11-1\(6 ページ\)へ](#)
2. まだ判断がつかない ⇒ [問 12-1\(7 ページ\)へ](#)
3. 戻らないと決めている ⇒ [問 13-1\(10 ページ\)へ](#)

問 11-1 からは、
問 10 で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。

【問 10 で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。】
問 11-1 特定復興再生拠点区域内の避難指示が解除されてから、何年以内に戻りたいと考えていますか。（○は1つ）

- | | |
|-------------------------------------|--|
| 1. 1年以内
2. 3年以内
3. しばらく様子を見たい | 4. 特定復興再生拠点区域の外にある自宅に帰れるまで待ちたい
5. その他 { 具体的に: } |
|-------------------------------------|--|

【問 10 で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。】
問 11-2 戻る場合に家族の全員なのか、又は一部なのかについて教えてください。（○は1つ）

- | | |
|--|------------------------------------|
| 1. 家族全員での帰還を考えている ⇒ 問 12-1(7 ページ)へ | |
| 2. 家族一部での帰還を考えている ⇒ 問 11-3 へ | |
| 3. 現在検討しているところ | } ⇒ 問 12-1(7 ページ)へ |
| 4. まだわからない | |

【問 11-2 で「2. 家族一部での帰還を考えている」と回答した方にうかがいます。】

問 11-3 帰還した場合にはどのような家族構成になると考えていますか。あなた自身を含めて、「現在の」年齢にあてはまる人数でご回答ください。（人数で回答）

ア) 18歳未満	人	ウ) 65歳以上の方	人
イ) 18歳以上65歳未満	人		

問 12-1 からは、問 10 で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」
「2. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。

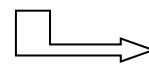
【問 10 で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「2. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問 12-1 町では、令和 4 年春頃に特定復興再生拠点区域全域の避難指示解除を目指しています。この避難指示解除に先立って、特定復興再生拠点区域内において、ご自宅などを用いて特例的に宿泊できる「準備宿泊」に参加することができますが、ご希望されますか。（○は1つ）

- | | | |
|----------|---|------------|
| 1. 希望する | } | ⇒ 問 12-2 へ |
| 2. 希望しない | | ⇒ 問 12-3 へ |
| 3. わからない | | |

【問 12-1 で「1. 希望する」と回答した方に伺います。】

問 12-2 現時点で準備宿泊を想定している具体的な場所がわかれば、お書きください。

 問 12-4(8 ページ)へ

【問 12-1 で「2. 希望しない」「3. わからない」と回答した方に伺います。】

問 12-3 準備宿泊を希望しない、または、わからない理由を教えてください。（○は1つ）

1. 準備宿泊に参加したいが、宿泊する場所がないから
2. 避難指示が解除された後に双葉町での宿泊を始めたいと考えているから
3. その他(具体的に: _____)

IV 参考資料

【問 10 で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「2. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問 12-4 双葉町へ帰還することを判断するためにどのような支援や情報が必要と考えますか。重視したいものから順に選択肢番号欄に3つまで選び、具体的な内容欄に支援や情報内容をご記入ください。

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1. 被ばく線量対策(除染含む) | 10. 地域のきずな維持やコミュニティの支援 |
| 2. 住宅の修繕や建て替え、住宅確保の支援 | 11. 原子力発電所の廃炉に関する情報 |
| 3. 商業施設の再開や新設 | 12. 放射線の人体への影響に関する情報 |
| 4. 医療・介護福祉施設の再開や新設 | 13. 中間貯蔵施設に関する情報 |
| 5. 学校や教育施設の再開や新設 | 14. 避難指示解除となる時期の目安に関する情報 |
| 6. 公共交通機関の充実 | 15. 賠償額の確定 |
| 7. なりわいの確保・就業支援 | 16. どの程度の住民が戻るのかどうかの状況 |
| 8. 携帯電話やインターネットなど通信環境の改善 | 17. 日常の住民サービスの情報 |
| 9. 上下水道等ライフラインの整備状況に関する情報 | 18. その他 |
| | 19. 特にない |

優先順位	選択肢番号	具体的な内容
(例) 1番目	(例) 4	(例) ○○病院の再開
1番目		
2番目		
3番目		

【問 10 で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「2. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問 12-5 帰還した場合のお住まいは、どのような形態を希望されますか。(○は1つ)

1. 元の持ち家(自宅)(建て替える場合を含む)
2. 自宅とは別の場所に新たに一戸建の持ち家を建てたい
3. 自宅とは別の場所に分譲集合住宅を購入したい
4. 民間賃貸住宅(一戸建)
5. 民間賃貸住宅(集合住宅)
6. 双葉町が双葉駅西側に整備する新たな公営住宅
7. 給与住宅(社宅など)
8. 家族のどなたかのお住まい・実家
9. 親戚・知人宅
10. その他(具体的に: _____)
11. 現時点では判断できない

【問 10 で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「2. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問 12-6 現在、双葉駅西側において、令和 4 年春頃の解除目標に向けた新たなまちづくりを進めている（新市街地ゾーン）ほか、従来の中心市街地も「まちなか再生ゾーン」と位置づけ、賑わいの再生を図っていくことを目標としています。
「新市街地ゾーン」や「まちなか再生ゾーン」への居住に関する意向について、もっとも近いものはどれですか。（○は1つ）

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 新市街地ゾーンに居住したい | ⇒ <u>問 12-7 へ</u> |
| 2. まちなか再生ゾーンに居住したい | ⇒ <u>問 12-8 へ</u> |
| 3. 「1」「2」以外に居住したい | |
| 4. 判断ができない | |



問 12-6 で「3」「4」を選び、
問 10 で「1.戻りたいと考えている
（将来的な希望も含む）」を選んだ方は
問 15-1(12 ページ)へ



問 12-6 で「3」「4」を選び、
問 10 で「2.まだ判断がつかない」を選んだ方は
問 13-1(10 ページ)へ

【問 12-6 で「1. 新市街地ゾーンに居住したい」と回答した方にうかがいます。】

問 12-7 町により、JR 双葉駅の西側に住宅地が整備された場合のお住まいは、どのような形態を希望されますか。（○は1つ）

- | | |
|-------------------------|-----------------|
| 1. 新たな公営住宅（一戸建） | 5. その他 { 具体的に: |
| 2. 新たな公営住宅（集合住宅） | |
| 3. 町から宅地の分譲を受け、自宅を建築したい | 6. 現時点では判断がつかない |
| 4. 新市街地ゾーンにある自宅 | |

【問 12-6 で「1. 新市街地ゾーンに居住したい」「2. まちなか再生ゾーンに居住したい」と回答した方にうかがいます。】

問 12-8 「新市街地ゾーン」及び「まちなか再生ゾーン」に、特に必要と考える、生活関連施設を教えてください。（○は3つまで）

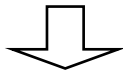
- | | |
|------------------------------|------------------------|
| 1. コミュニティ施設
（集会所・公民館・公園等） | 7. 教育施設 |
| 2. 商業施設・コンビニエンスストアなど | 8. 金融機関 |
| 3. 食堂・飲食店など | 9. 役場施設 |
| 4. 医療施設 | 10. 避難している家族が一時宿泊できる施設 |
| 5. 保健施設 | 11. その他 { 具体的に: |
| 6. 介護施設 | |

IV 参考資料

【問 12-6 で「1. 新市街地ゾーンに居住したい」「2. まちなか再生ゾーンに居住したい」と回答した方にうかがいます。】

問 12-9 「新市街地ゾーン」及び「まちなか再生ゾーン」に、特に必要と考える、生活関連サービスを教えてください。(○は3つまで)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 安否確認・見守りサービス | 6. 公共交通サービス |
| 2. 健康相談・生活相談サービス | 7. 教育関連サービス |
| 3. 健康増進・介護予防サービス | 8. 役場機能窓口サービス |
| 4. 配食サービス | 9. その他 |
| 5. 移動販売サービス | 【具体的に: |



問 10 で「1.戻りたいと考えている
(将来的な希望も含む)」を選んだ方は
問 15-1(12 ページ)へ

問 10 で「2.まだ判断がつかない」を
選んだ方は問 13-1 へ

問 13-1 からは、問 10 で「2.まだ判断がつかない」
「3.戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。

【問 10 で「2.まだ判断がつかない」「3.戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 13-1 双葉町との“つながり”を保ちたいと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------|-----------|----------|
| 1. そう思う | 2. そう思わない | 3. わからない |
|---------|-----------|----------|

【問 10 で「2.まだ判断がつかない」「3.戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

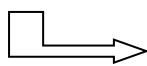
問 13-2 双葉町をどのくらいの頻度で訪れたいと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------------|--------------|--------|
| 1. 1か月に1回程度 | 4. 年に1回程度 | 7. その他 |
| 2. 2～3か月に1回程度 | 5. 2～3年に1回程度 | 【具体的に: |
| 3. 半年に1回程度 | 6. 訪れるつもりはない | 】 |

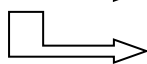
【問 10 で「2.まだ判断がつかない」「3.戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 13-3 どのような取り組みや行事、イベントなどがあれば、双葉町に訪れたいと思いますか。
(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|------------------------------|
| 1. 有志によるサークル活動 | 7. セミナーへの参加や資格の取得などの
学習活動 |
| 2. 趣味・料理・ものづくり教室などの文化活動 | 8. 仕事や労働などの職業活動 |
| 3. 運動・スポーツなどの健康づくり活動 | 9. 農地や環境の保全活動 |
| 4. お祭り・イベントなどの地域行事 | 10. その他 |
| 5. 世代間交流・ボランティア活動 | 【具体的に: |
| 6. 防災・防犯などの地域活動 | 】 |



問 10 で「2.まだ判断がつかない」を選んだ方は問 15-1(12 ページ)へ



問 10 で「3.戻らないと決めている」を選んだ方は問 14-1(11 ページ)へ

問 14-1 からは、問 10 で「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。

【問 10 で「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 14-1 現時点で戻らないと決めている理由はどのようなことですか。(○はいくつでも)

【帰還の前提・健康に関わるもの】

1. 放射線量が低下せず不安があるから
2. 原子力発電所の安全性に不安があるから
3. 中間貯蔵施設の安全性に不安があるから
4. 水道水などの生活用水の安全性に不安があるから

【双葉町内の復旧状況に関わるもの】

5. 双葉町に戻っても仕事がなさそうだから
6. 双葉町での事業の再開が難しいから
7. 営農などができそうにないから
8. 家が汚損・劣化し、住める状況ではないから
9. 鳥獣による被害があるから
10. 双葉町外への移動交通が不便だから
11. 道路、鉄道等の交通インフラに不安があるから
12. 医療環境に不安があるから
13. 介護・福祉サービスに不安があるから
14. 教育環境に不安があるから
15. 生活に必要な商業施設などが元に戻りそうにないから

【今後の生活に関わるもの】

16. 避難先で自宅を購入または建築し、将来も継続的に居住する予定だから
17. 避難先の住居(持ち家以外)を生活拠点とし、将来も継続的に居住する予定だから
18. 高齢者・要介護者のいる世帯なので生活が不安だから
19. 他の住民も戻りそうにないから
20. 今後も津波被害を受ける可能性があるから
21. 特定復興再生拠点区域の外で帰還が見通せないから
22. 避難先で仕事を見つけているから
23. 今の環境で子どもの教育を継続させたいから
24. 避難先の方が、生活利便性が高いから
25. その他

（具体的に：

【問 10 で「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 14-2 帰還しない場合に、今後の生活においてどのような支援を求めますか。(○はいくつでも)

1. 継続的な健康管理の支援
2. 雇用確保の支援
3. 仮設住宅や借り上げ住宅の継続的利用
4. 役場からの継続的な情報提供
5. 一時帰宅支援
6. その他

（具体的に：

【問 10 で「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 14-3 帰還しない場合に、今後のお住まいとして希望する(既に居住している場合を含む)住宅は、どのような形態ですか。(○は1つ)

1. 持ち家(一戸建)
2. 持ち家(マンションなど)
3. 民間賃貸住宅(一戸建)
4. 民間賃貸住宅(アパート・マンションなど)
5. 復興公営住宅
6. 公営住宅(原発避難者向けの復興公営住宅を除く都道府県営住宅や市町村営住宅)
7. 給与住宅(社宅など)
8. 家族のどなたかのお住まい
9. 親戚・知人宅
10. その他

（具体的に：

双葉町内での事業の実施についてお聞かせください。

現在、双葉町では、皆様のなりわいの再生を後押しするべく「中野地区復興産業拠点」の整備を進めています。また、両竹地区においては、皆様の多大なご尽力により、農地の保管理活動が進められ、営農再開に向けた一歩を踏み出しています。

また、「新市街地ゾーン」において進めている新たなまちづくりにおいては、「なりわい居住」を主要なテーマとし、居住される方が新たなチャレンジに取り組みやすい環境づくりを目指しています。

問 15-1 からはすべての方にかがいます。

問 15-1 あなたは震災発生当時、双葉町内で事業を営んでいましたか。(○は1つ)

1. 営んでいた ⇒ [問 15-2 へ](#) 2. 営んでいない ⇒ [問 15-5\(13 ページ\)へ](#)

【問 15-1 で「1. 営んでいた」と回答した方にかがいます。】

問 15-2 双葉町内で営んでいた事業の業種を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 農・林・漁・畜産業 | 6. 金融・保険業 |
| 2. 建設業 | 7. 医療・福祉 |
| 3. 製造業 | 8. 教育 |
| 4. 運輸業 | 9. その他 { 具体的に: |
| 5. 卸・小売・飲食、サービス業 | } |

【問 15-1 で「1. 営んでいた」と回答した方にかがいます。】

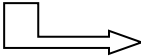
問 15-3 今後、特定復興再生拠点区域の避難指示が解除された後の双葉町内での事業再開や、新事業へのチャレンジについて、どのようにお考えですか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 双葉町内での事業再開や新事業へのチャレンジを希望する | ⇒ 問 15-4 へ |
| 2. 双葉町内での事業再開や新事業へのチャレンジを希望しない | } ⇒ 問 16-1(14 ページ)へ |
| 3. まだ判断がつかない | |

【問 15-3 で「1. 双葉町内での事業再開や新事業へのチャレンジを希望する」と回答した方にかがいます。】

問 15-4 双葉町内で事業を再開する希望時期はいつですか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------------|---|
| 1. 特定復興再生拠点区域の避難指示解除前 | |
| 2. 特定復興再生拠点区域の避難指示解除と同時 | |
| 3. 特定復興再生拠点区域の避難指示解除後1年以内 | |
| 4. 特定復興再生拠点区域の避難指示解除後3年以内 | |
| 5. まだ決めていない | |
| 6. その他(具体的に: |) |

 [問 15-6\(13 ページ\)へ](#)

【問 15-1 で「2. 営んでいない」と回答した方にうかがいます。】

問 15-5 今後、双葉町内で新たな事業へのチャレンジに取り組まれる希望はありますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------|---|--------------------|
| 1. ある | ⇒ | 問 15-6 へ |
| 2. ない | } | ⇒ 問 16-1(14 ページ) へ |
| 3. わからない | | |

【問 15-3 で「1. 双葉町内での事業再開や新事業へのチャレンジを希望する」と回答した方、もしくは問 15-5 で「1. ある」と回答した方にうかがいます。】

問 15-6 双葉町内での事業再開や新たな事業にチャレンジをするにあたり、どの場所での事業実施を希望しますか。(○は1つ)

1. 中野地区復興産業拠点内
2. 新市街地ゾーン内
3. まちなか再生ゾーン内
4. その他(具体的に: _____)

【問 15-3 で「1. 双葉町内での事業再開や新事業へのチャレンジを希望する」と回答した方、もしくは問 15-5 で「1. ある」と回答した方にうかがいます。】

問 15-7 双葉町内での事業再開または新たな事業にチャレンジをするにあたり、どのような支援を求めますか。(○はいくつでも)

1. 土地や建物の取得に対する支援
2. 設備導入に対する支援
3. 専門家などによる経営等に対する助言
4. その他(具体的に: _____)

【問 15-3 で「1. 双葉町内での事業再開や新事業へのチャレンジを希望する」と回答した方、もしくは問 15-5 で「1. ある」と回答した方にうかがいます。】

問 15-8 その他に双葉町内で事業を再開するにあたり、町に求めることなどがあればご自由にお書きください。

双葉町内での就業意向についてお聞かせください。

【すべての方にうかがいます。】

問 16-1 中野地区復興産業拠点において、地元を含む多くの企業の立地が決定しています。また、双葉町産業交流センターには貸事務所もあり、多くの企業が入居する予定です。このように、双葉町内で働く環境が整ってきておりますが、今後、双葉町内で働くことに興味がありますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------|---|----------|
| 1. 興味がある | ⇒ | 問 16-2 へ |
| 2. 興味がない | } | ⇒ 問 17 へ |
| 3. わからない | | |

【問 16-1 で「1. 興味がある」と回答した方にうかがいます。】

問 16-2 双葉町内で働く場合、希望する業種は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|-----------|
| 1. 農・林・漁・畜産業 | 7. 金融・保険業 |
| 2. 建設業 | 8. 医療・福祉 |
| 3. 製造業 | 9. 教育 |
| 4. 電気・ガス・水道業 | 10. 公務 |
| 5. 運輸業 | 11. その他 |
| 6. 卸・小売・飲食、サービス業 | 【具体的に: |

不動産（土地・家屋）の取り扱い意向についてお聞かせください。

【すべての方にうかがいます。】

問 17 町内に保有している家屋の利用意向についてうかがいます。現時点でのご意向に関して、もっとも近いものはどれですか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------------------|--------------------------------|
| 1. 既に土地・家屋を町などに売った | 7. 被災状況を確認してから決めたい |
| 2. 解体して建替えたい | 8. 世帯で保有している家屋はない・すでに解体した |
| 3. 解体して更地にした | 9. 特定復興再生拠点区域外の帰還困難区域のため決められない |
| 4. 建物除染後、修繕して自ら使いたい | 10. その他 |
| 5. 建物除染後、親戚・親族・友人に使ってもらいたい | 【具体的に: |
| 6. 建物除染後、行政や事業者に使ってもらいたい(売却・賃貸を含む) | |

※特定復興再生拠点区域及び避難指示を解除した両竹・浜野地区においては、既定の書類を揃えてお申し込みいただければ環境省が家屋の解体を順次実施しています。

解体をご希望の方は、環境省が設置している「被災家屋等の解体申請受付窓口(双葉町役場いわき事務所内または下記電話番号)」へご相談ください。

電話番号: 0120-773-275

【すべての方にうかがいます。】

問 18 町内に保有している宅地の利用意向についてうかがいます。
現時点でのご意向に関して、もっとも近いものはどれですか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------------|--------------------------------|
| 1. 宅地除染後、自ら使いたい | 5. 世帯で保有している宅地はない |
| 2. 宅地除染後、親戚・親族・友人に使ってほしい | 6. 特定復興再生拠点区域外の帰還困難区域のため決められない |
| 3. 宅地除染後、行政や事業者に使ってほしい | 7. その他 (具体的に: _____) |
| 4. 宅地除染実施後に判断したい | |

【すべての方にうかがいます。】

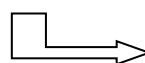
問 19 町内に保有している宅地・家屋の利用意向についてうかがいます。
町では現在、双葉町での生活再建に向けて空き地・空き家を有効活用するため、不動産を貸したい方・売りたい方に物件情報を登録いただき、空き地・空き家の情報を紹介する「空き地・空き家バンク」の運用開始を予定しております。
今後、空き地・空き家バンクが出来たら、町内に保有している宅地・家屋の登録を希望しますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|---|
| 1. 希望する | |
| 2. 希望しない | |
| 3. 分からない | |
| 4. その他(具体的に: _____) |) |

【すべての方にうかがいます。】

問 20-1 所有している農地を今後どのように利用されますか。現時点でのお考えをお聞かせください。(○は1つ)

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 保全管理したい ⇒ 問 20-2 へ | 5. 世帯で保有している農地はない |
| 2. 営農を再開したい | 6. その他 (具体的に: _____) |
| 3. 売却または賃貸したい | |
| 4. なにもしない | |

 **問 20-1** で「1」以外を選んだ方は**問 21-1**(16 ページ)へ

【問 20-1 で「1. 保全管理したい」と回答した方にうかがいます。】

問 20-2 町では、両竹地区、上羽鳥地区、下羽鳥・長塚地区において農地保全管理組合を立ち上げ、除染後の農地の保全を行っています。今後、農地除染が進む地区においても組合等組織により保全管理を行う予定です。このような組合への加入について、現時点でのお考えをお聞かせください。(○は1つ)

- | |
|---------------------------|
| 1. すでに組合に加入している |
| 2. 組合に加入して、保全管理に参加したい |
| 3. 組合に加入しないが、保全管理は組合に任せたい |
| 4. 組合に加入しないが、自ら保全管理したい |
| 5. わからない |

町の交通アクセスの向上及び立入規制の緩和に伴う状況の変化についてお聞かせください。

双葉町では、今年の3月に一部区域で避難指示が解除されました。また、常磐自動車道の常磐双葉インターチェンジの供用開始、JR常磐線の全線開通およびJR双葉駅の再開など、双葉町内へのアクセスが格段に向上しました。さらに、JR双葉駅周辺を中心とする特定復興再生拠点区域内については、バリケードを撤去し、事前の立ち入り手続きが不要となりました。このことに伴う皆さまの状況の変化についてお聞かせください。

【すべての方にうかがいます。】

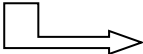
問 21-1 今年3月以降に双葉町内に訪れたことはありますか。(○は1つ)

1. 訪れたことがある ⇒ [問 21-2 へ](#) 2. 訪れたことがない ⇒ [問 21-3 へ](#)

【問 21-1 で「1. 訪れたことがある」と回答した方にうかがいます。】

問 21-2 実際に双葉町内を訪れて、必要だと思ったものはありますか。また、ある場合、それは何ですか。(○は1つ)

1. ある { <具体的にお書きください> }
 2. ない

 [問 22-1\(17 ページ\)へ](#)

【問 21-1 で「2. 訪れたことがない」と回答した方にうかがいます。】

問 21-3 双葉町町内を訪れたことがない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 訪れる時間がなかった
2. 今いる場所からの交通手段が不便
3. 今年の3月以降に双葉町を訪れる予定がなかった
4. そもそも双葉町を訪れるつもりがない
5. 新型コロナウイルスの影響
6. その他(具体的に: _____)

双葉町産業交流センターについてお聞かせください。

【すべての方にうかがいます。】

問 22-1 今年の秋には中野地区に双葉町産業交流センターのオープンを予定しており、レストランやフードコートなどの食事をする場所が出来ます。また、貸会議室もあり集会やイベントなども行うことが可能です。今後、双葉町産業交流センターに訪れたいと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 訪れたいと思う | ⇒ 問 22-2 へ |
| 2. 訪れたいと思わない | } ⇒ 問 23-1 へ |
| 3. わからない | |

【問 22-1 で「1. 訪れたいと思う」と回答した方にうかがいます。】

問 22-2 どの程度の頻度で訪れたいと思いますか。(○は1つ)

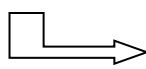
- | | | |
|---------------|--------------|----------|
| 1. 1か月に1回程度 | 4. 年に1回程度 | 6. その他 |
| 2. 2～3か月に1回程度 | 5. 2～3年に1回程度 | [具体的に] |
| 3. 半年に1回程度 | | |

復興公営住宅についてお聞かせください。

【すべての方にうかがいます。】

問 23-1 福島県営の復興公営住宅への入居意向について教えてください(○は1つ)

- | | |
|-------------------------|---------------|
| 1. すでに入居している・入居の申込み中である | 3. 入居を希望しない |
| 2. 今後、入居の申込みをしたい | 4. 判断できない |
| ⇒ 問 23-2 へ | [判断できない理由:] |


 問 23-1 で「2」以外を選んだ方は問 24(18 ページ)へ

【問 23-1 で「2. 今後、入居の申込みをしたい」と回答した方にうかがいます。】

問 23-2 入居を希望する市町村について教えてください。(○は1つ)

- | | |
|----------|-----------------------|
| 1. 福島市 | 7. 田村市 |
| 2. 会津若松市 | 8. 南相馬市 |
| 3. 郡山市 | 9. 本宮市 |
| 4. いわき市 | 10. その他 [希望する市町村名:] |
| 5. 白河市 | |
| 6. 二本松市 | |

※この質問への回答により、入居の申込み等に影響があるものではありません

国や福島県、双葉町へのご意見などについてお聞かせください。

【すべての方にうかがいます。】

問 24 今後、町が町内の復興を進めていくにあたり、あなたのご意見・ご感想など、ご自由にお書きください。

【すべての方にうかがいます。】

問 25 避難期間中の生活において困っていることや、改善を求めること等があればお書きください（医療、教育、健康支援、就労、コミュニティなど）。また、その他にも国や福島県、双葉町への要望などをご自由にお書きください。

以上でご回答いただく内容は終わりです。
ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

同封の返信用封筒にご記入済み調査票を入れて、
9月2日（水）までに郵便ポストに投函してください（切手は不要です）。

**双葉町 住民意向調査
報告書**

令和3年3月

復興庁 福島県 双葉町

調査機関:株式会社サーベイリサーチセンター

